

常磐自動車道
相馬工事

詳細図

令和6年11月

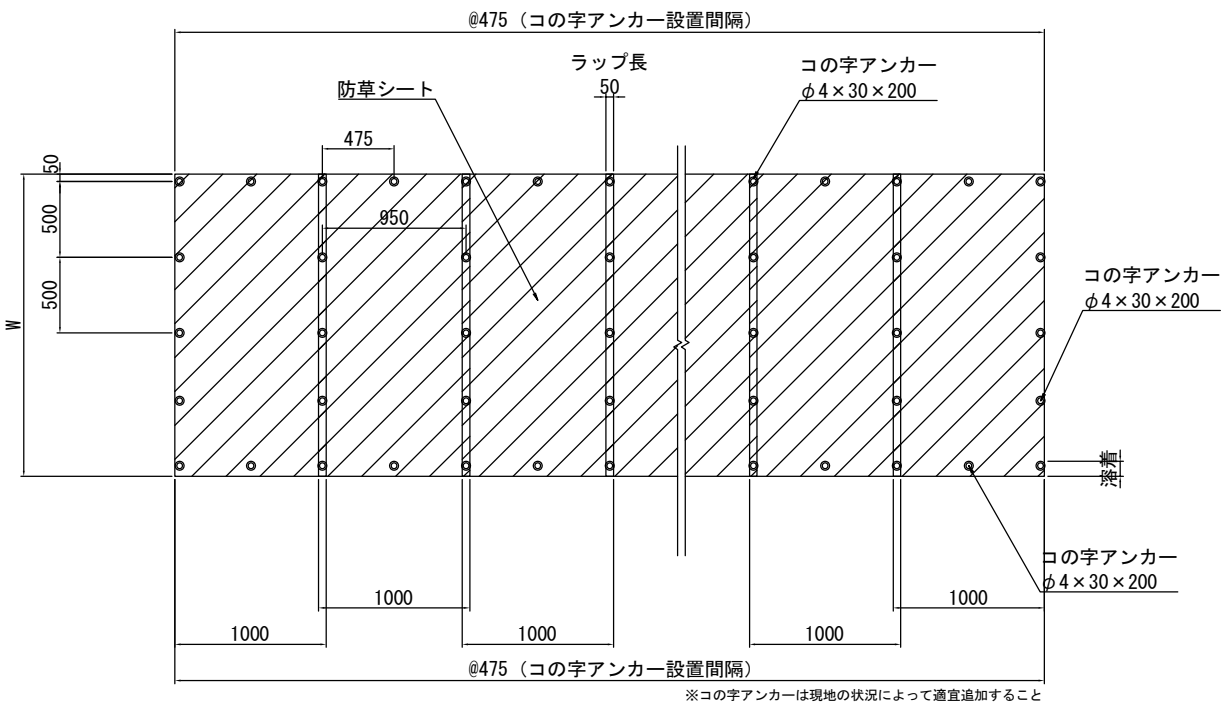
1	本線土工
2	相馬IC土工
3	函渠工
4	宇多川橋（下部工）
5	馬藩沢橋（下部工）
6-1	信田橋（下部工）
6-2	信田橋（上部工）
7-1	黒木橋（下部工）
7-2	黒木橋（上部工）
8	かやぐらばし（下部工）
9	大野台希望の橋(下部工)
10	附帯工
11	詳細図
12	参考図
13	契約参考図書

東日本高速道路株式会社 東北支社
いわき工事事務所

図面目次（詳細図）

[illegible]

平面図 S=1:50



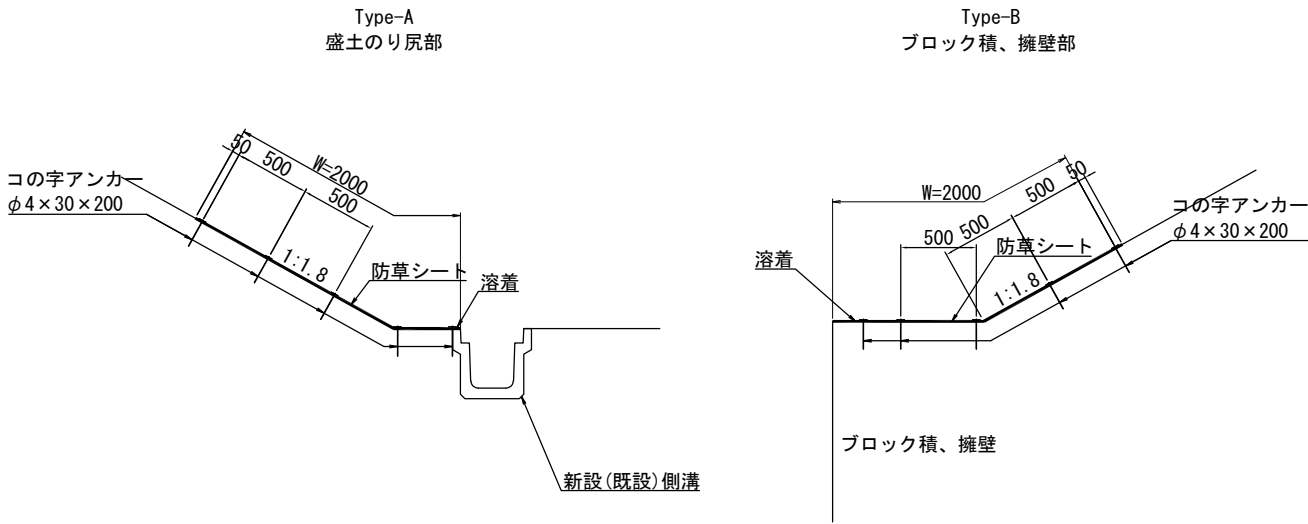
※コの字アンカーは現地の状況によって適宜追加すること

防草シート工 材料表

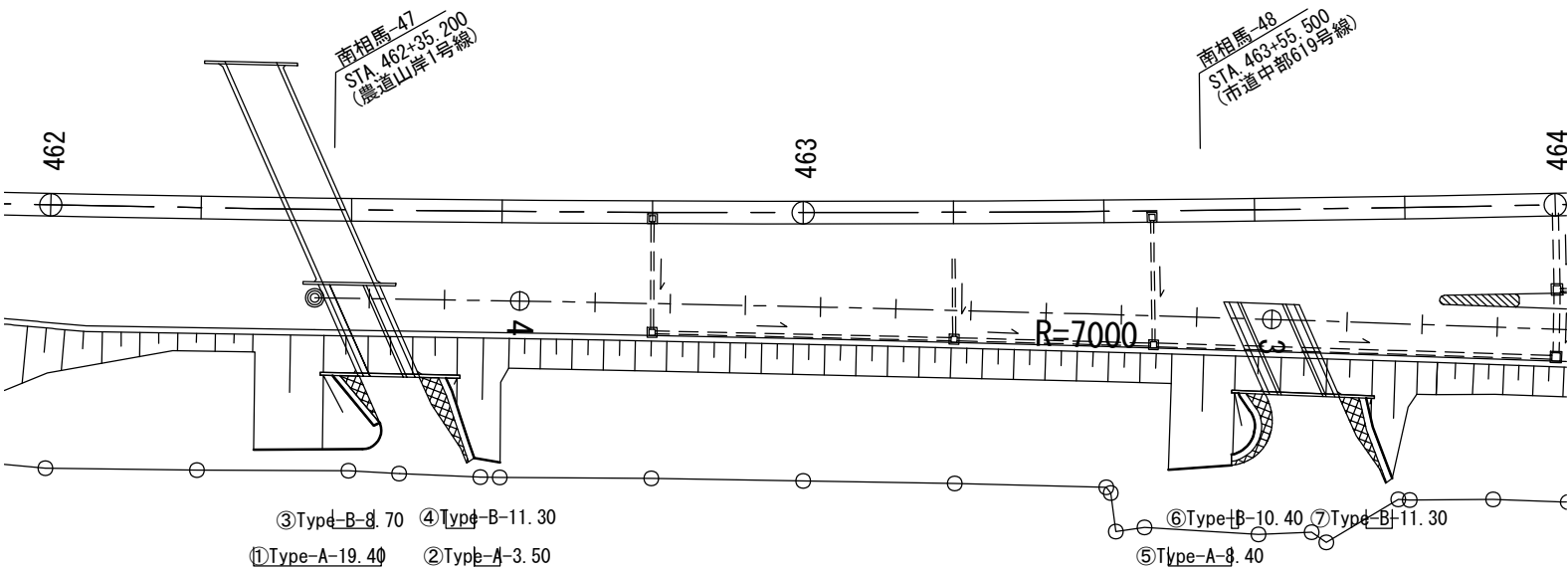
100㎡当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	備 考
防草シート	t=4mm	㎡	100.0	不織布系緑色
コの字アンカー	φ4×30×200mm	本	355	固定用、ワッシャーを含む ワッシャー φ80×t=12

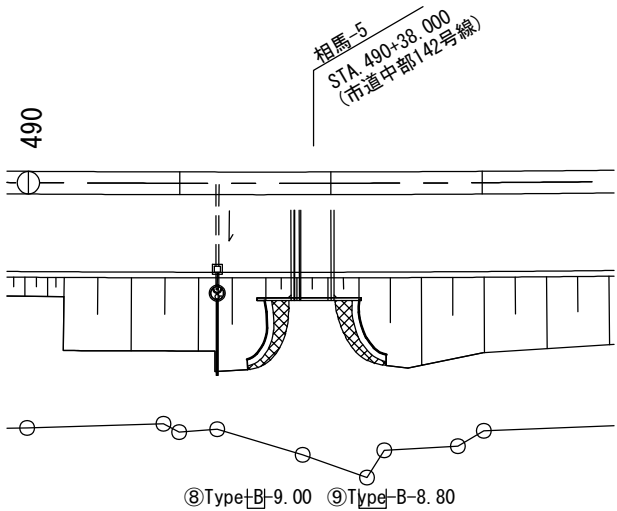
断面図 S=1:50



南相馬-47、48 S=1:1,000



相馬-5 S=1:1,000

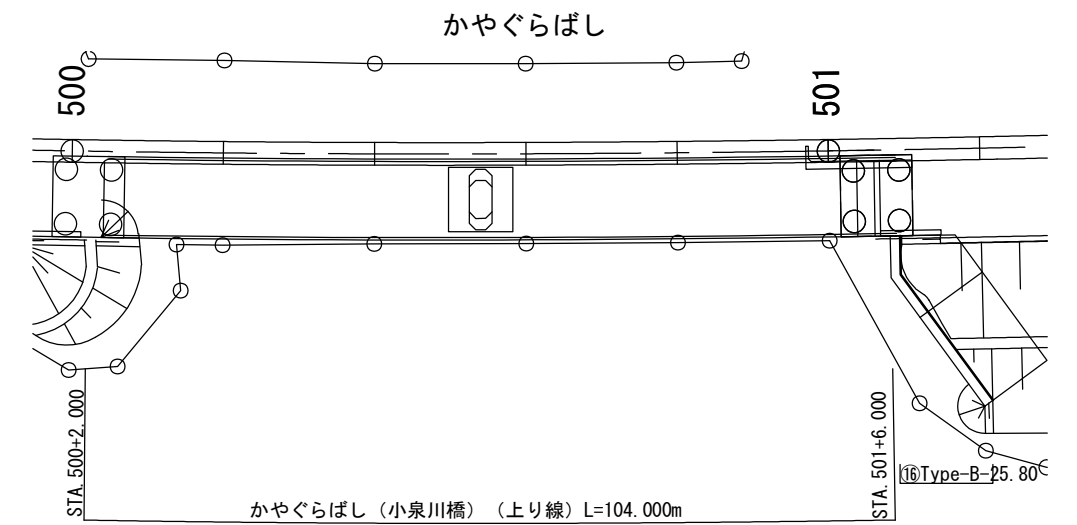
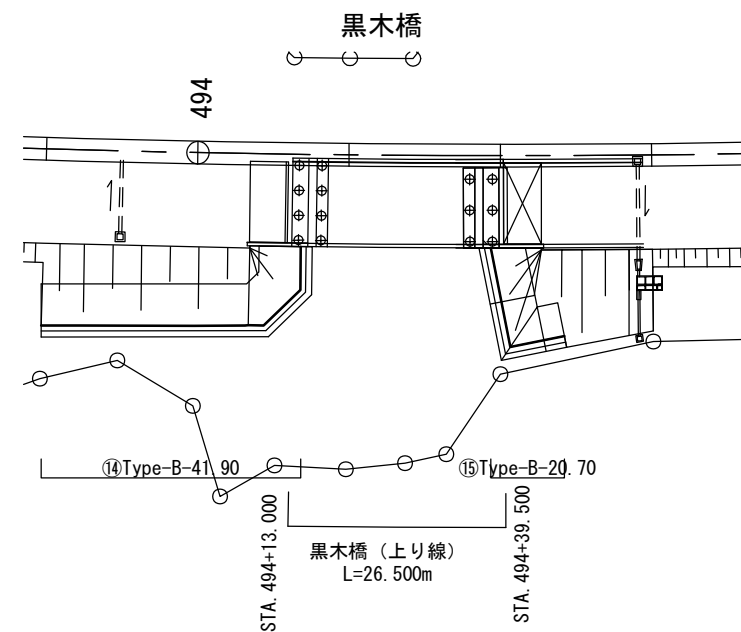
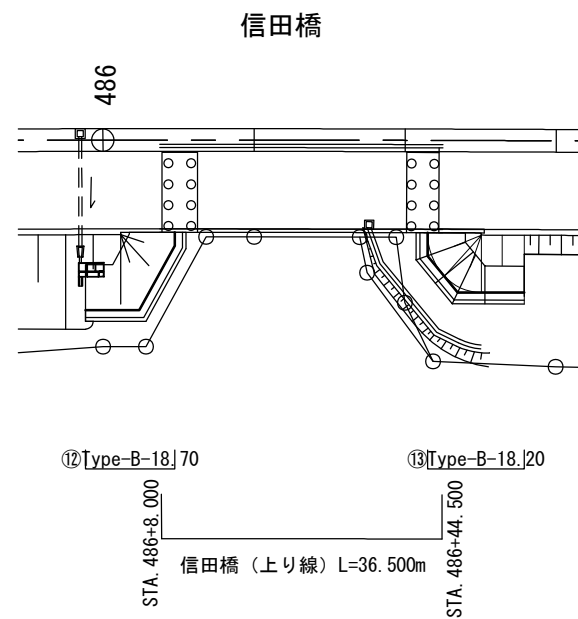
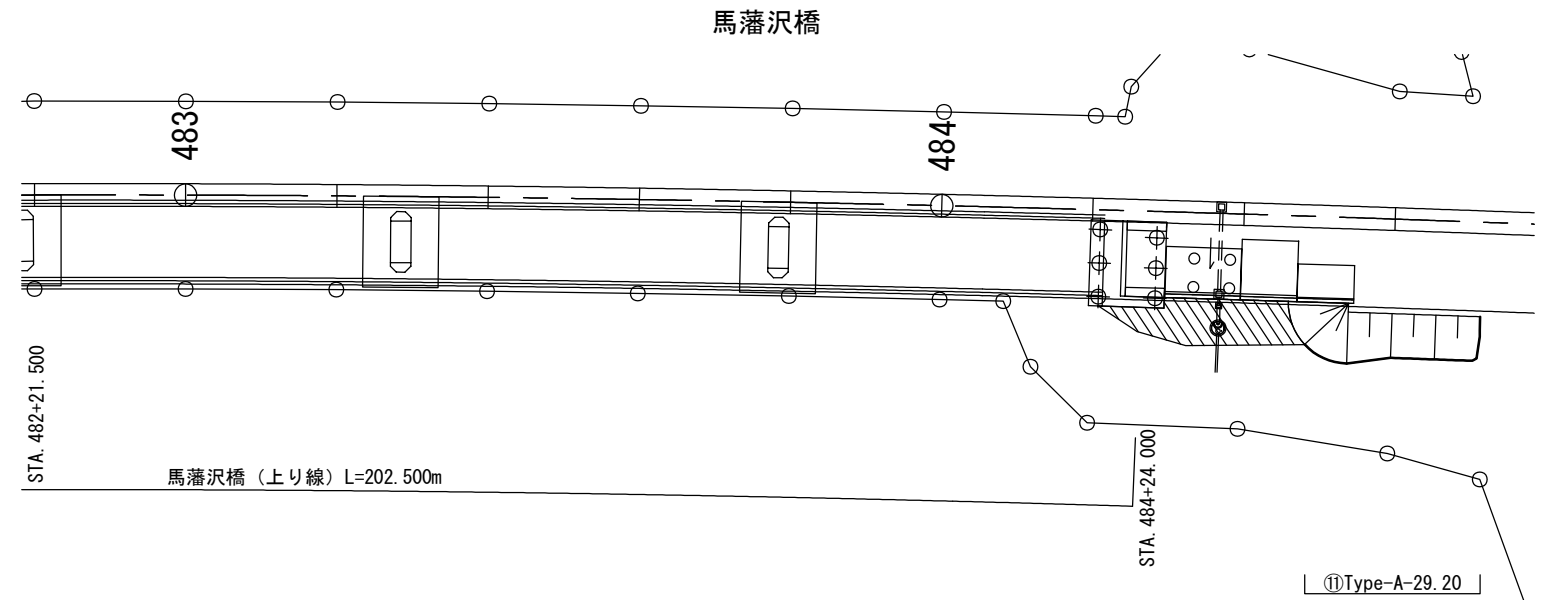
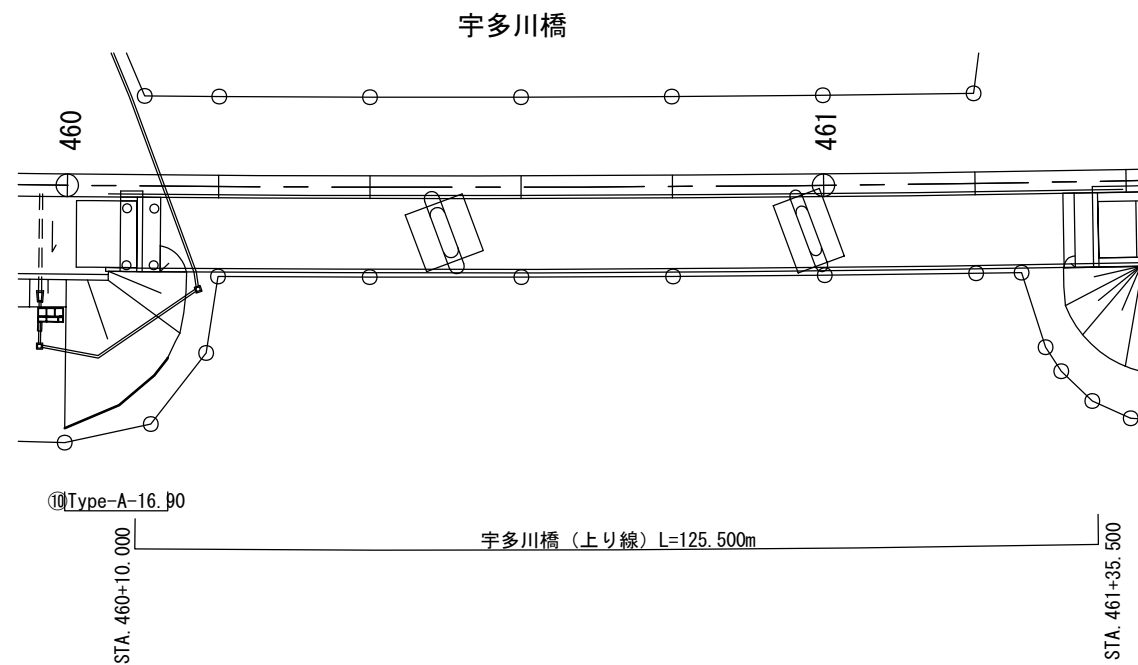


防草シート工 数量表

ボックス・橋梁名称	種別	敷設幅 (m)	敷設延長 (m)	敷設面積 (㎡)	備考
南相馬-47	Type-A	2.00	22.90	45.80	① ②
	Type-B	2.00	20.00	40.00	③ ④
南相馬-48	Type-A	2.00	8.40	16.80	⑤
	Type-B	2.00	21.70	43.40	⑥ ⑦
相馬-5	Type-B	2.00	17.80	35.60	⑧ ⑨
宇多川橋 (A1部)	Type-A	2.00	16.90	33.80	⑩
馬藩沢橋	Type-A	2.00	29.20	58.40	⑪
信田橋	Type-B	2.00	36.90	73.80	⑫ ⑬
黒木橋	Type-B	2.00	62.60	125.20	⑭ ⑮
かやぐらばし	Type-B	2.00	25.80	51.60	⑯
合計			262.20	524.40	

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	防草シート工詳細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

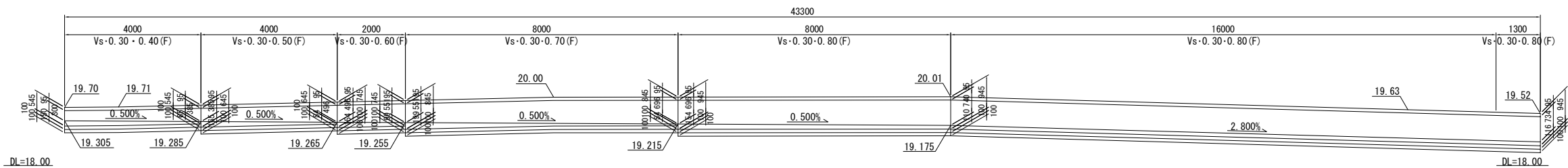
防草シート工詳細図(2) S=1:1,000



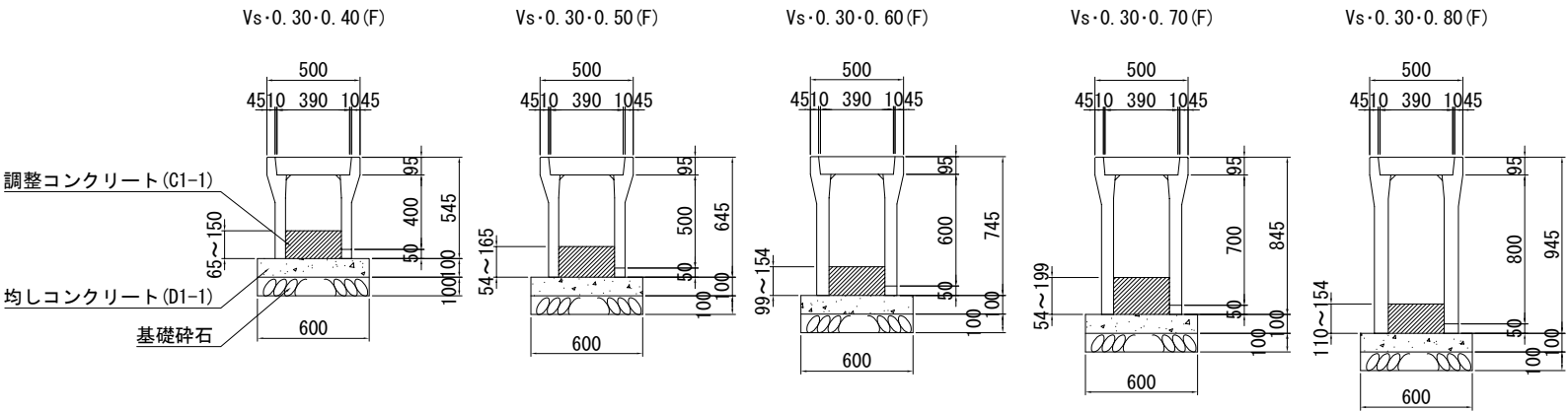
常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	防草シート工詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

宇多川流末部詳細図 (STA. 460+0.000付近)

Ds-Vs・0.30・0.40~0.80 (F)
展開図 S=1:150

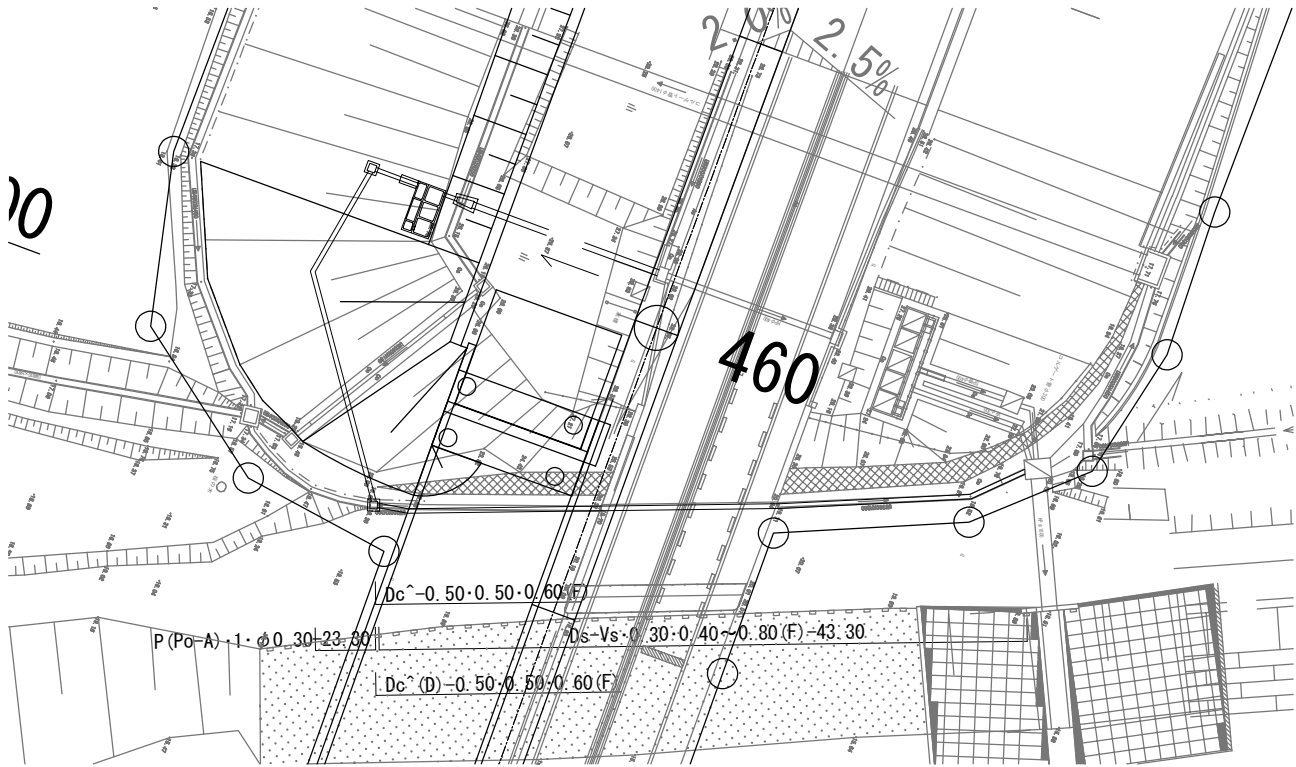


断面図 S=1:40



数 量 表 (Ds-Vs・0.30・0.40～0.80 (F))									1式当り	
種 別	項 目	構造物掘削	埋戻し	コンクリート		型枠	基礎碎石	側溝		ふた
		普通部		調整 (C1-1)	均し (D1-1)	D	RC-40			(41kg/枚)
		m ³	m ³	m ³	m ³	m ²	m ³	個	kg/個	枚
Vs・0.30・0.40 (F)		2.98	1.54	0.13	0.24	0.80	0.24	2	399	4
Vs・0.30・0.50 (F)		3.38	1.78	0.13	0.24	0.80	0.24	2	450	4
Vs・0.30・0.60 (F)		1.89	0.98	0.08	0.12	0.40	0.12	1	558	2
Vs・0.30・0.70 (F)		8.36	4.39	0.30	0.48	1.60	0.48	4	618	8
Vs・0.30・0.80 (F)		28.97	14.95	1.00	1.52	5.06	1.52	13	754	26
	合計	45.58	23.64	1.64	2.60	8.66	2.60	-	-	44

平面図 S=1:500

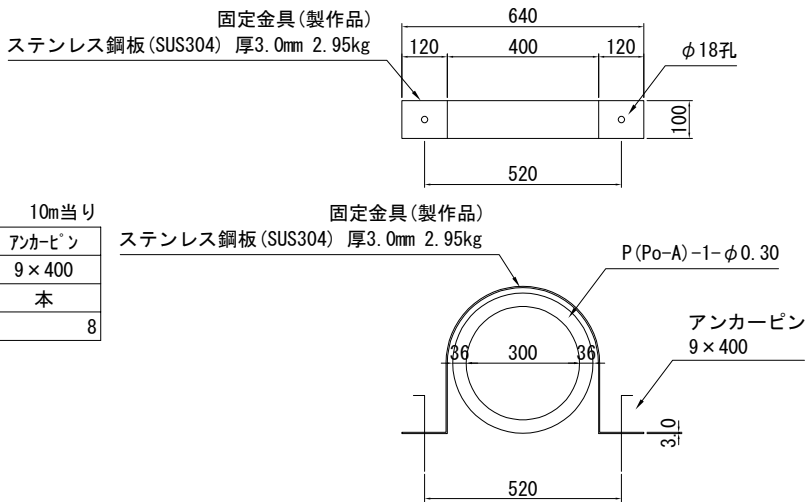
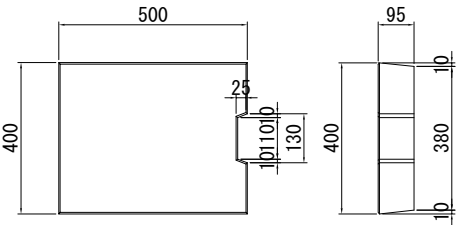


P(Po-A)・1・φ0.30 S=1:20

固定金具詳細図 S=1:20

数量表 (P(Po-A)・1・φ0.30)				10m当り
種 別	項 目	高耐圧ポリエチレン管	固定金具	アンカーピン
		1種 φ0.30		9×400
		m	個	本
P(Po-A)・1・φ0.30		10.00	4	8

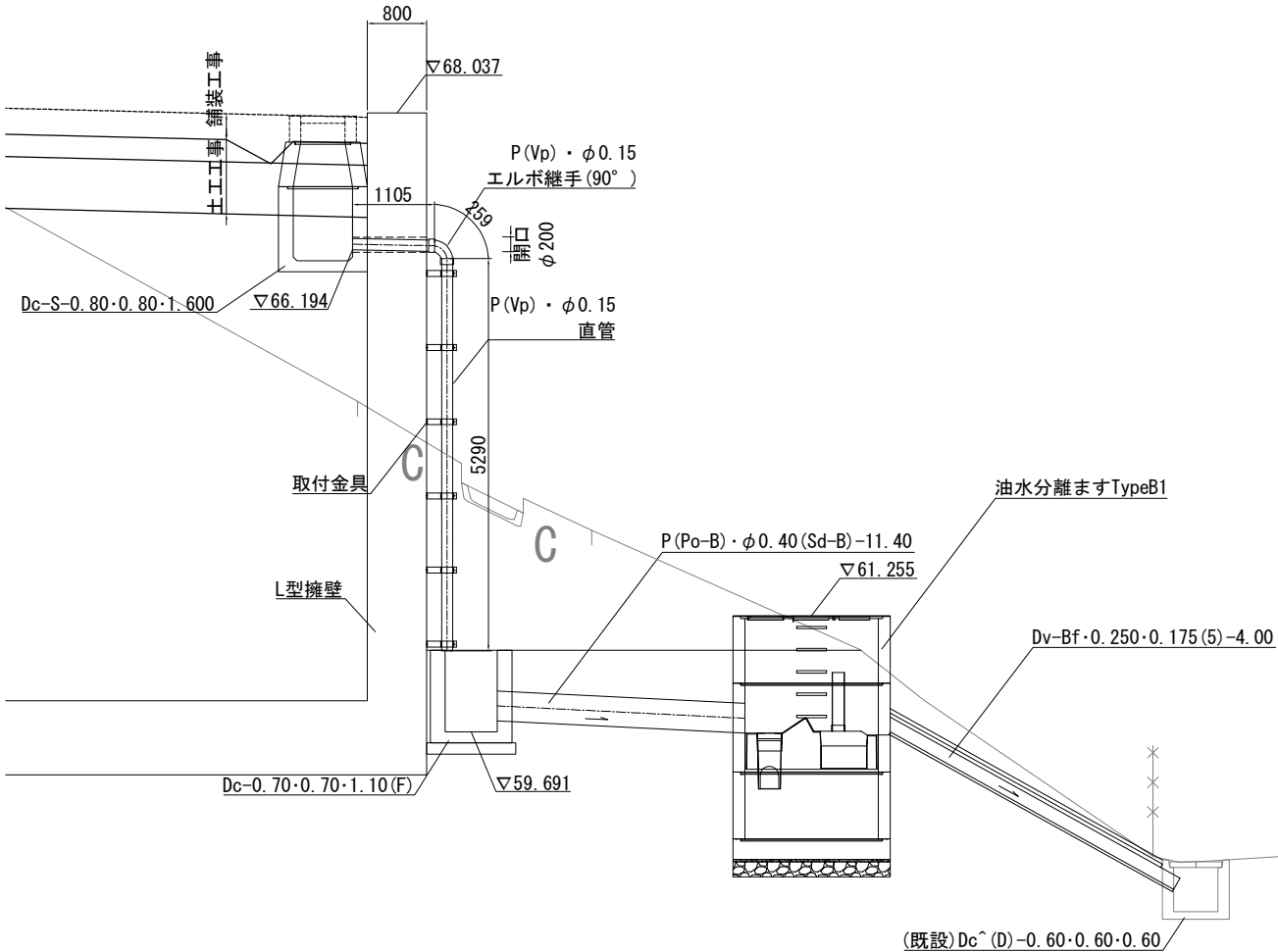
ふた S=1:20



常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	排水構造物工詳細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

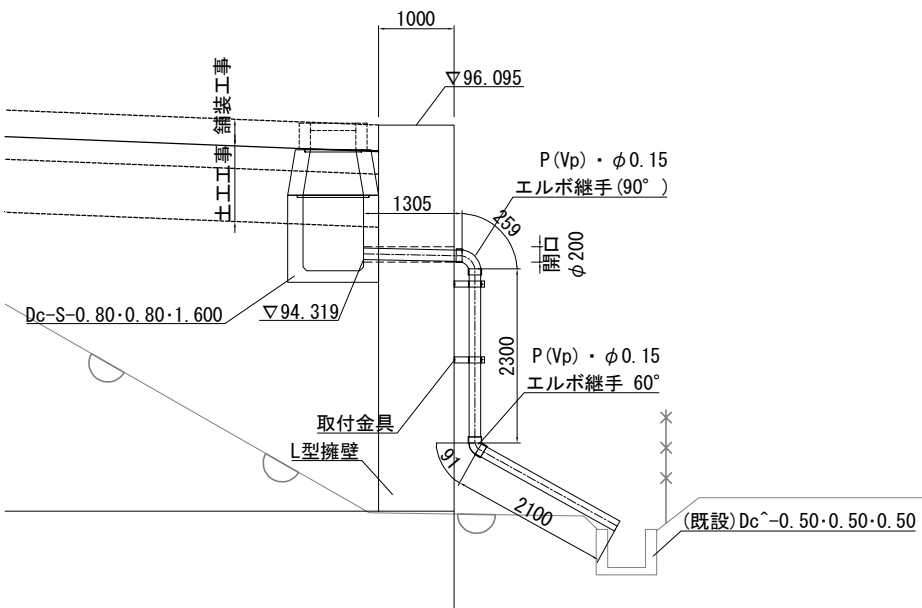
P(Vp)・φ0.15
STA. 484+37.000

側面図 S=1:100

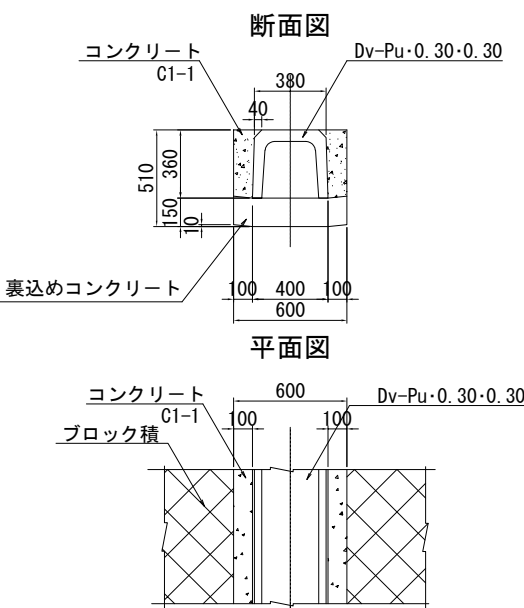


P(Vp)・φ0.15
STA. 518+80.000

側面図 S=1:100

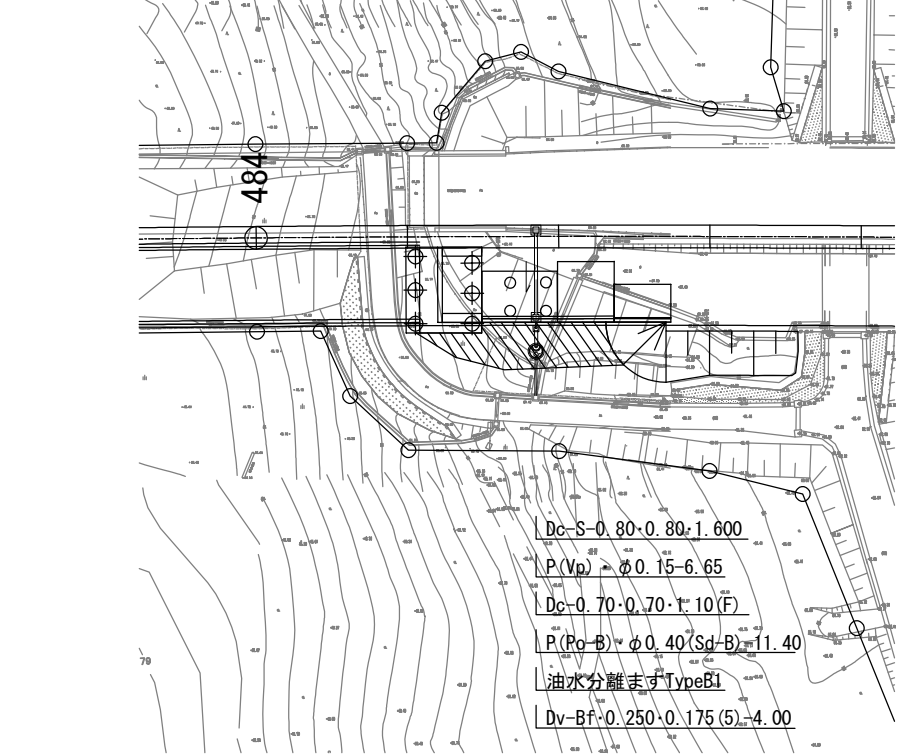


Dv-Pu・0.30・0.30 (A) S=1:40

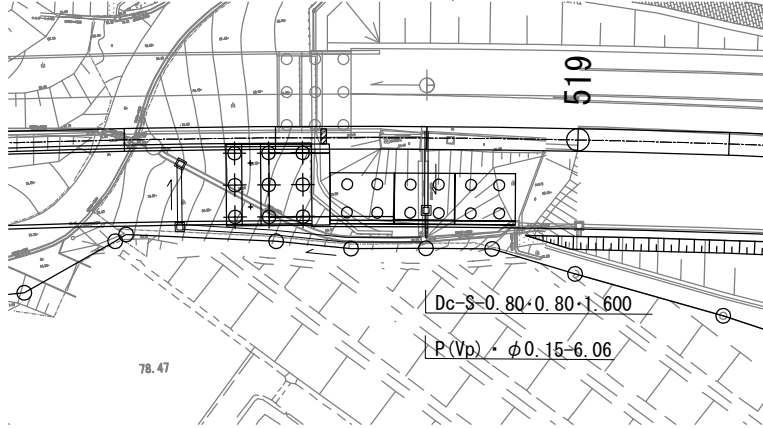


数量表				10m当り
種別	コンクリート	型枠	側溝	摘要
	C1-1	D	L=600m/個	
Dv-Pu・0.30・0.30 (A)	0.78	7.20	17	

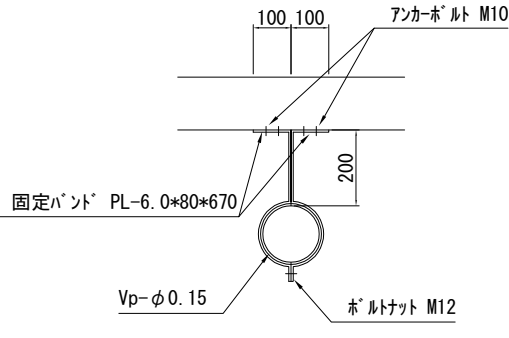
平面図 S=1:1,000



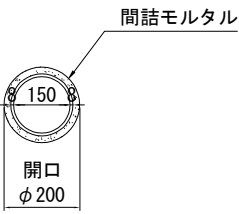
平面図 S=1:1,000



取付金具詳細図 S=1:20

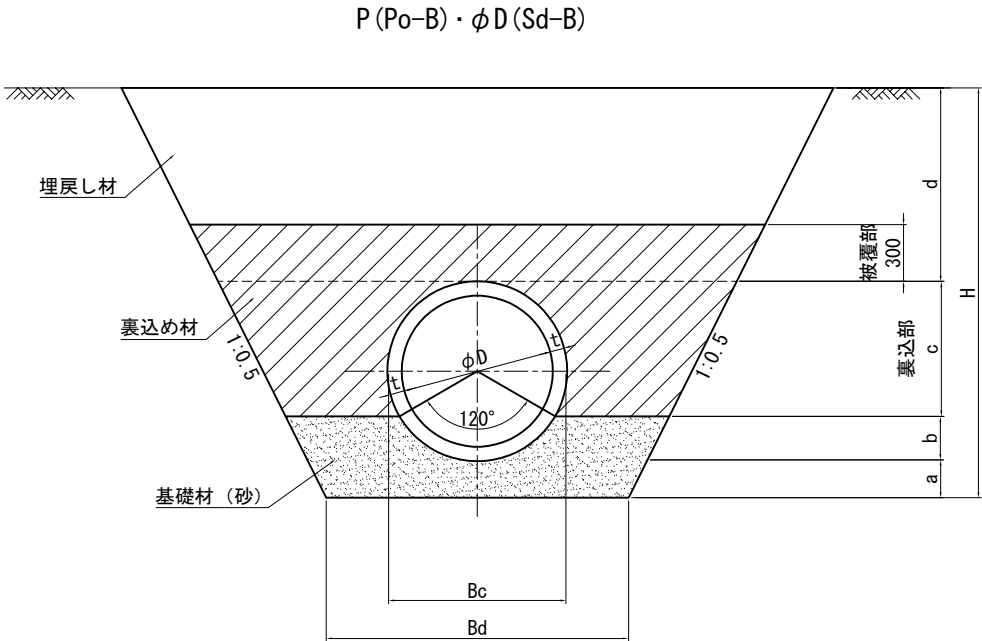


開口部詳細図 S=1:20



数量表							
種別	項目	P(Vp)・φ0.15 直管	P(Vp)・φ0.15 エルボ継手90°	P(Vp)・φ0.15 エルボ継手60°	間詰モルタル 1:3	固定ハント PL6.0*80*670	備考
		(m)	(個)	(個)	(m3)	(個)	
P(Vp)・φ0.15		6.40	1	-	0.01	6	STA. 484+37.000
		5.71	1	1	0.01	2	STA. 518+80.000

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	排水構造物工詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		



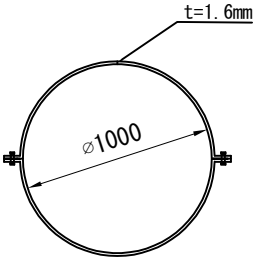
寸 法 表

種 別	寸 法 表 (mm)						
	a	b	c	d	Bd	H (平均)	t
P (Po-B) ・ φ 0. 80 (Sd-B)	200	231	714	1024	1600	2169 (2119～2219)	76
P (Po-B) ・ φ 0. 90 (Sd-B)	200	260	809	1411	1800	2680 (2239～3139)	89

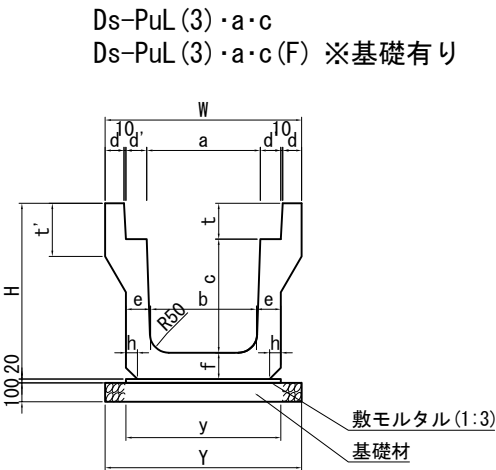
数 量 表

種 別	項 目	構造物掘削 普通部	埋戻し	裏込め材	基礎材 砂	ポリエチレン管
		m ³	m ³	m ³	m ³	m
P (Po-B) ・ φ 0. 80 (Sd-B)		58. 23	24. 67	20. 01	6. 43	10. 00
P (Po-B) ・ φ 0. 90 (Sd-B)		84. 27	43. 65	23. 96	7. 77	10. 00

C-P (Cor) 1R-φ 1. 00 ・ t=1. 6 (Z)



※ (Z) 亜鉛メッキを施したもの

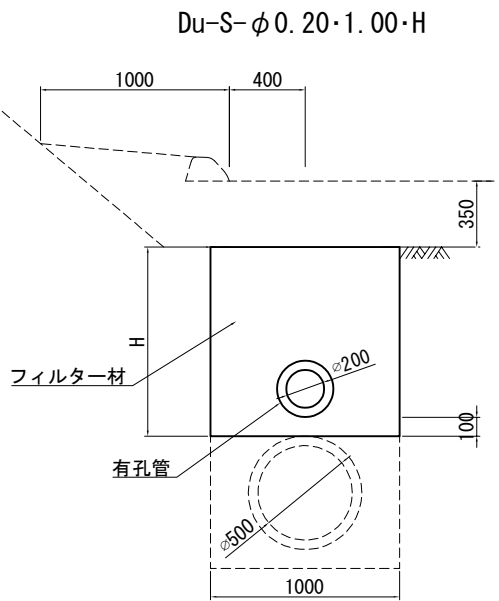
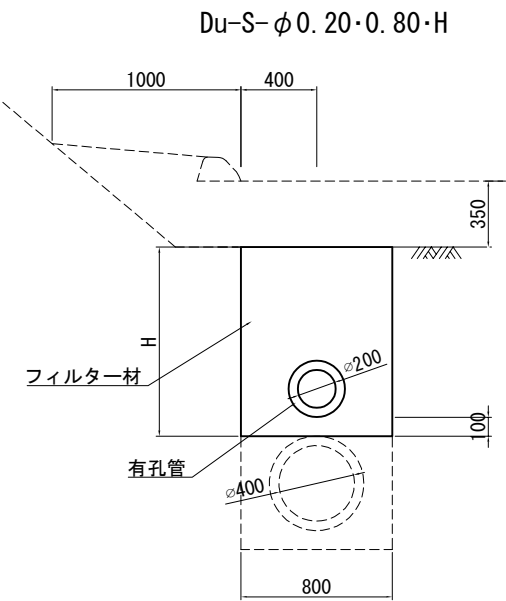


寸 法 表 (Ds-PuL (3) ・ a・c (F))

種 別	寸 法 (mm)													
	a	b	c	d	d'	e	f	h	t	t'	H	W	y	Y
Ds-PuL (3) ・ 0. 30・0. 30 (F)	300	280	300	50	55	70	70	30	95	140	465	520	420	520
Ds-PuL (3) ・ 0. 50・0. 50 (F)	500	460	500	60	60	80	80	40	125	155	705	750	620	740

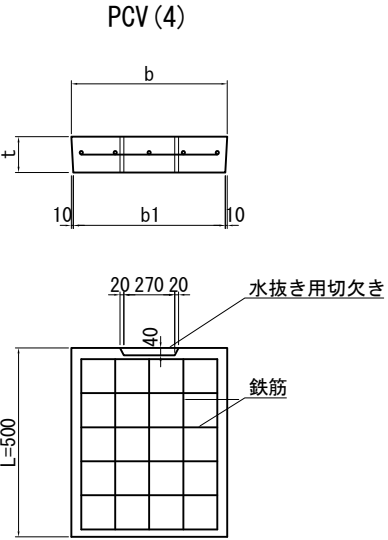
数 量 表

種 別	項 目	構造物掘削 普通部	埋戻し	側溝	敷モルタル	基礎材	蓋
		m ³	m ³	個	m ³	m ³	枚
Ds-PuL (3) ・ 0. 30・0. 30		2. 91	0. 68	5	0. 08	-	20
Ds-PuL (3) ・ 0. 30・0. 30 (F)		3. 51	0. 76	5	0. 08	0. 52	20
Ds-PuL (3) ・ 0. 50・0. 50 (F)		8. 25	2. 73	5	0. 12	0. 74	20



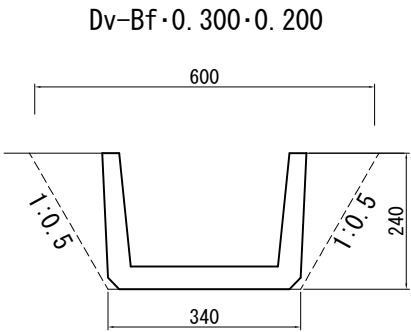
数 量 表

種 別	項 目	フィルター材	有孔管 φ 200	摘要
		m ³	m	
Du-S-φ 0. 20・0. 80・1. 00		7. 69	10. 00	排水管 φ 400
Du-S-φ 0. 20・0. 80・2. 40		18. 89	10. 00	排水管 φ 400
Du-S-φ 0. 20・1. 00・0. 30		2. 69	10. 00	排水管 φ 500
Du-S-φ 0. 20・1. 00・0. 50		4. 69	10. 00	排水管 φ 500



寸 法 表 (PCV (4))

種 別	寸 法 (mm)				備 考
	b	b1	t	L	
PCV (4) ・ 0. 30	412	402	95	500	
PCV (4) ・ 0. 50	622	612	125		
PCV (4) ・ 0. 40	512	502	110		工事用道路1

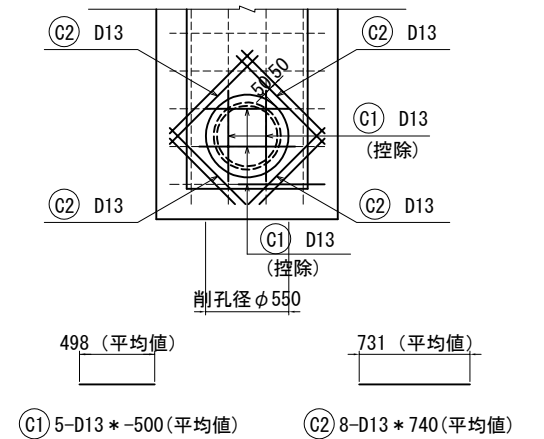
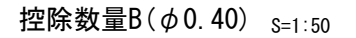


数 量 表

種 別	項 目	構造物掘削 人力掘削 (土砂)	埋戻し	残土	Bf	摘要
		m ³	m ³	m ³	個	
Dv-Bf・0. 300・0. 200		1. 13	0. 29	0. 84	5	

常 盤 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	排水構造物工詳細図 (3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

排水管接続部詳細図（控除数量）



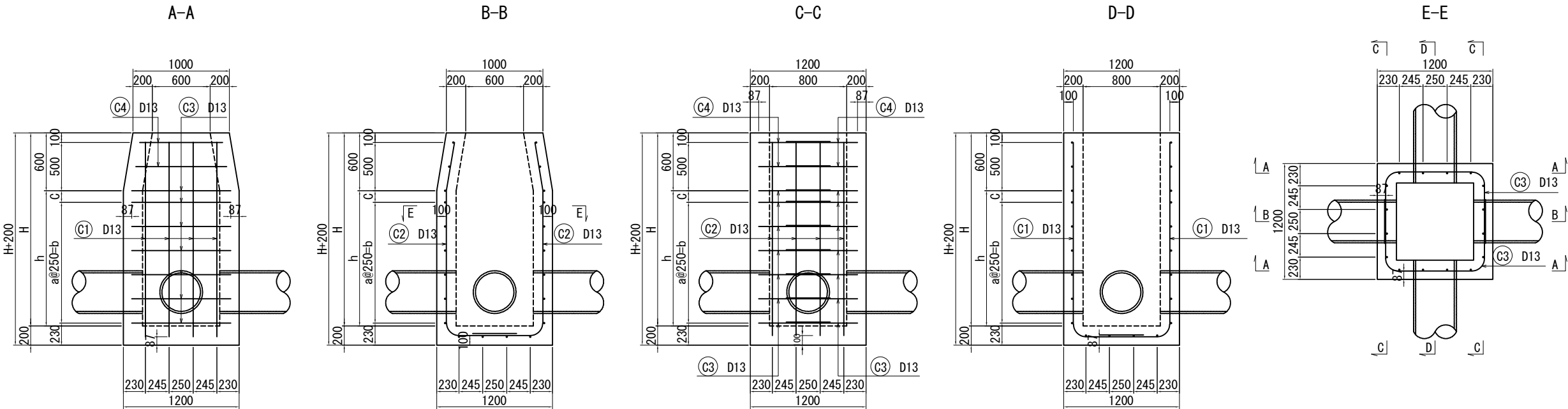
数 量 表				1箇所当り	
種 別	項 目	規格・寸法	単位	数量	摘要
控除数量A	コンクリート	C1-1	m ³	-0.06	
	型枠	D	m ²	-0.57	
控除数量B	コンクリート	B1-3	m ³	-0.05	※H1.900はC1-1
	型枠	D	m ²	-0.48	
	鉄筋	A	kg	3	
控除数量C	コンクリート	B1-3	m ³	-0.06	
	型枠	D	m ²	-0.57	
	鉄筋	A	kg	4	

数 量 表											1箇所当り
種 別	項 目	構造物掘削	埋戻し	コンクリート		型枠		鉄筋A			摘 要
		普通部		B1-3 (H=1.000, 1.900はC1-1)		D		D13		D16	
		m ³	m ³	m ³		m ²		kg		kg	
Dc-S-0.80・0.80・1.000	3.07	1.41	基本数量	1.06	基本数量	9.04	-		3		P(Po-B)・φ0.50(Sd-B) 2本接続 ※控除数量A×2
			控除数量	-0.12	控除数量	-1.14					
			合計	0.94	合計	7.90					
Dc-S-0.80・0.80・1.900	63.15	60.20	基本数量	1.78	基本数量	15.92	基本数量	84	4		P(Po-B)・φ0.40(Sd-B) 3本接続 ※控除数量B×3
			控除数量	-0.15	控除数量	-1.44	控除数量	9			
			合計	1.63	合計	14.48	合計	93			
Dc-S-0.80・0.80・2.100	71.86	68.62	基本数量	1.94	基本数量	17.52	基本数量	86	5		P(Po-B)・φ0.40(Sd-B) 2本接続 P(Po-B)・φ0.50(Sd-B) 1本接続 ※控除数量B×2+控除数量C
			控除数量	-0.16	控除数量	-1.53	控除数量	10			
			合計	1.78	合計	15.99	合計	96			
Dc-S-0.80・0.80・3.000	117.93	113.39	基本数量	2.66	基本数量	24.72	基本数量	120	8		P(Po-B)・φ0.40(Sd-B) 3本接続 ※控除数量B×3
			控除数量	-0.15	控除数量	-1.44	控除数量	9			
			合計	2.51	合計	23.28	合計	129			

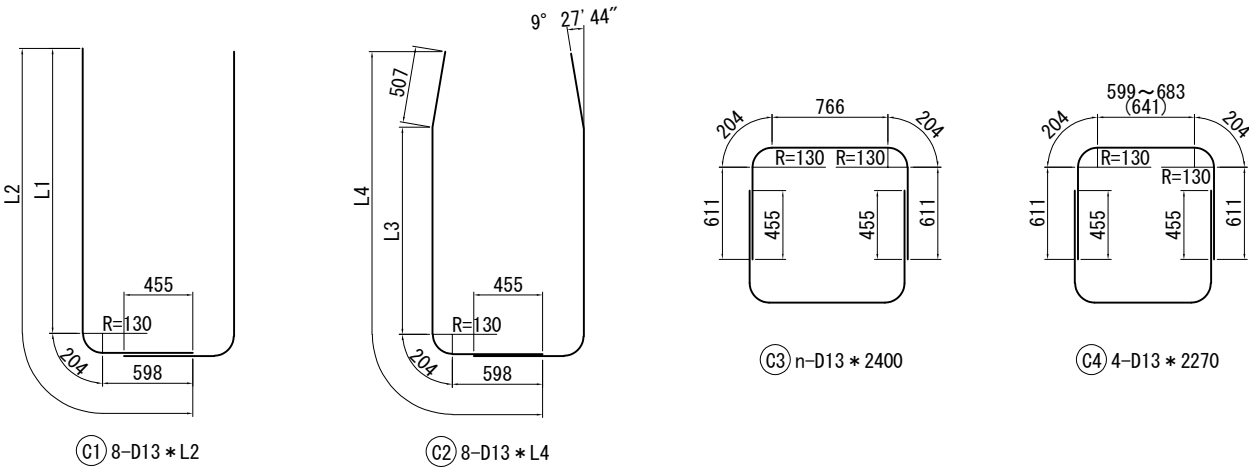
鉄 筋 表		1箇所当り						
項 目 種 別	記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当たりの質量	質量	摘要
			mm	本	kg/m	kg/本	kg	
控除数量B φ 0. 40	C1	D13	-500	5	0. 995	-0. 50	-2. 50	—
	C2	D13	740	8	0. 995	0. 74	5. 92	—
	合計						3	kg
控除数量C φ 0. 50	C1	D13	-660	4	0. 995	-0. 66	-2. 64	—
	C2	D13	770	8	0. 995	0. 77	6. 16	—
	合計						4	kg

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	排水構造物工詳細図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

Dc-S-0.80・0.80・H 配筋図



鉄筋加工図



寸法表

種 別	項 目	寸法 (mm)									
		H	h	a	b	c	L1	L2	L3	L4	n
Dc-S-0.80・0.80・1.90		1900	1300	5	1250	20	1783	2590	1270	2580	14
Dc-S-0.80・0.80・2.10		2100	1500	5	1250	220	1983	2790	1470	2780	14
Dc-S-0.80・0.80・3.00		3000	2400	9	2250	120	2883	3690	2370	3680	22

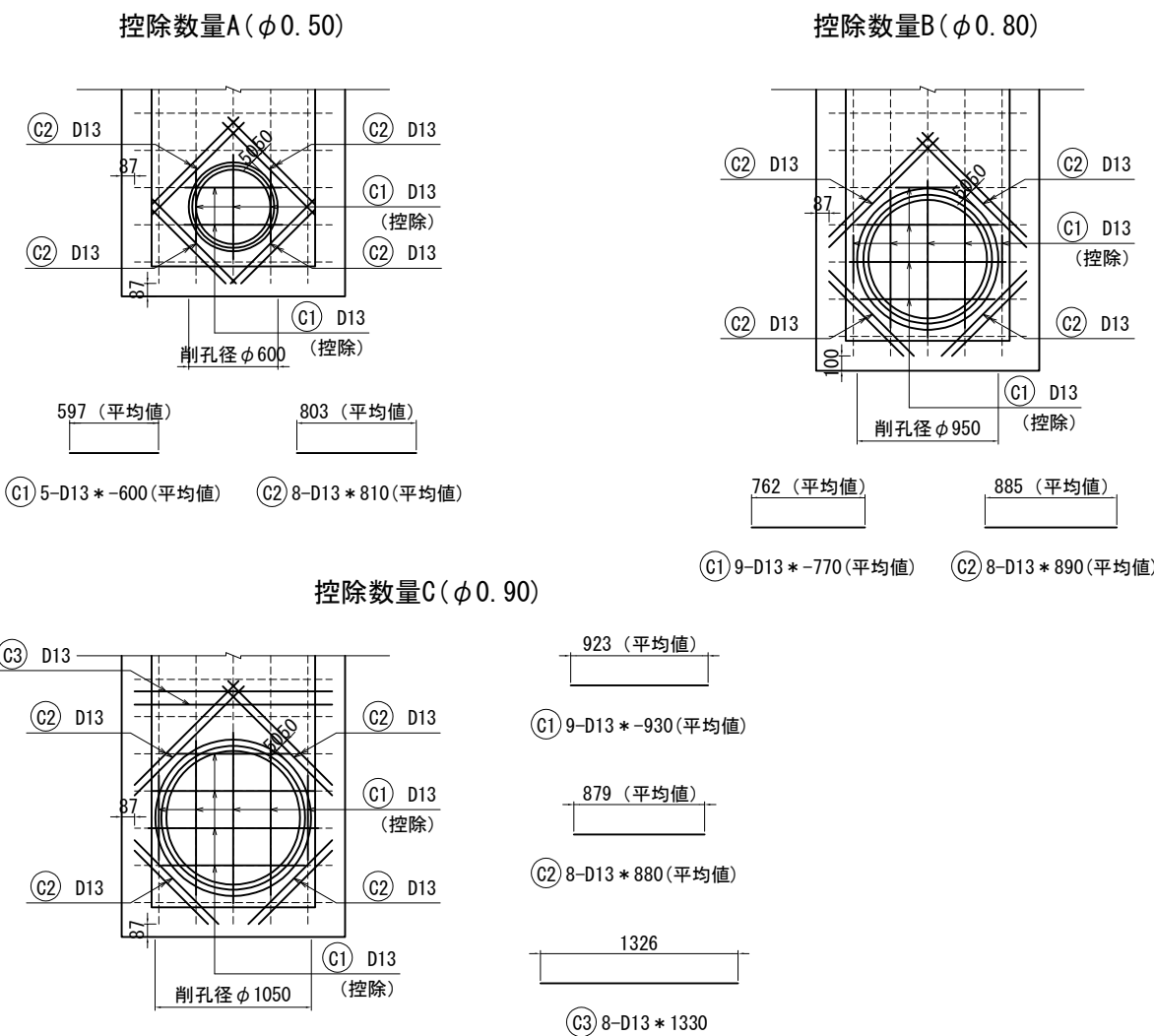
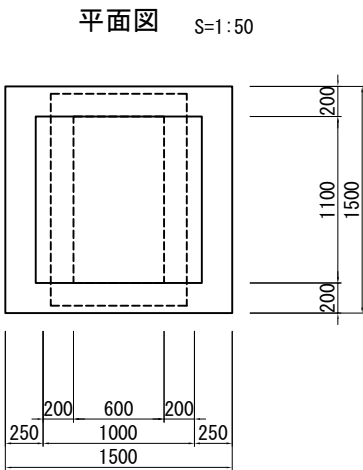
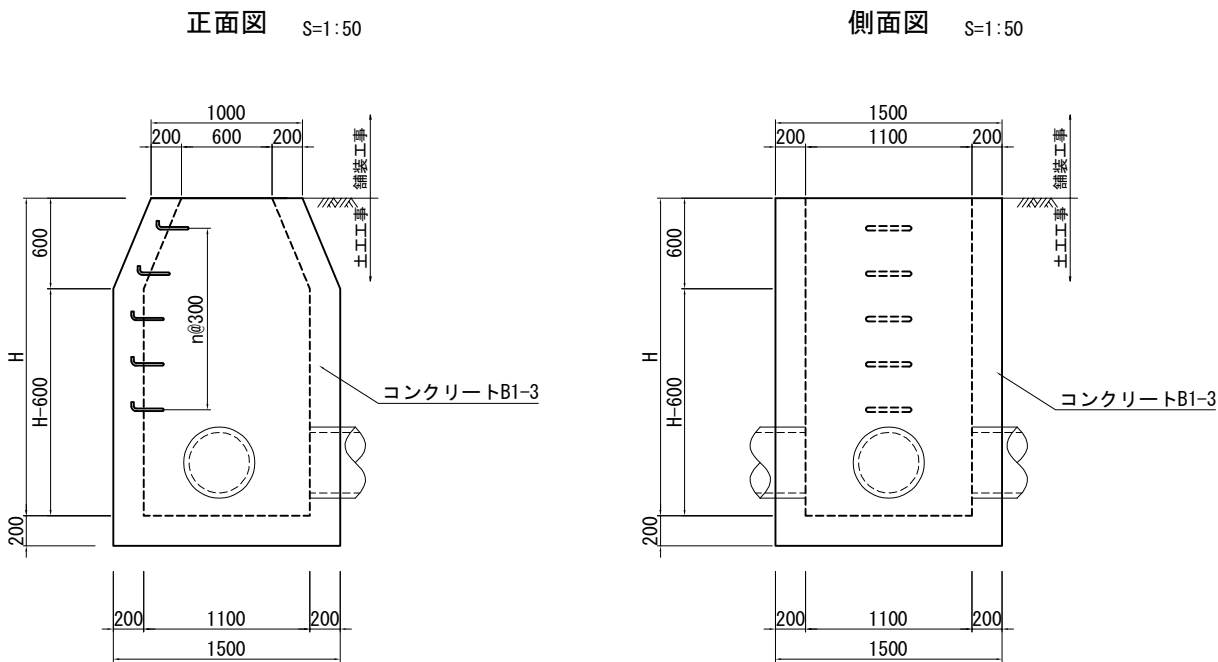
鉄筋表

種 別	項 目	記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当たりの質量	質量	摘要
				mm	本	kg/m	kg/本	kg	
Dc-S-0.80・0.80・1.90		C1	D13	2590	8	0.995	2.58	21	└
		C2	D13	2580	8	0.995	2.57	21	└
		C3	D13	2400	14	0.995	2.39	33	┐
		C4	D13	2270	4	0.995	2.26	9	┐
		合計							84 kg
Dc-S-0.80・0.80・2.10		C1	D13	2790	8	0.995	2.78	22	└
		C2	D13	2780	8	0.995	2.77	22	└
		C3	D13	2400	14	0.995	2.39	33	┐
		C4	D13	2270	4	0.995	2.26	9	┐
		合計							86 kg
Dc-S-0.80・0.80・3.00		C1	D13	3690	8	0.995	3.67	29	└
		C2	D13	3680	8	0.995	3.66	29	└
		C3	D13	2400	22	0.995	2.39	53	┐
		C4	D13	2270	4	0.995	2.26	9	┐
		合計							120 kg

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	排水構造物工詳細図 (5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

Dc-S-1.10・1.10・H

排水管接続部詳細図（控除数量）



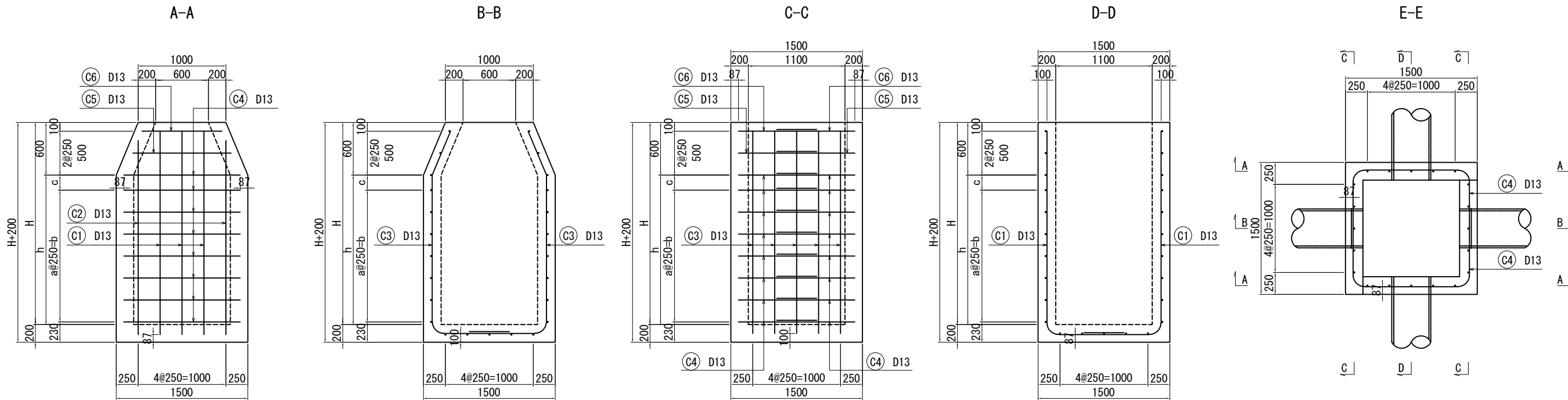
数量表		1箇所当り						
		項目	構造物掘削	埋戻し	コンクリート	型枠	鉄筋A	
		種別	普通部		B1-3	D	D13	D16
			m ³	m ³	m ³	m ²	kg	kg
Dc-S-1.10・1.10・2.10			79.73	74.78	基本数量	2.57	基本数量	22.44
					控除数量	-0.37	控除数量	-3.72
					合計	2.20	合計	18.72
Dc-S-1.10・1.10・2.30			89.81	84.41	基本数量	2.78	基本数量	24.52
					控除数量	-0.34	控除数量	-3.46
					合計	2.44	合計	21.06
Dc-S-1.10・1.10・3.00			129.74	122.76	基本数量	3.51	基本数量	31.80
					控除数量	-0.34	控除数量	-3.46
					合計	3.17	合計	28.34

鉄筋表								1箇所当り	
種 別	項 目	記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当たりの質量	質量	摘要
				mm	本	kg/m	kg/本	kg	
控除数量A φ 0.50	C1	D13	-600	5	0.995	-0.60	-3.00	—	
	C2	D13	810	8	0.995	0.81	6.48	—	
	合計							3 kg	
控除数量B φ 0.80	C1	D13	-770	9	0.995	-0.77	-6.93	—	
	C2	D13	890	8	0.995	0.89	7.12	—	
	合計							1 kg	
控除数量C φ 0.90	C1	D13	-930	9	0.995	-0.93	-8.37	—	
	C2	D13	880	8	0.995	0.88	7.04	—	
	C3	D13	1330	2	0.995	1.32	2.64	—	
合計							1 kg		

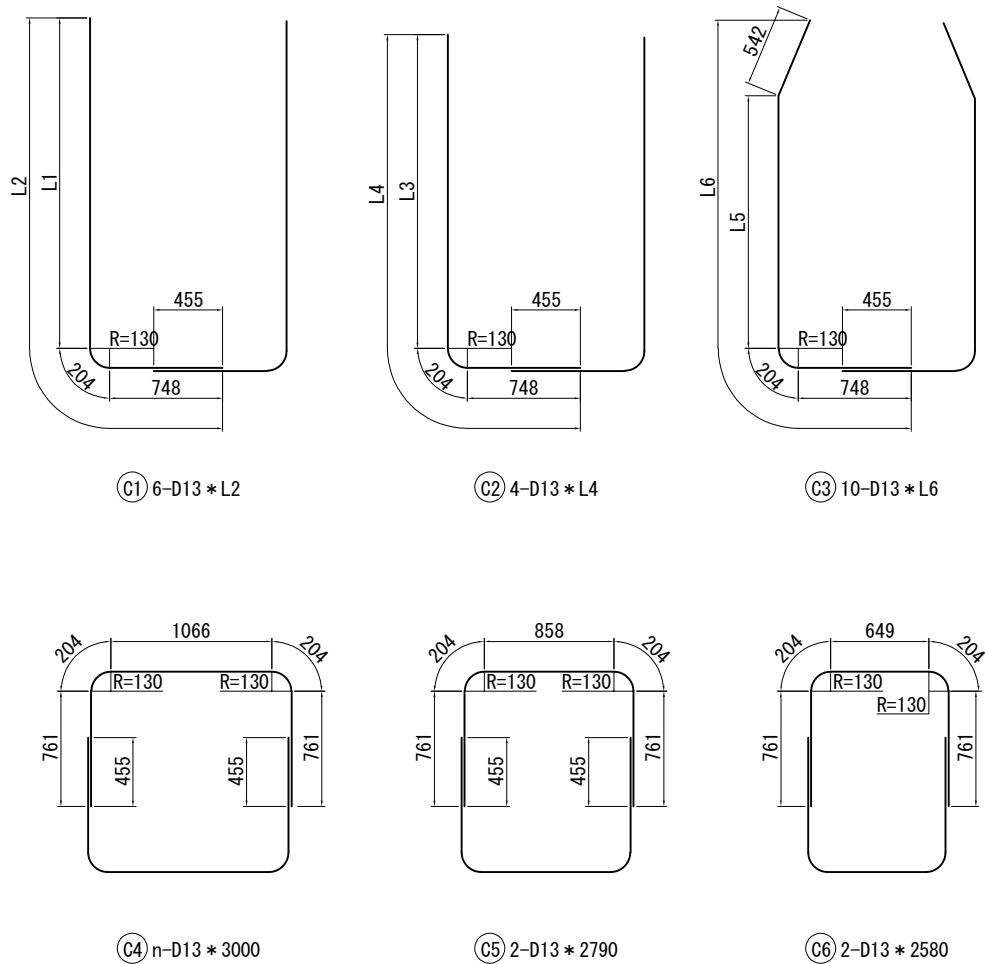
数量表		1箇所当り			
		種別	項目	規格・寸法	単位
控除数量A			コンクリート	B1-3	m ³
			型枠	D	m ²
			鉄筋	A	kg
控除数量B			コンクリート	B1-3	m ³
			型枠	D	m ²
			鉄筋	A	kg
控除数量C			コンクリート	B1-3	m ³
			型枠	D	m ²
			鉄筋	A	kg

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	排水構造物工詳細図(6)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

Dc-S-1. 10・1. 10・H 配筋図



鉄筋加工図



寸法表

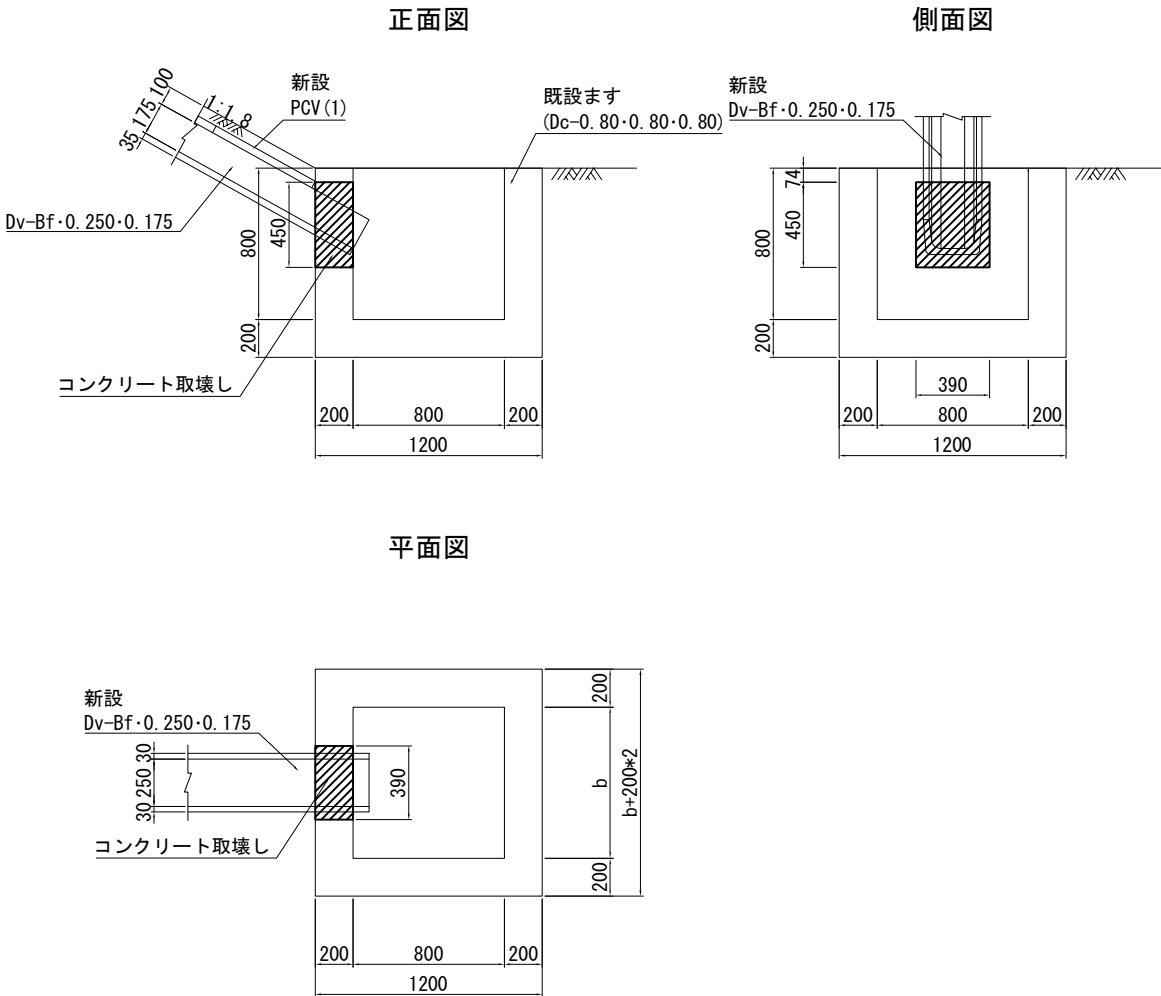
種 別	項 目	寸法 (mm)											
		H	h	a	b	c	L1	L2	L3	L4	L5	L6	n
Dc-S-1. 10・1. 10・2. 10		2100	1500	5	1250	220	1983	2940	1874	2830	1470	2960	14
Dc-S-1. 10・1. 10・2. 30		2300	1700	6	1500	170	2183	3140	2074	3030	1670	3160	16
Dc-S-1. 10・1. 10・3. 00		3000	2400	9	2250	120	2883	3840	2774	3730	2370	3860	22

鉄 筋 表

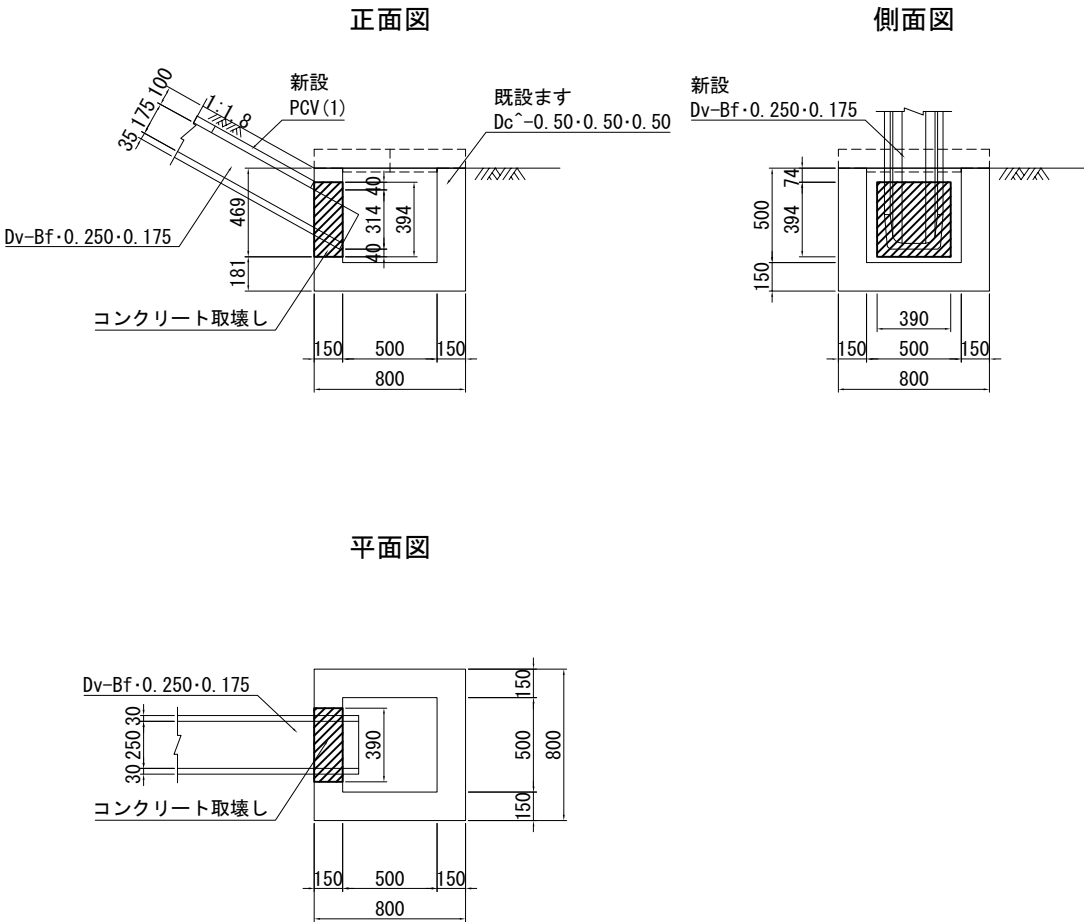
種 別	項 目	記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当たりの質量	質量	摘要
				mm	本	kg/m	kg/本	kg	
Dc-S-1. 10・1. 10・2. 10	C1	D13	2940	6	0.995	2.93	18	└	
	C2	D13	2830	4	0.995	2.82	11	└	
	C3	D13	2960	10	0.995	2.95	30	└	
	C4	D13	3000	14	0.995	2.99	42	□	
	C5	D13	2790	2	0.995	2.78	6	□	
	C6	D13	2580	2	0.995	2.57	5	□	
	合計							112 kg	
Dc-S-1. 10・1. 10・2. 30	C1	D13	3140	6	0.995	3.12	19	└	
	C2	D13	3030	4	0.995	3.01	12	└	
	C3	D13	3160	10	0.995	3.14	31	└	
	C4	D13	3000	16	0.995	2.99	48	□	
	C5	D13	2790	2	0.995	2.78	6	□	
	C6	D13	2580	2	0.995	2.57	5	□	
	合計							121 kg	
Dc-S-1. 10・1. 10・3. 00	C1	D13	3840	6	0.995	3.82	23	└	
	C2	D13	3730	4	0.995	3.71	15	└	
	C3	D13	3860	10	0.995	3.84	38	└	
	C4	D13	3000	22	0.995	2.99	66	□	
	C5	D13	2790	2	0.995	2.78	6	□	
	C6	D13	2580	2	0.995	2.57	5	□	
	合計							153 kg	

常 盤 自 動 車 道 相 馬 工 事	
図面の種類	排水構造物工詳細図(7)
縮 尺	S=1:50 図面番号 /
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所

集水ます改修工D-1
Dv-Bf・0.250・0.175接続
側壁厚200mm



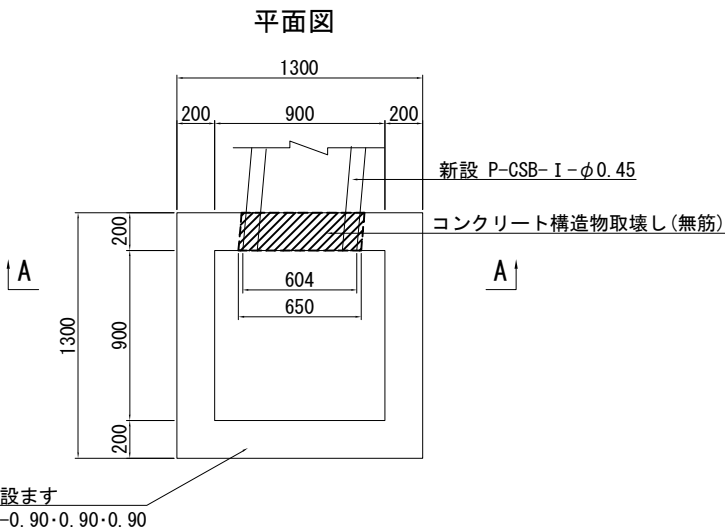
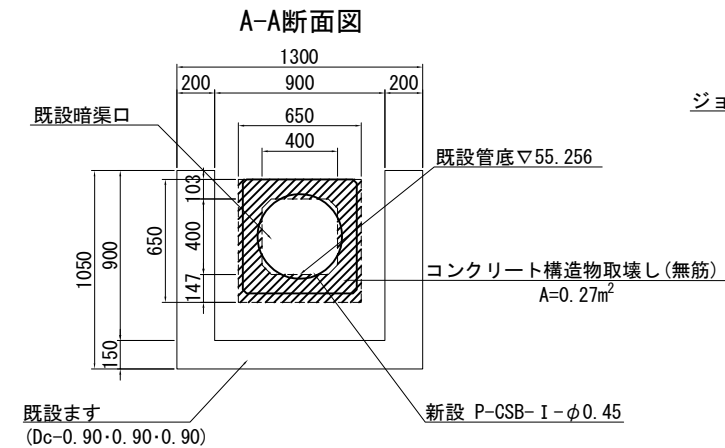
集水ます改修工D-2
Dv-Bf・0.250・0.175接続
側壁厚150mm



	数 量 表			1箇所当り	
	構造物掘削 (m ³)	埋戻し (m ³)	コンクリート取壊し 無筋 (m ³)	摘要	
				接続水路	側壁厚さ
集水ます改修工D-1	0.82	0.82	0.04	Dv-Bf・0.250・0.175	200mm
集水ます改修工D-2	0.17	0.17	0.02		150mm

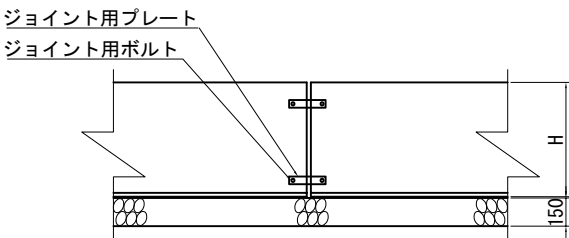
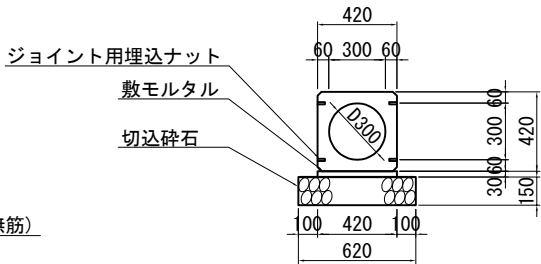
常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	排水構造物工詳細図(8)		
縮 尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

集水ます改修工E
P-CSB- I -φ0.45接続



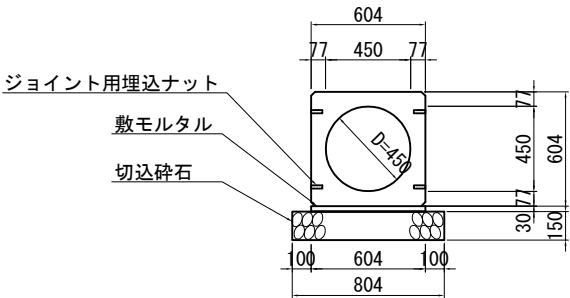
数量表	集水ます改修工E	
	コンクリート取壊し(無筋) m ³	摘要 接続水路 P-CSB- I -φ0.45
	0.05	

P-CSB- I -φ0.30

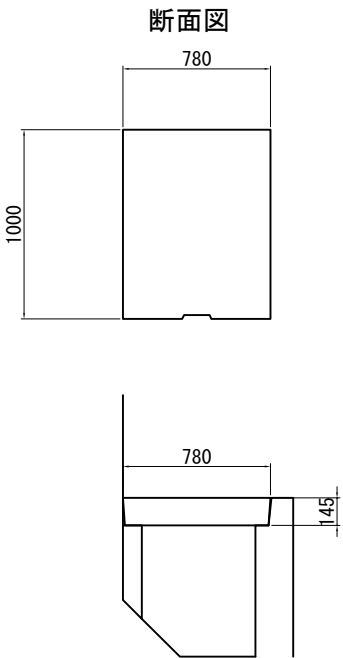


数量表	10m当り					摘要
	項目	構造物掘削 普通部 m ³	埋戻し m ³	切込碎石 RC-40 m ²	敷モルタル 1:3 m ³	本体 プレキャスト 個
	P-CSB- I -φ0.30	6.60	3.72	6.20	0.13	5
	P-CSB- I -φ0.45	10.98	5.94	8.04	0.18	5

P-CSB- I -φ0.45

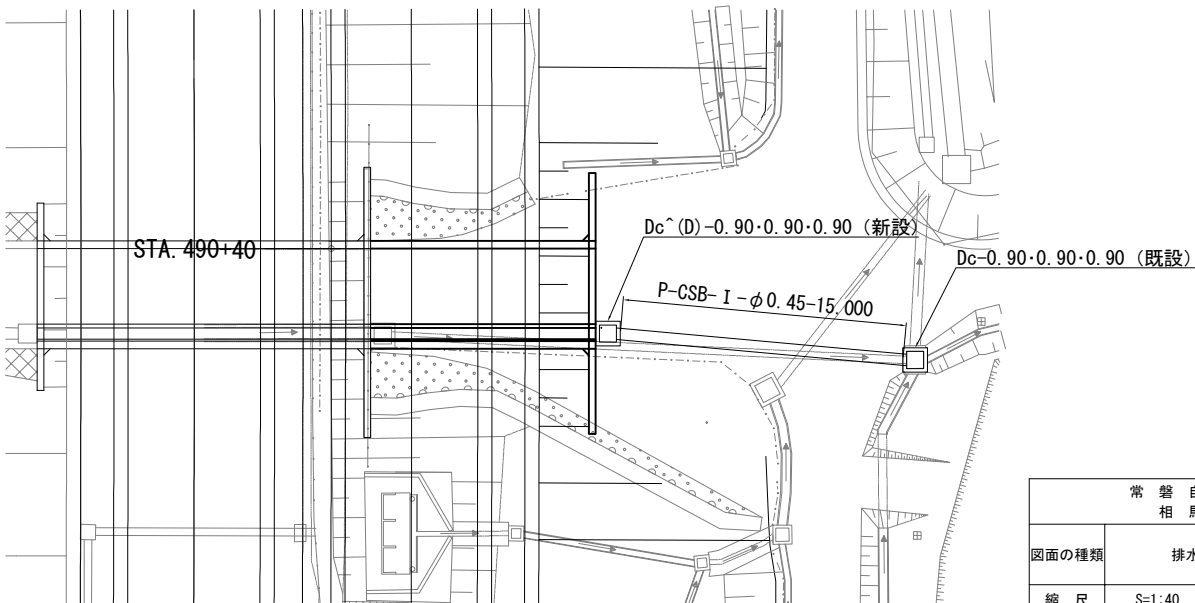


C-Bx内水路蓋
PCV(3)・0.60



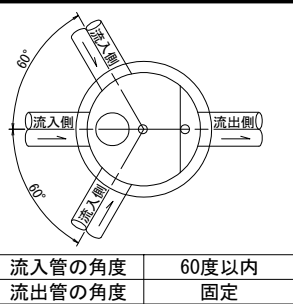
数量表	m	摘要
PCV(3)・0.60	11.9	

平面図

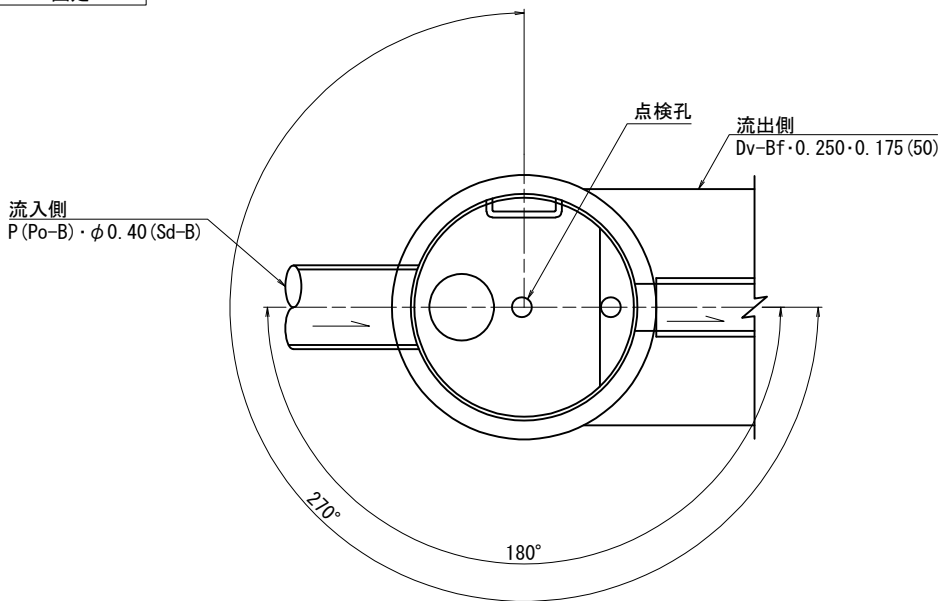


常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	排水構造物工詳細図(9)		
縮尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

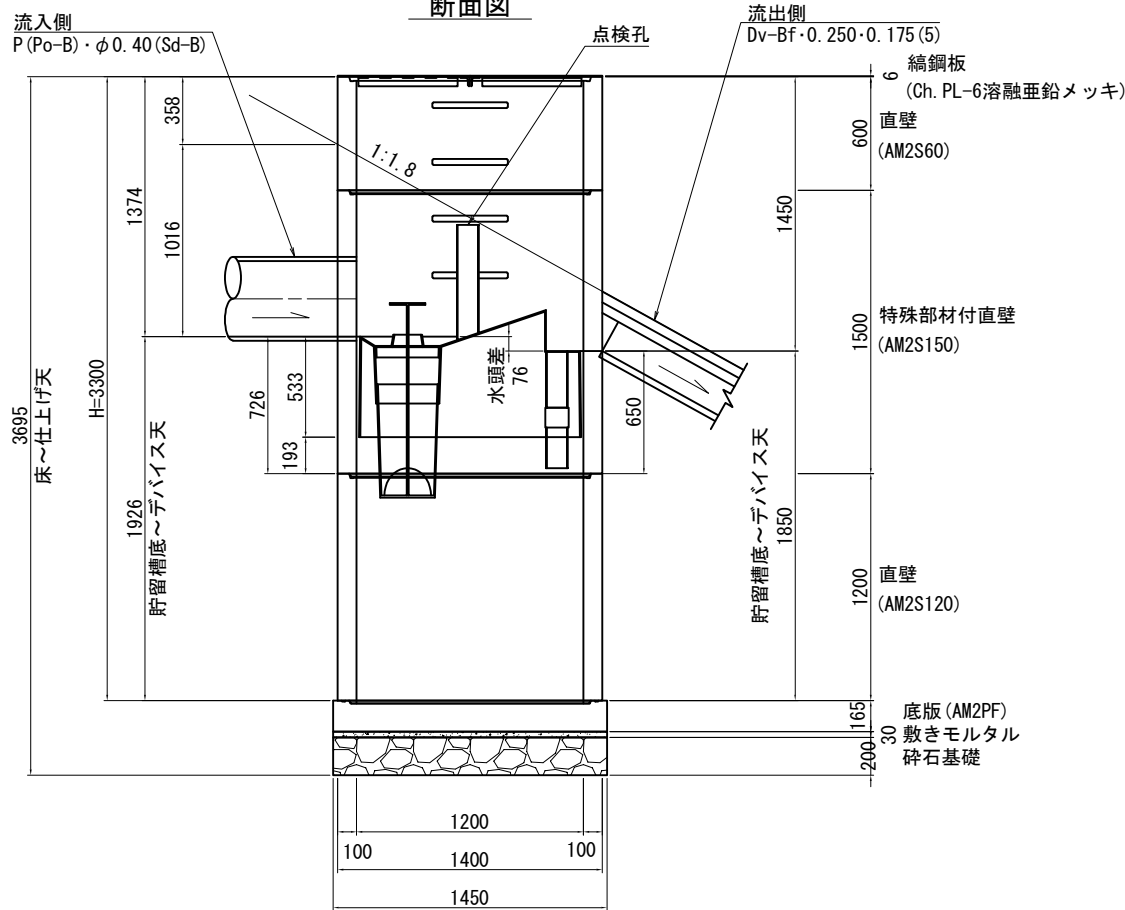
油水分離ます詳細図(1) S=1:40
油水分離ますTypeA



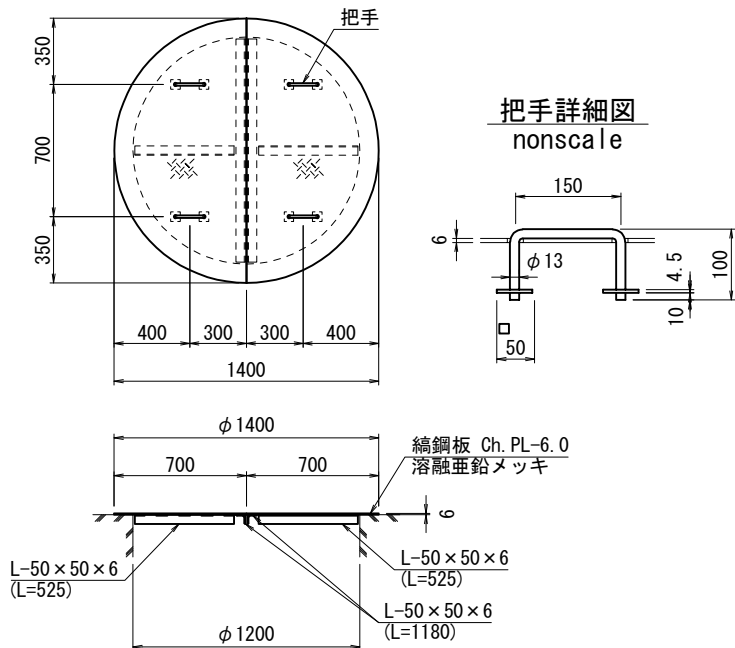
平面図



断面図



蓋部詳細図



数量表

1箇所当り

名称	種別	規格・寸法	単位	数量	参考重量 (kg)	備考
構造物掘削	普通部	機械掘削	m ²	50. 59		
埋戻し			m ³	46. 01		
蓋	縞鋼板	φ 1200用, t=6	組	1	87. 6	溶融亜鉛メッキ HDZT77
躯体	直壁	φ 1200, h=600	個	1	597	
	特殊部材付直壁	φ 1200, h=1500	個	1	1551	FRP製デバイス付
	直壁	φ 1200, h=1200	個	1	1200	
	底版	φ 1450, h=165	個	1	621	
	穿孔	P (Po-B) ・ φ 0. 40 (Sd-B) Dv-Bf・0. 250・0. 175 (50) 用	箇所 箇所	1 1		
敷モルタル		1 : 3	m ³	0. 05		
基礎材		RC-40 t=200mm	m ³	0. 33		

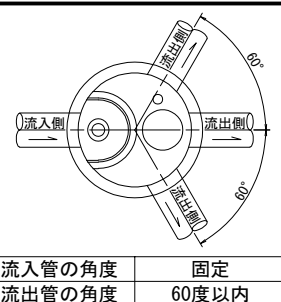
処理能力		貯留槽			
処理流量 *1 (m3/s)	対象流域 *2 (m2)	マンホールサイズ (mm)	貯留槽最小深さ*3 (mm)	貯油量 (m3)	全貯留量*4 (m3)
0. 008	3200	φ 1200	1850	0. 600	1. 940

- *1 貯留槽内で処理できる最大値であり、この値を超えるとデバイスをオーバーフローする
*2 降雨強度10mm/hr、流出係数0. 9の場合の対象流域
*3 流出側の「貯留槽底～デバイス天」の最小値
*4 「貯留槽最小深さ」のときの貯留槽容量

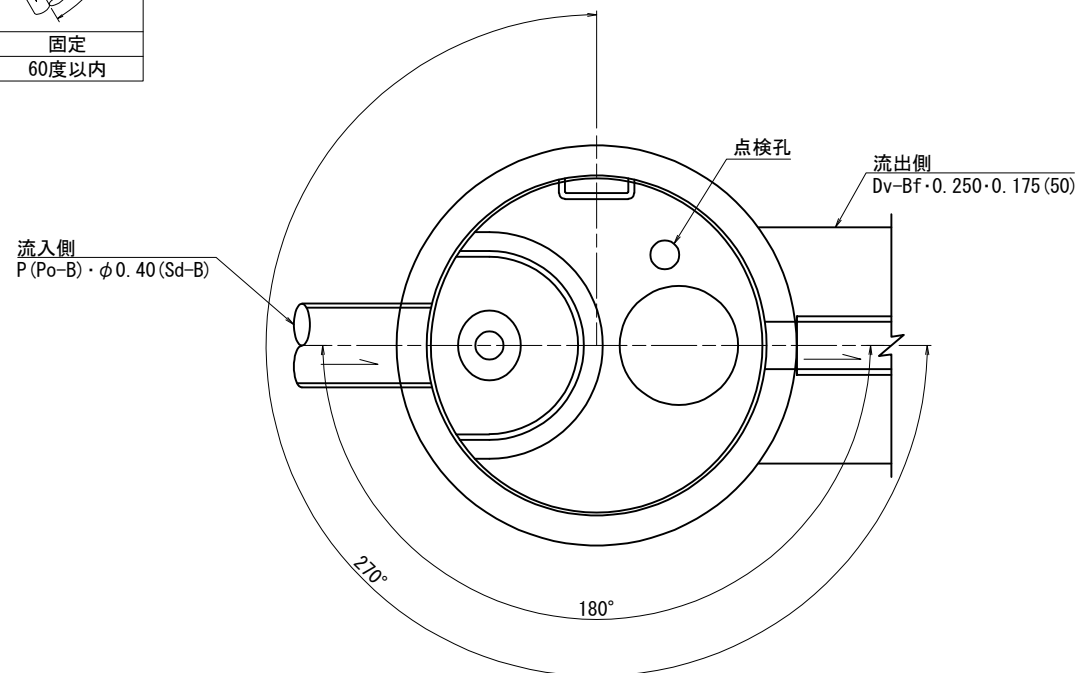
常盤自動車道 相馬工事	
図面の種類	油水分離ます詳細図(1)
縮尺	S=1:40 図面番号 /
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務所

油水分離ます詳細図(2) S=1:40

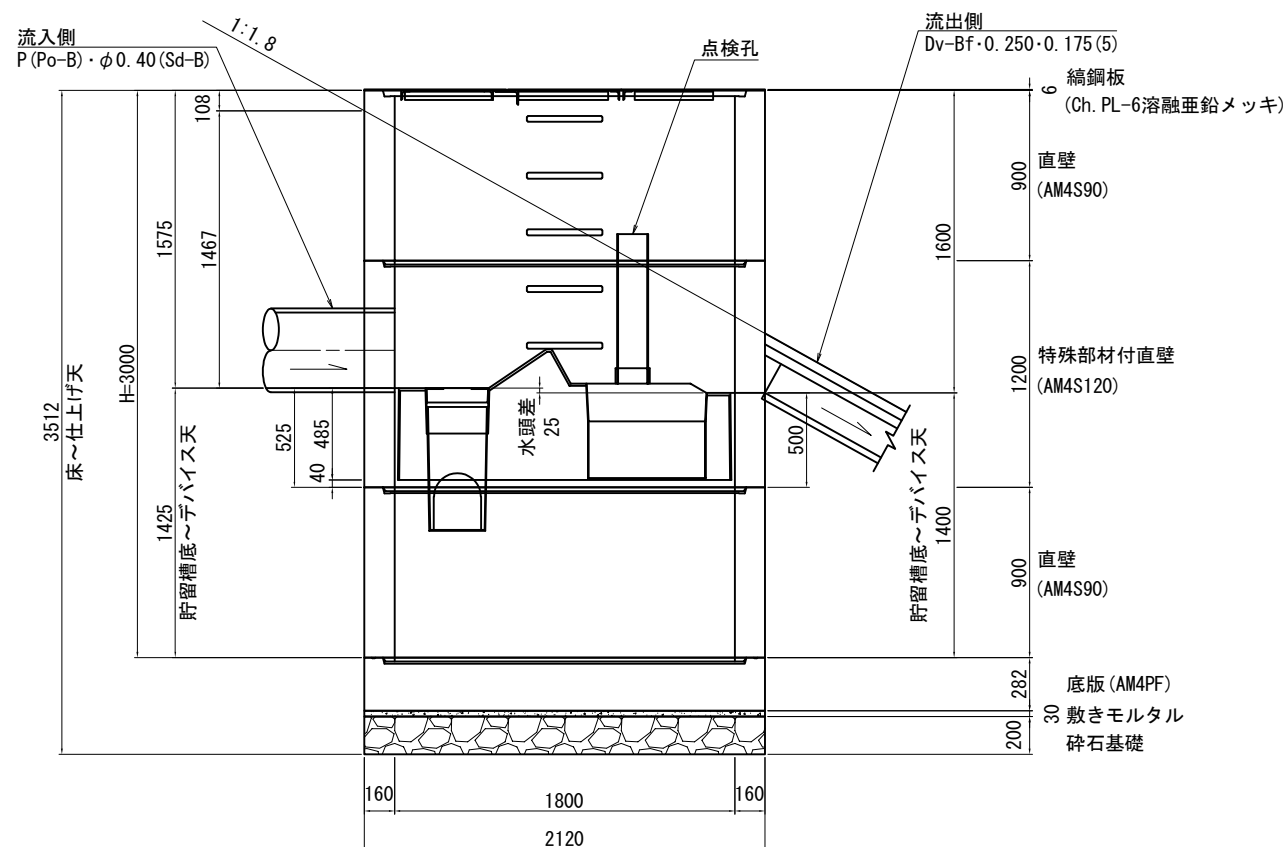
油水分離ますTypeB1



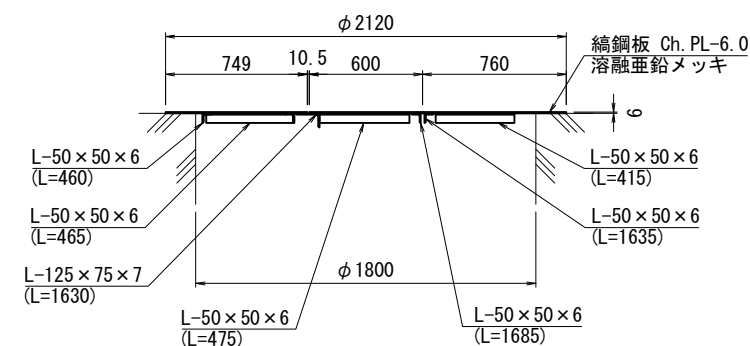
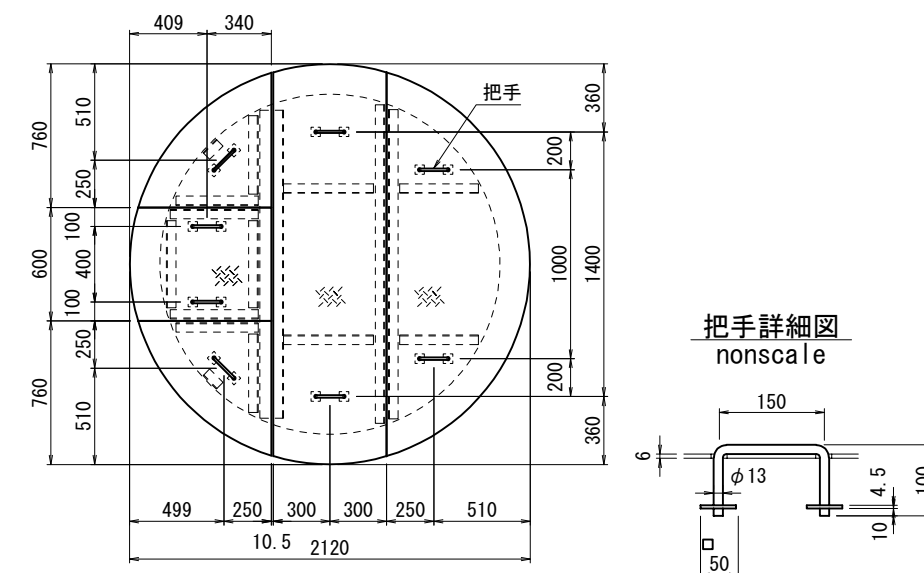
平面图



断面図



蓋部 (TypeB1、TypeB2、TypeC1用) 詳細図



把手詳細図
nonscale

数量表

名称	種別	規格・寸法	単位	数量	参考重量(kg)	備考
構造物掘削	普通部	機械掘削	m ³	67.27		
埋戻し			m ³	57.33		
蓋	縞鋼板	φ1800用, t=6	組	1	222.7	溶融亜鉛メッキ HDZT7
躯体	直壁	φ1800, h=900	個	1	2160	
	特殊部材付直壁	φ1800, h=1200	個	1	2990	FRP製デバイス付
	直壁	φ1800, h=900	個	1	2160	
	底版	φ2120, h=282	個	1	2210	
	穿孔	P(Po-B)・φ0.40(Sd-B)用	箇所	1		
		Dv-Bf・0.250・0.175(50)用	箇所	1		
敷きモルタル		1 : 3	m ³	0.11		
基礎材		RC-40 t=200mm	m ³	0.71		

1 箇所当り

処理能力		貯留槽			
処理流量 ^{*1} (m3/s)	対象流域 ^{*2} (m2)	マンホールサイズ (mm)	貯留槽最小深さ ^{*3} (mm)	貯油量 (m3)	全貯留量 [*] (m3)
0.018	7200	φ1800	1400	0.920	3.180

*1 貯留槽内で処理できる最大値であり、この値を超えるとデバイスをオーバーフローする

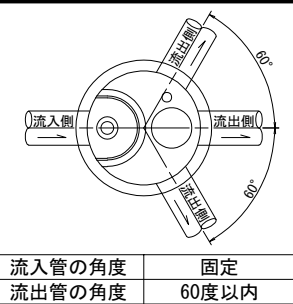
*2 降雨強度10mm/hr、流出係数0.9の場合の対象流域

*3 流出側の「貯留槽底～デバイス天」の最小値

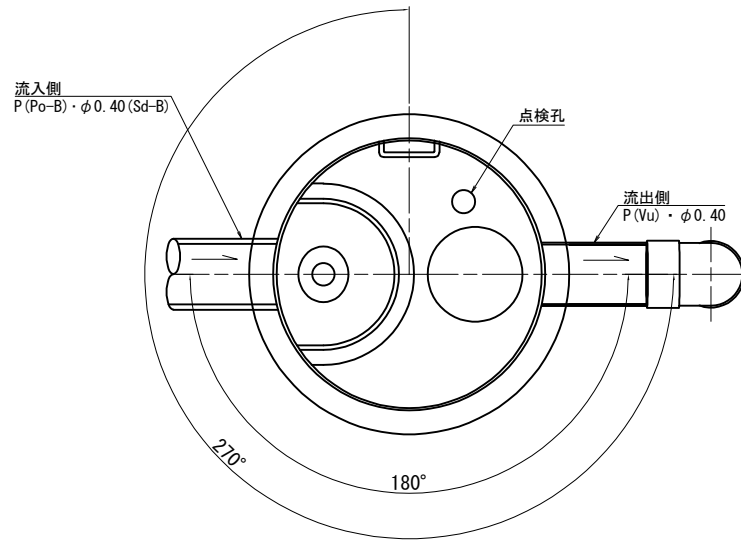
*4 「貯留槽最小深さ」のときの貯留槽容量

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(2)		
縮尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンタ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

油水分離ます詳細図(3)
油水分離ますTypeB2

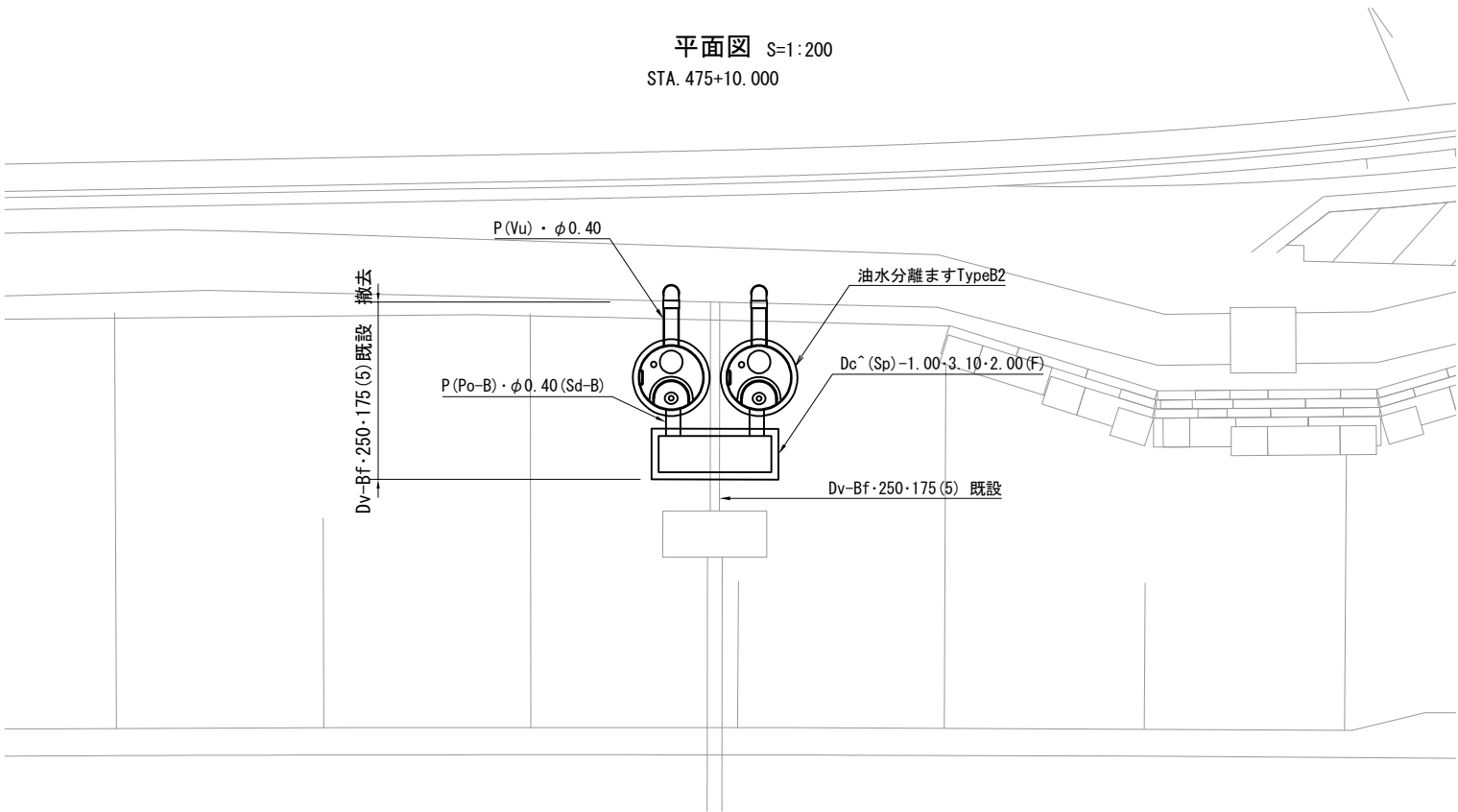


平面図 S=1:50

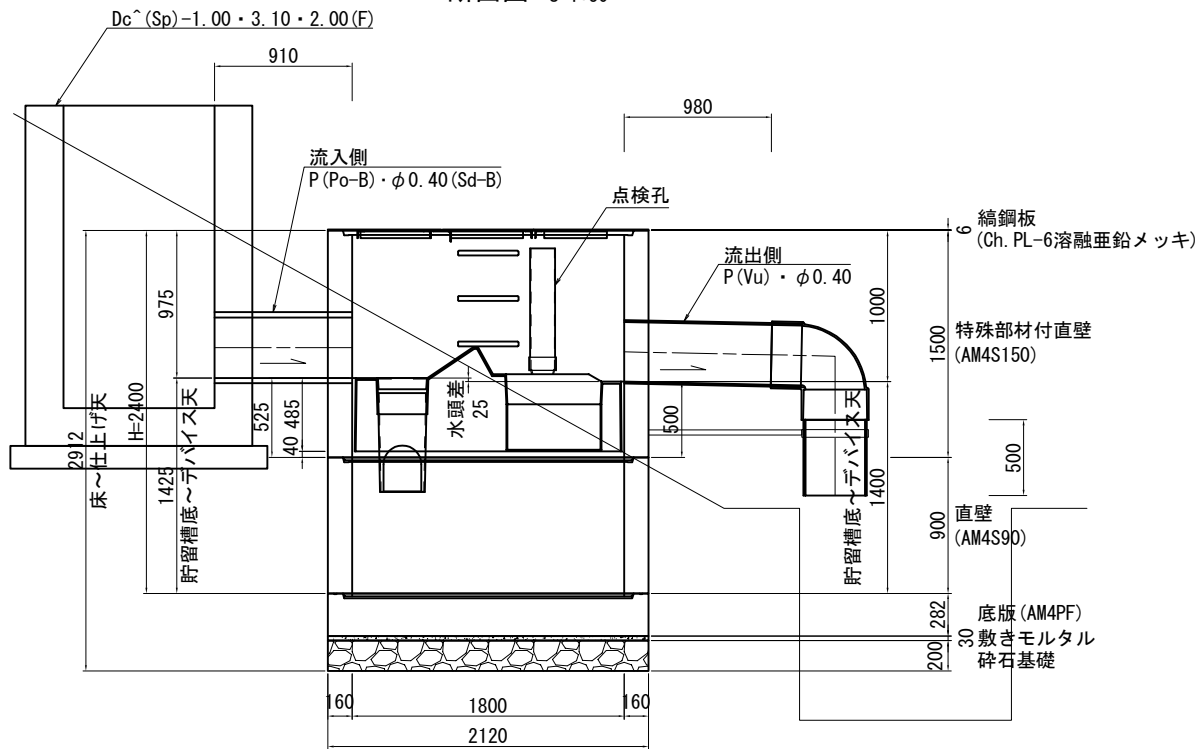


平面図 S=1:200

STA. 475+10. 000



断面図 S=1:50



数量表

1箇所当り

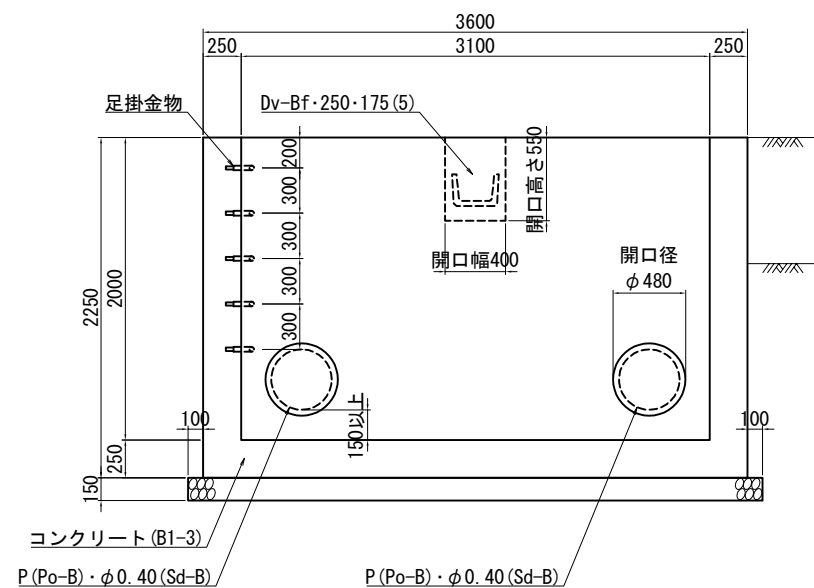
名称	種別	規格・寸法	単位	数量	参考重量 (kg)	備考
構造物掘削	普通部	機械掘削	m ³	34. 22		
埋戻し			m ³	20. 44		
排水管		P (Po-B) ・ φ 0. 40 (Sd-B)	m	1. 82		
		P (Vu) ・ φ 0. 40	m	3. 74		
		P (Vu) ・ φ 0. 40 エルブ継手90°	個	2		
蓋	縞鋼板	φ 1800用, t=6	組	2	222. 7	溶融亜鉛メッキ HDZT77
躯体	特殊部材付直壁	φ 1800, h=1500	個	2	3710	FRP製デバイス付
	直壁	φ 1800, h=900	個	2	2160	
	底版	φ 2120, h=282	個	2	2210	
		P (Po-B) ・ φ 0. 40 (Sd-B) 用	箇所	2		
		P (Vu) ・ φ 0. 40 用	箇所	2		
敷きモルタル		1 : 3	m ²	0. 21		
基礎材	基礎砕石	RC-40, t=200mm	m ²	1. 41		

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

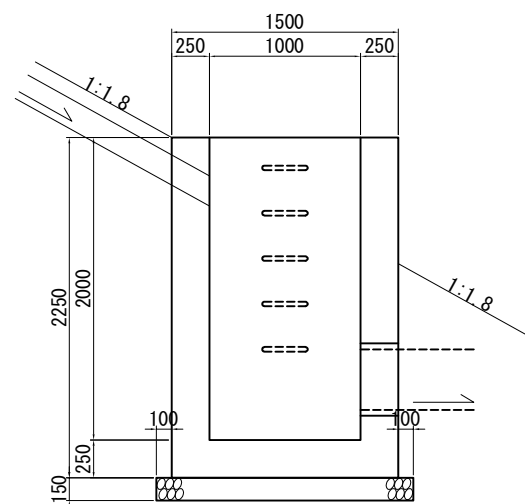
油水分離ます詳細図(4)
Dc[^](Sp)-1.00・3.10・2.00(F) (接続ます)

$$Dc^{\wedge}(Sp) - 1.00 \cdot 3.10 \cdot 2.00 (F)$$

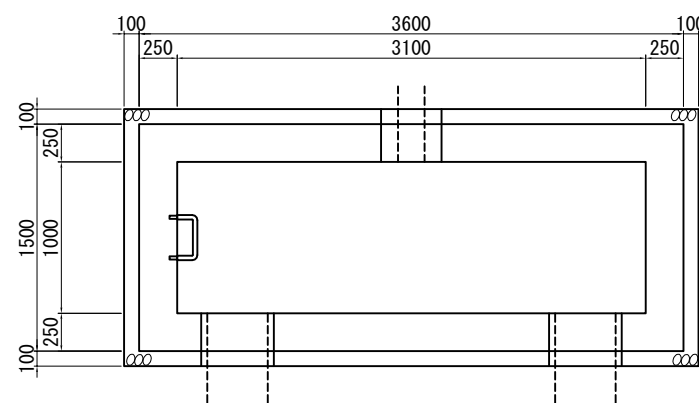
正面图 S=1:50



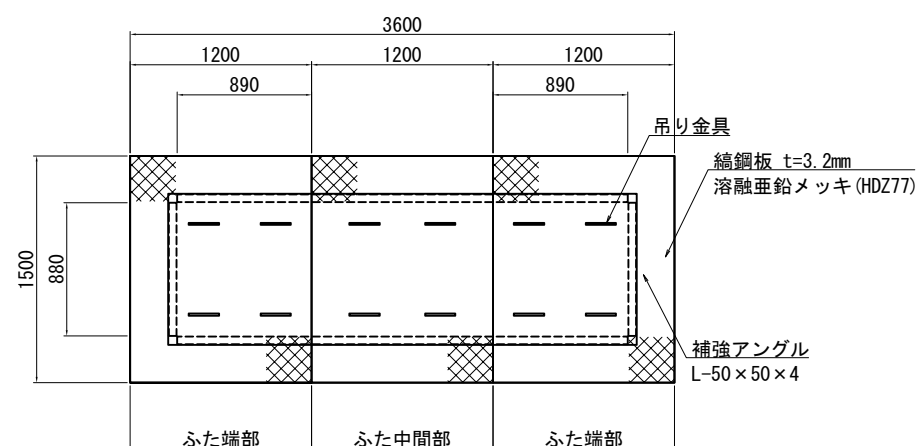
側面図 S=1:50



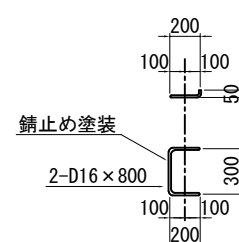
平面图 S=1:50



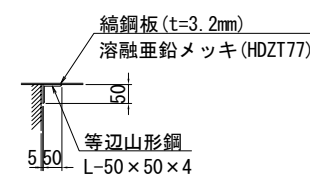
縞鋼板ふた詳細図 S=1:50



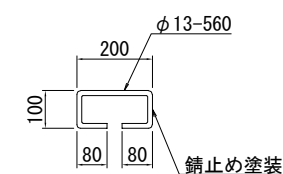
足掛金物 S=1:50



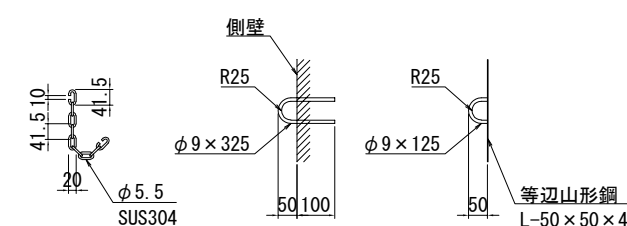
コーナー補強アングル S=1:20



吊り金具 S=1:20



くさり詳細図 S=1:20



数 量 表 (縞鋼板ふた 1.50×1.20 端部)				1枚当り
種 別	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
鉄筋	A, φ13	kg	2.33	
鋼材	縞鋼板	kg	48.28	熔融垂鉛メッキ (HDZT77)
	等辺山形鋼	kg	8.14	

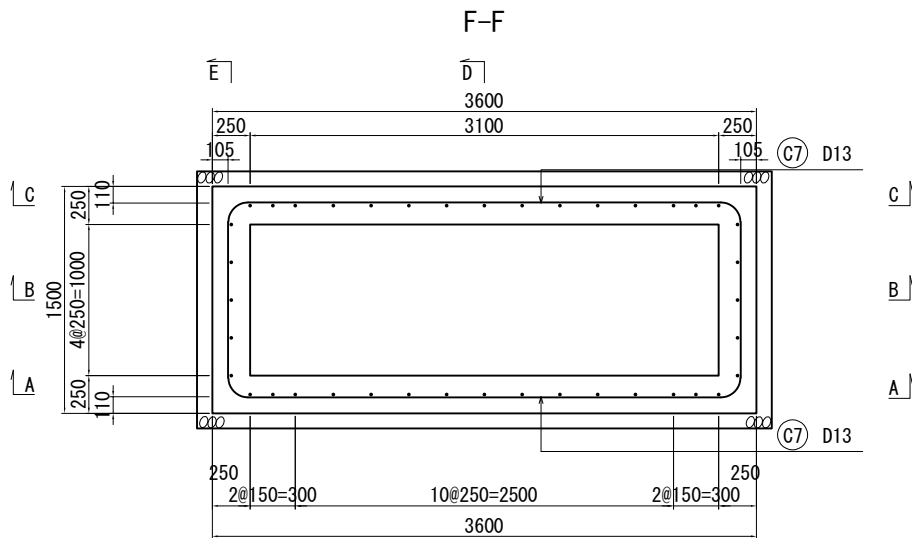
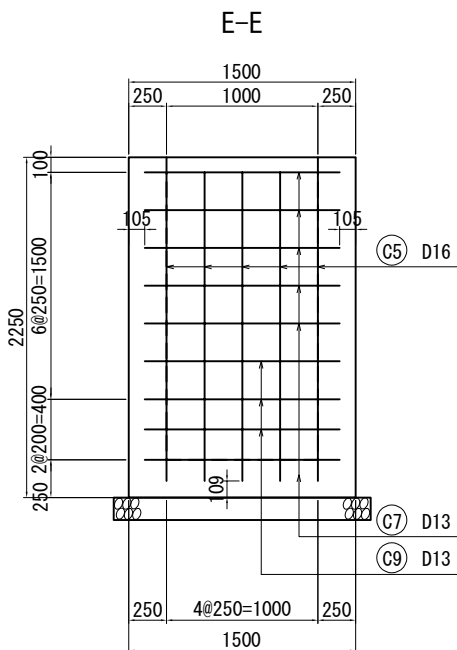
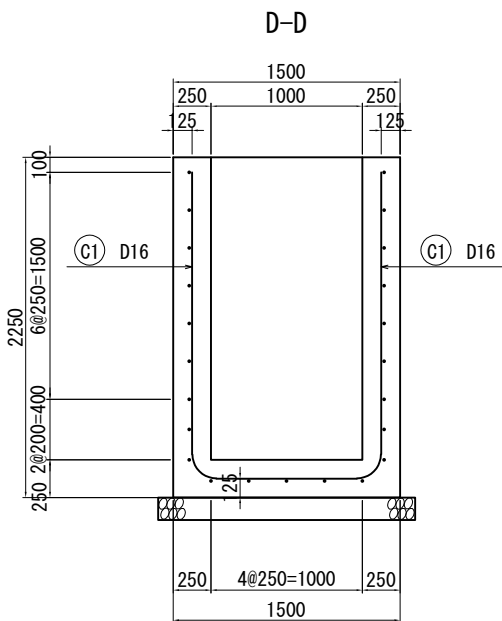
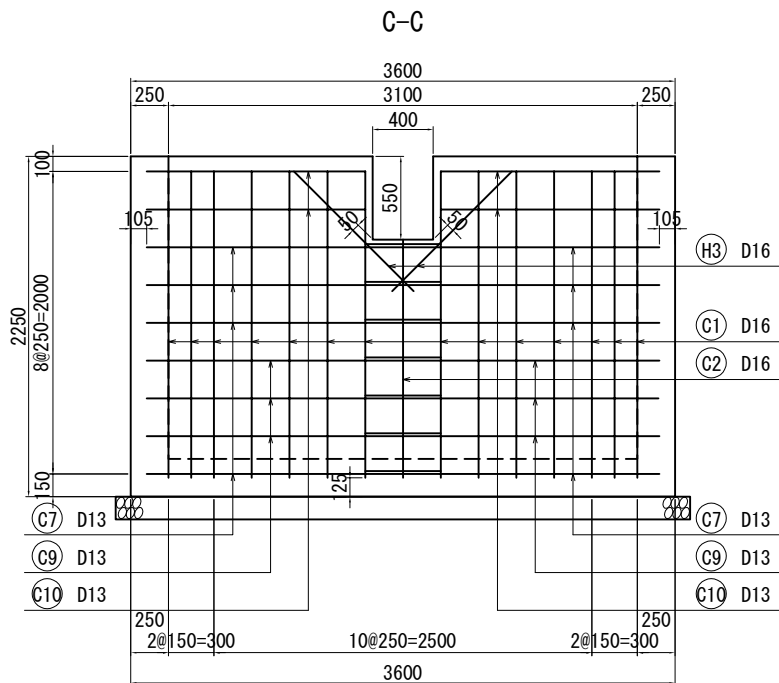
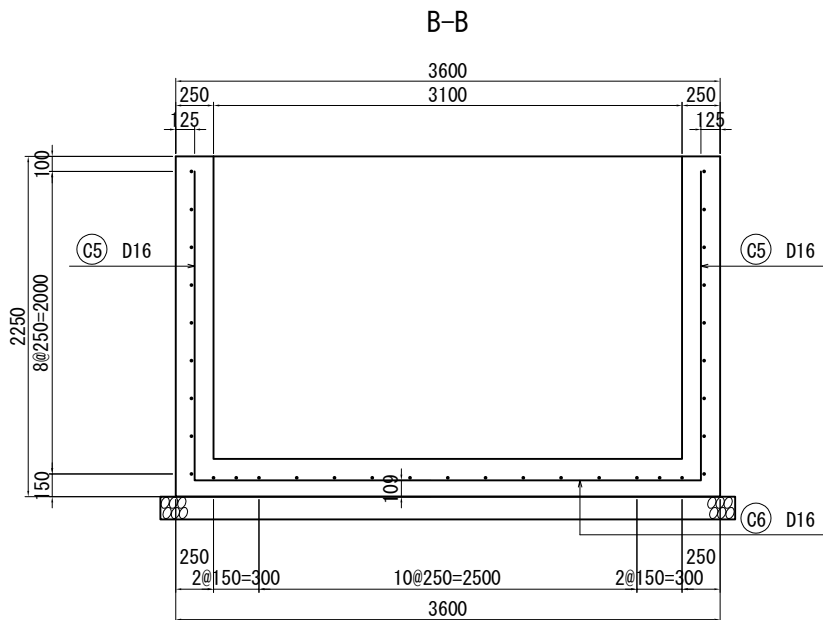
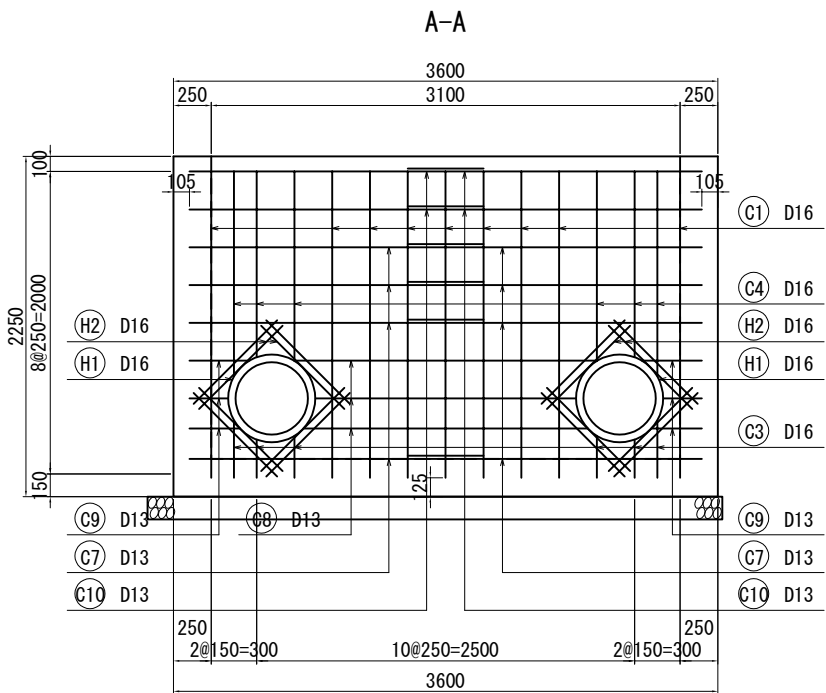
数 量 表 (綯鋼板ふた 1.50×1.20 中間部)				1枚当り
種 別	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
鉄筋	A, φ13	kg	2.33	
鋼材	綯鋼板	kg	48.28	溶融亜鉛メッキ (HDZT77)
	等辺山形鋼	kg	7.34	

数 量 表 (集水ます)										1箇所当り
種 別	項 目	構造物掘削	埋戻し	コンクリート	型枠	鉄筋A		ふた	基礎碎石	摘要
	普通部		B1-3	D	D13	D16	編鋼板	RC-40		
	m ³	m ³	m ³	m ²	kg	kg	枚	m ³		
Dc ⁺ (Sp)-1.00-3.10-2.00(F)		63.03	52.60	5.53	36.02	85	212	3	0.97	ふた (1.50×1.20)

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	油水分離ます詳細図 (4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

油水分離ます詳細図(5) S=1:50
Dc^(Sp)-1.00・3.10・2.00(F)

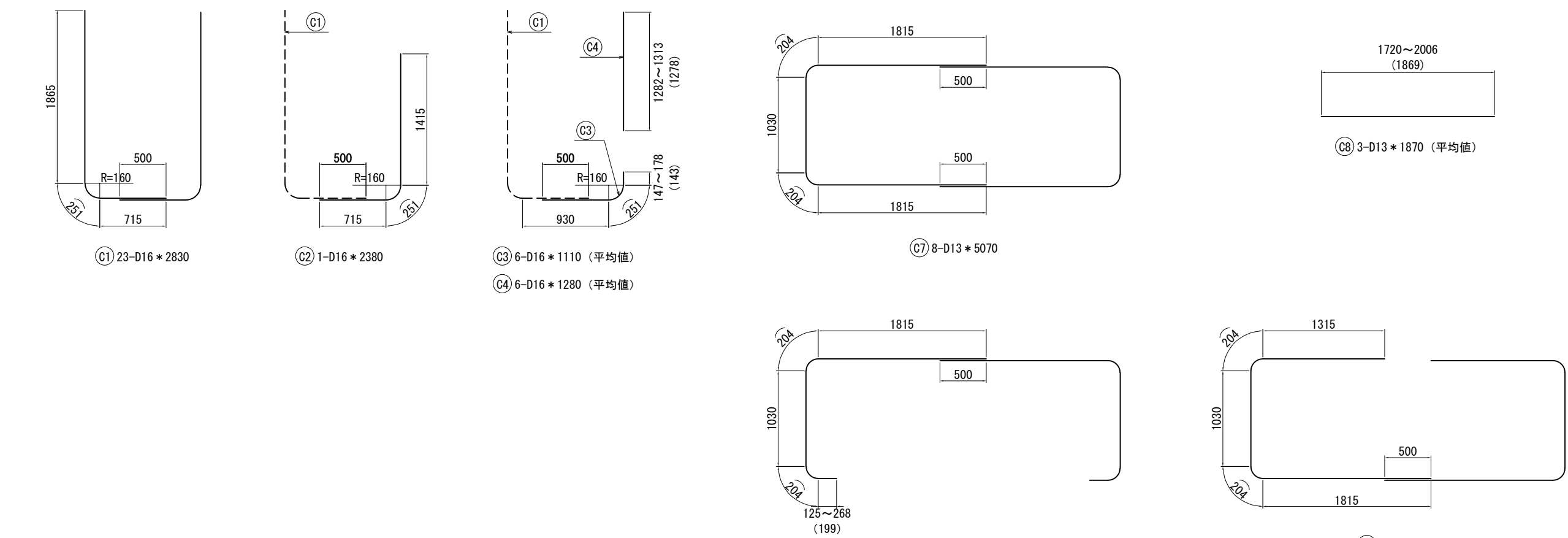
Dc^(Sp)-1.00・3.10・2.00(F) 配筋図



常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(5)		
縮尺	S=1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

油水分離ます詳細図(6) S=1:50
Dc^(Sp)-1.00・3.10・2.00(F)

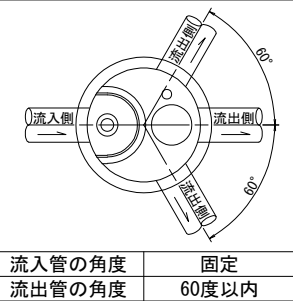
Dc^(Sp)-1.00・3.10・2.00(F) 鉄筋加工図



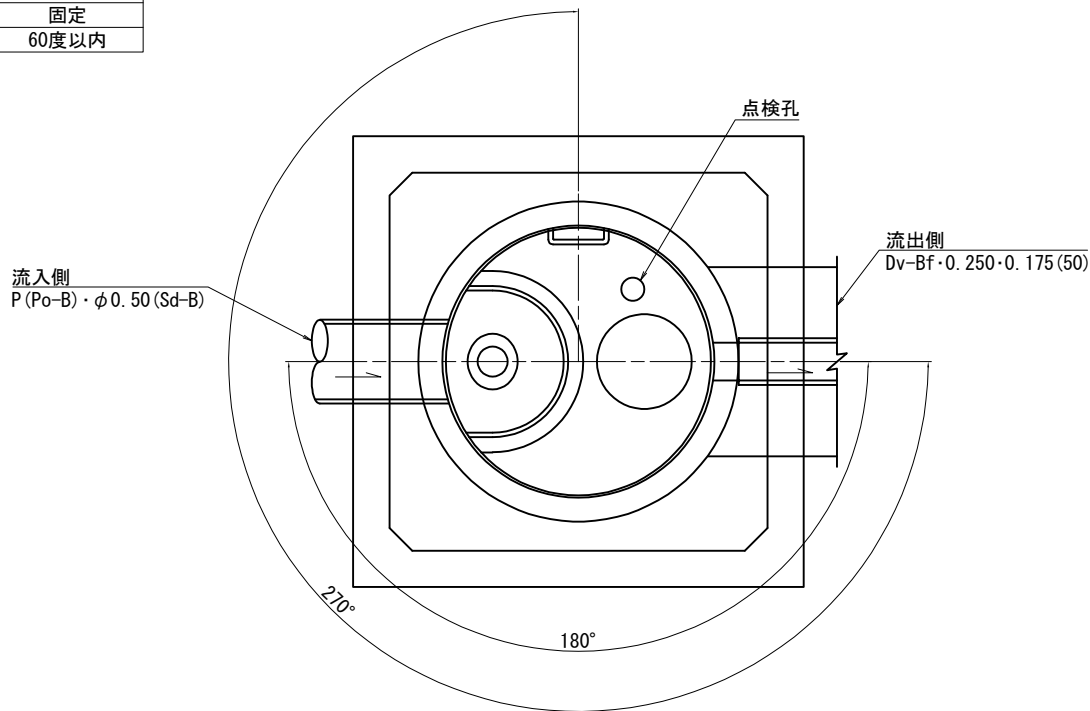
鉄 筋 表			1箇所当り							
種 別	項 目	記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当たりの質量	質量	摘要	
				mm	本	kg/m	kg/本	kg		
Dc^(Sp)-1.00・3.10・2.00(F) (使用鉄筋：SD345)		C1	D16	2830	23	1.560	4.41	101		
		C2	D16	2380	1	1.560	3.71	4		
		C3	D16	1110	6	1.560	1.73	10		
		C4	D16	1280	6	1.560	2.00	12		
		C5	D16	2040	10	1.560	3.18	32		
		C6	D16	3350	5	1.560	5.23	26		
		C7	D13	5070	8	0.995	5.04	40		
		C8	D13	1870	3	0.995	1.86	6		
		C9	D13	3450	6	0.995	3.43	21		
		C10	D13	4570	4	0.995	4.55	18		
		H1	D16	2320	2	1.560	3.62	7		
		H2	D16	780	8	1.560	1.22	10		
		H3	D16	1120	2	1.560	1.75	4		
		W1	D16	800	5	1.560	1.25	6	足掛金物	
		合計 D13							85 kg	
		合計 D16							212 kg	
		合計 鉄筋A							297 kg	

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(6)		
縮尺	S=1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

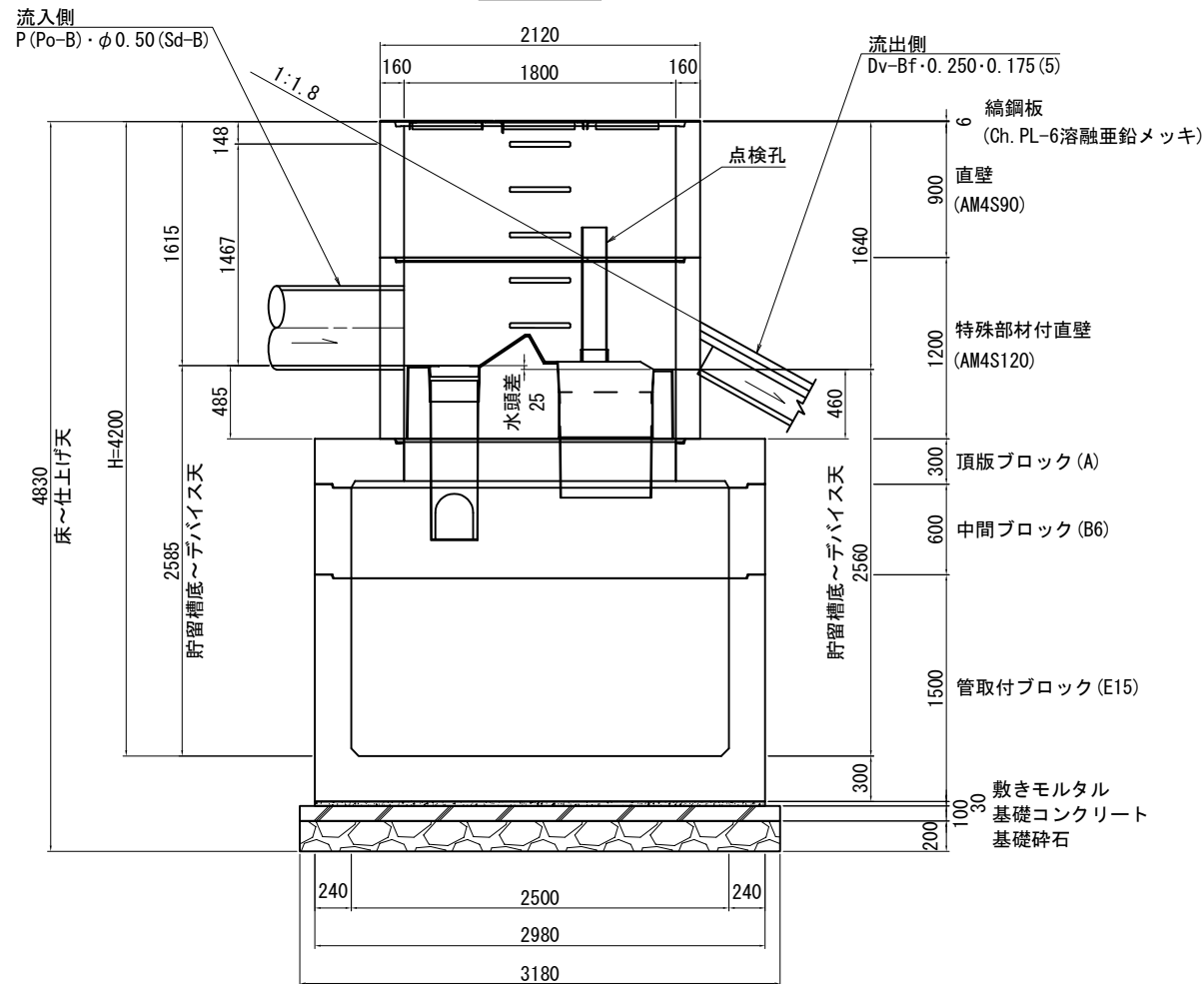
油水分離ます詳細図(7) S=1:50
油水分離ますTypeC1



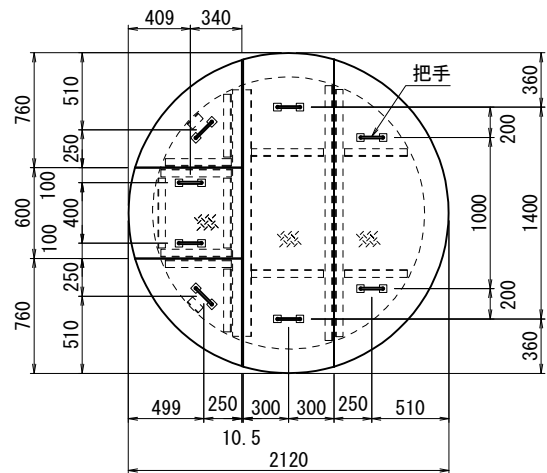
平面図



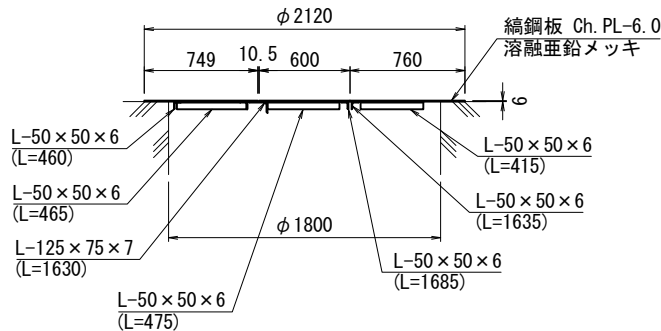
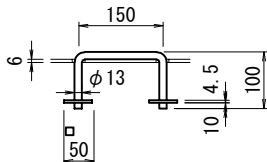
断面図



蓋部詳細図



把手詳細図
nonscale



数量表

1箇所当り					
名称	種別	規格・寸法	単位	数量	参考重量(kg)
構造物掘削	普通部	機械掘削	m ³	183.92	
埋戻し			m ³	154.50	
蓋	織鋼板	φ1800用, t=6	組	1	222.7
躯体	直壁	φ1800, h=900	個	1	2160
	特殊部材付直壁	φ1800, h=1200	個	1	3720
	頂版ブロック	φ1800/□2500, h=300	個	1	4550
	中間ブロック	□2500, h=600	個	1	3940
	管取付ブロック	□2500, h=1500	個	1	14340
穿孔	P(Po-B)・φ0.50 (Sd-B) 用	Dv-Bf・0.250・0.175 (50) 用	箇所	1	
			箇所	1	
敷きモルタル		1:3	m ³	0.27	
基礎材	基礎コンクリート	D1-1, t=100	m ³	1.01	
	基礎砕石	RC-40, t=200	m ³	2.02	
型わく	D		m ²	1.27	

処理能力		貯留槽			
処理流量*1 (m ³ /s)	対象流域*2 (m ²)	マンホールサイズ (mm)	貯留槽最小深さ*3 (mm)	貯油量 (m ³)	全貯留量*4 (m ³)
0.030	12000	□2500 (φ1800)	2560 (1800 矩形部高)	1.780	11.160

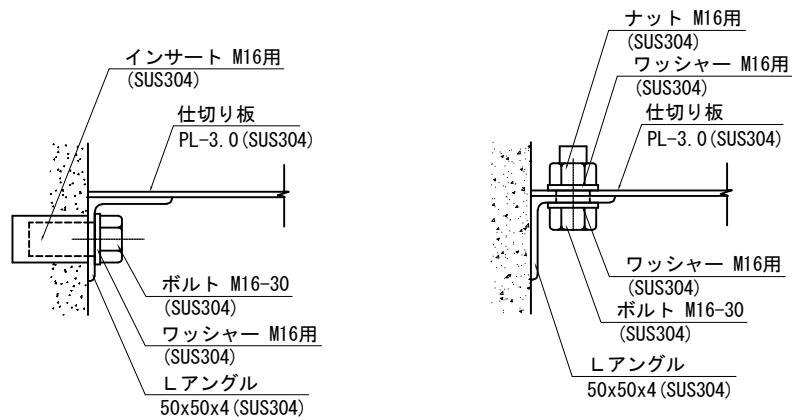
*1 貯留槽内で処理できる最大値であり、この値を超えるとデバイスをオーバーフローする
*2 降雨強度10mm/hr、流出係数0.9の場合の対象流域
*3 流出側の「貯留槽底～デバイス天」の最小値
*4 「貯留槽最小深さ」のときの貯留槽容量

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(7)		
縮尺	S=1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

油水分離ます詳細図(9)
油水分離ますTypeD1

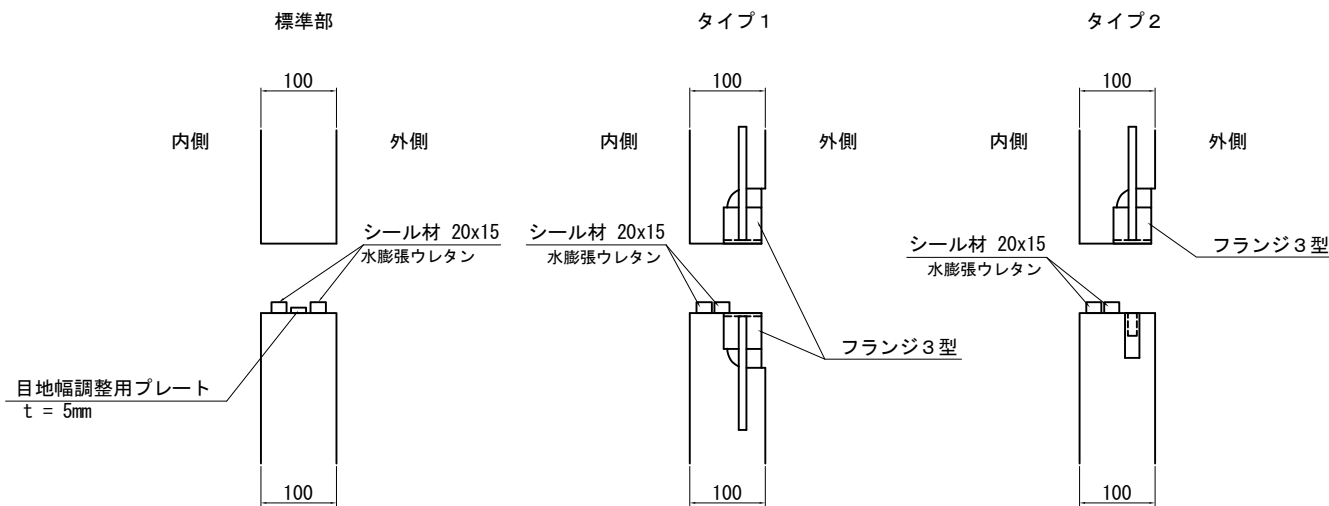
設計条件	
適用場所	法面
許容流入量	0.100m ³ /s超～0.150m ³ /s以下
必要貯油量	0.600m ³ 以上
貯油量	1.068m ³

仕切り板取付詳細図



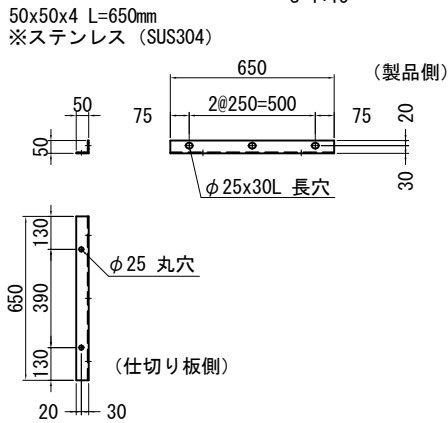
継ぎ手部詳細図

S=1:10



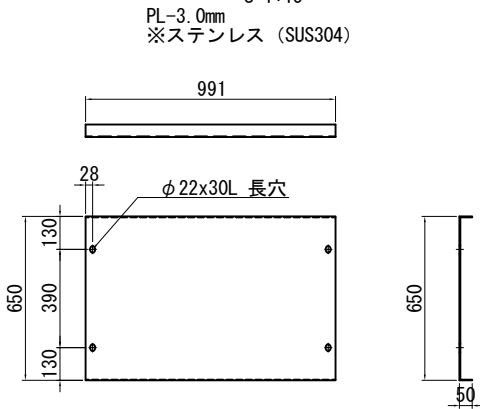
仕切り板固定用Lアングル詳細図

S=1:15



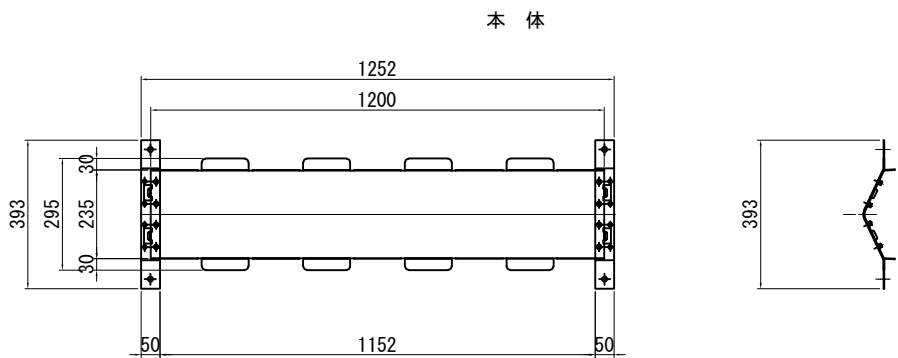
仕切り板詳細図

S=1:15

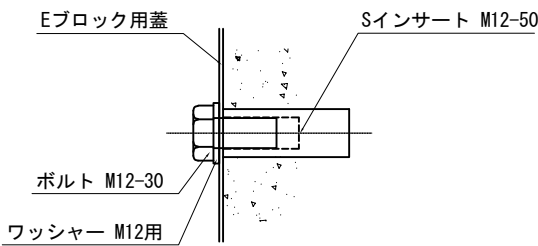


Eブロック用蓋詳細図

S=1:10

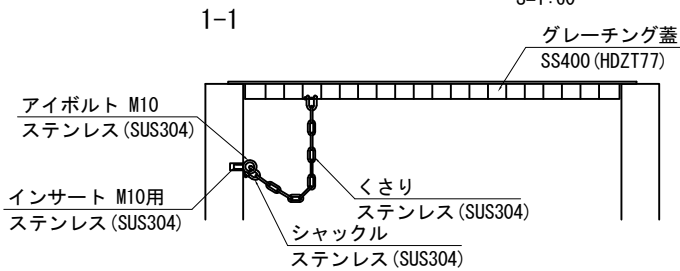


Eブロック用蓋取付詳細図

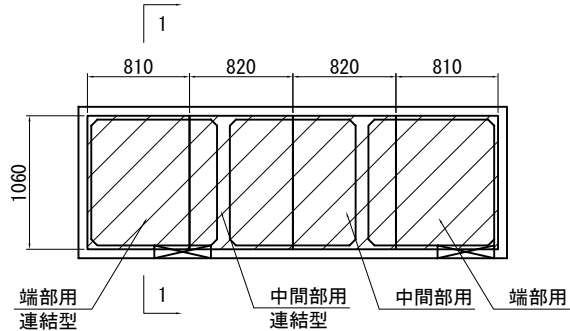


グレーチング蓋 詳細図

S=1:60

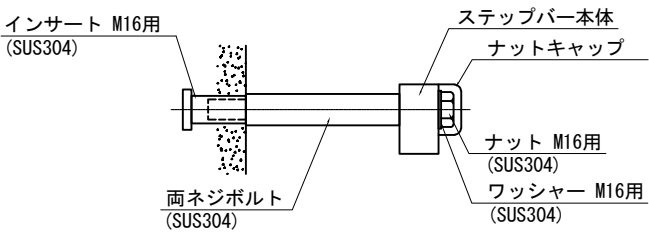


※SUS材とSS材の接触部分は塗装やゴムを用いて接触部分の腐食防止を行うこととする。



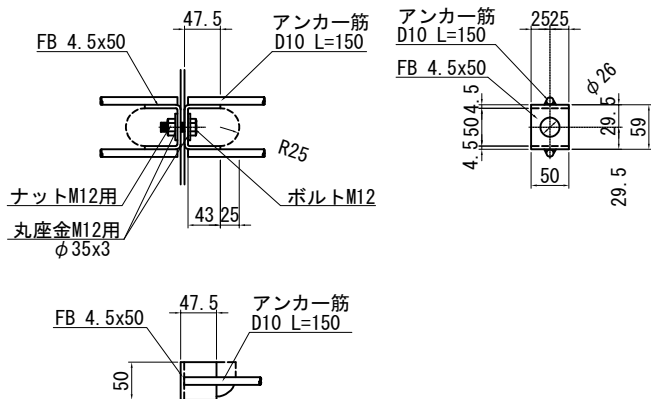
ステップ 取付詳細図

S=1:3



連結用金物詳細図

フランジ3型 (油水分離ます用) S=1:5

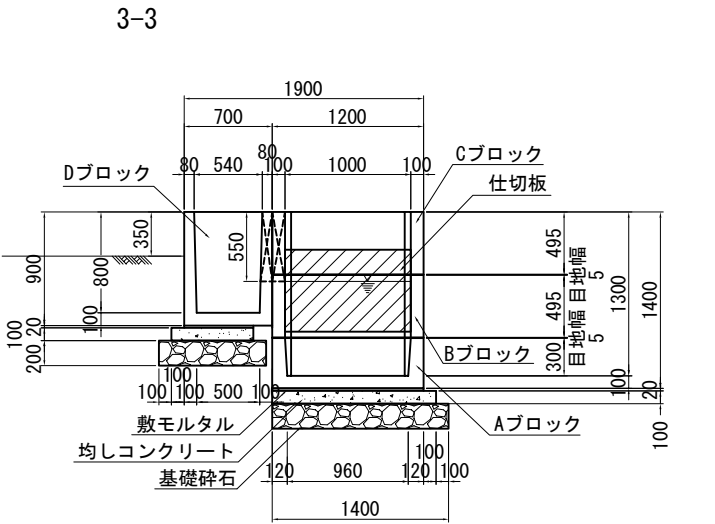
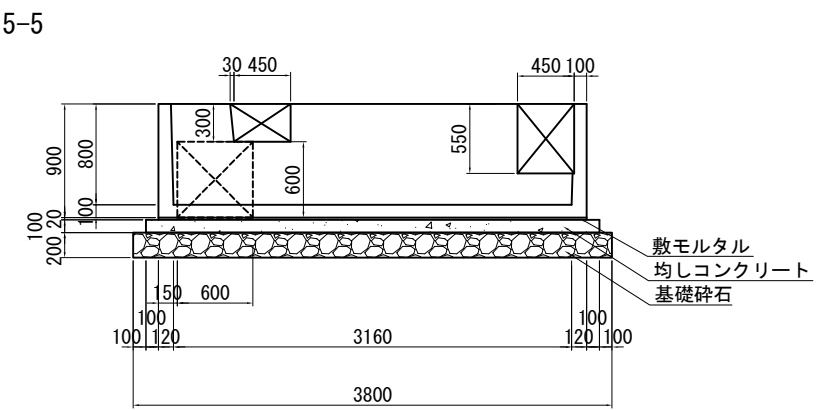
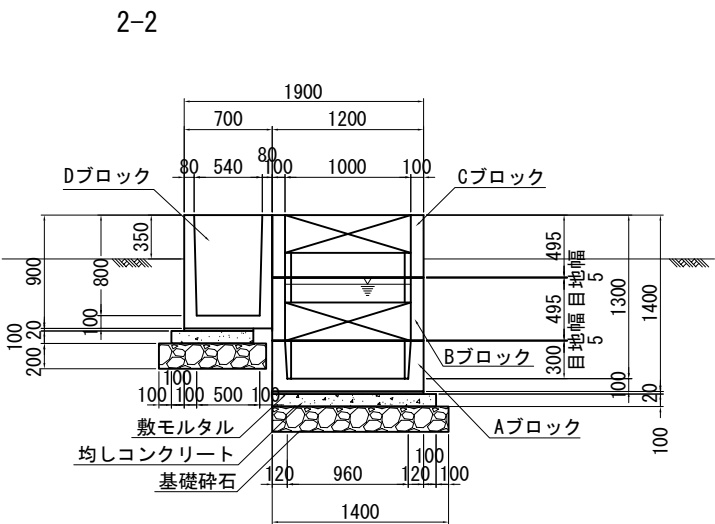
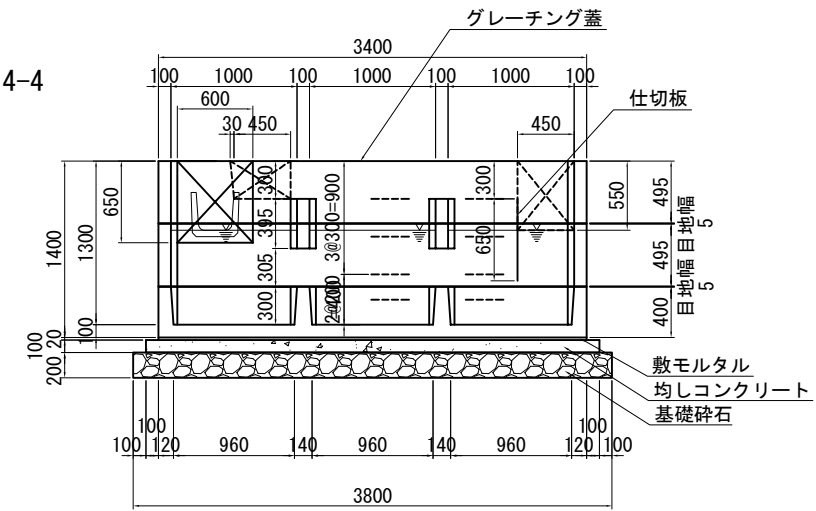
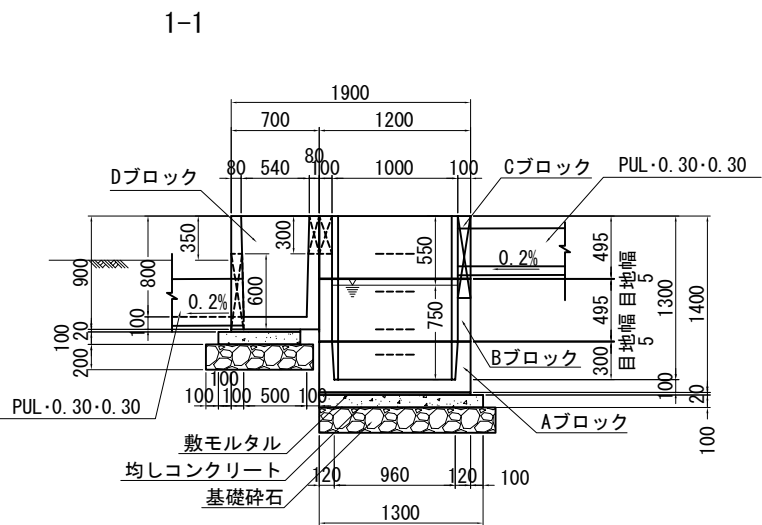
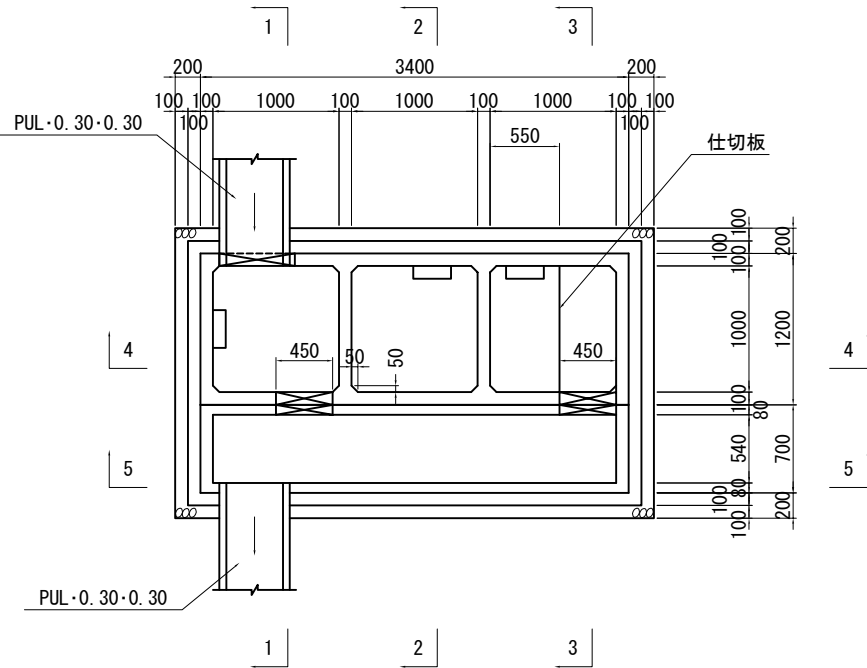


連結金物材料表 1組当たり			
品名	材質	規格・寸法	数量
プレート	SS400	FB 4.5x50x145	2
鉄筋	SD295※	D10 L=150	4
ボルト	SS400	M12x35	1
ナット	SS400	M12用	1
座金	SS400	φ35x3 M12用	2

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(9)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

油水分離ます詳細図(10) S=1:60
油水分離ますTypeD2



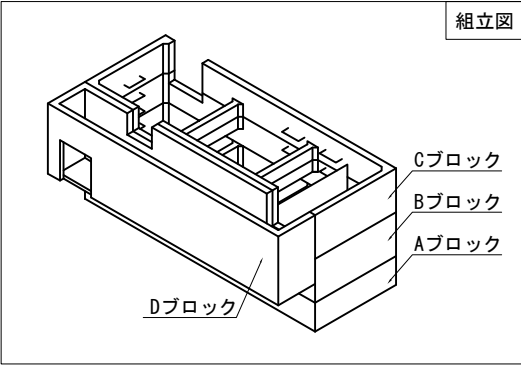
設計条件

適用場所	橋梁下(平地)
許容流入量	0.150m ³ /s以下
必要貯油量	0.600m ³ 以上
貯油量	1.068m ³

数量表

1箇所当り				
種別	細別	規格	単位	数量
ます本体	Aブロック	1200x3400x400	個	1
	Bブロック	1200x3400x495	個	1
	Cブロック	1200x3400x495	個	1
水路部	Dブロック	700x3400x900	個	1
グレーチング蓋	群集荷重用	1000x772x25 (端部用)	枚	2
		1000x815x25 (中間部用)	枚	2
くさり	蓋固定用	φ5 L=1.0m	組	4
仕切り板		SUS 991x3.0x650	枚	1
Lアングル	仕切固定用	SUS 50x50x4x650	本	2
固定ボルト	仕切固定用	SUS M16	本	10
連結ナット	仕切固定用	SUS M16用	本	4
ワッシャー	仕切固定用	SUS M16用	枚	14
連結ボルト	本体連結用	M12	本	20
連結ナット	本体連結用	M12用	本	20
ワッシャー	本体連結用	M12用	枚	40
ステップ	昇降用	幅300	組	12
弾性シーリング材	樹間防水用	1成分形変成シリコーン系弾性シーリング材	l	1.00
構造物掘削	普通部	機械掘削	m ³	16.55
埋戻し			m ³	8.42
均しコンクリート	D1-1		m ³	0.70
敷モルタル	1:3		m ³	0.13
型枠	D		m ²	1.83
基礎砕石	RC-40, t=200		m ³	1.71

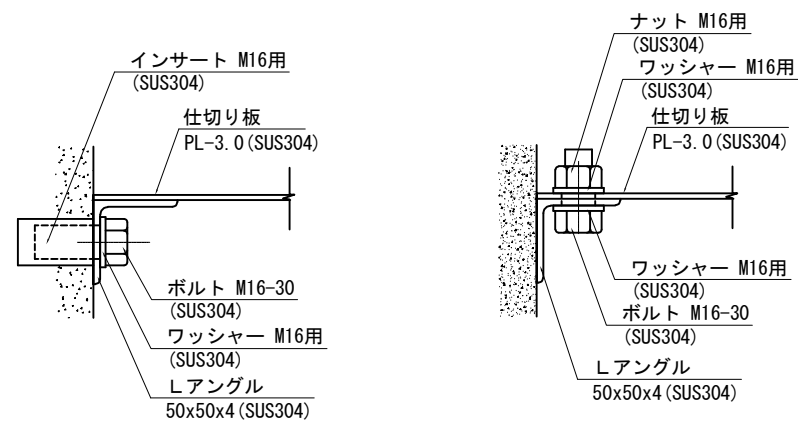
- 注1) * ステンレス製 SUS304
注2) ** SS400 溶融亜鉛めっき(グレーチング蓋: HDZT77、他の鋼材: HDZT49)
注3) 弾性シーリング材を使用する場所には、プライマーを塗布する事。
注4) SUS材とSS材の接触部分は塗装やゴムを用いて接触部分の腐食防止を行う。



常盤自動車道 相馬工事	
図面の種類	油水分離ます詳細図(10)
縮尺	S=1:60 図面番号 /
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所

油水分離ます詳細図 (11)
油水分離ますTypeD2

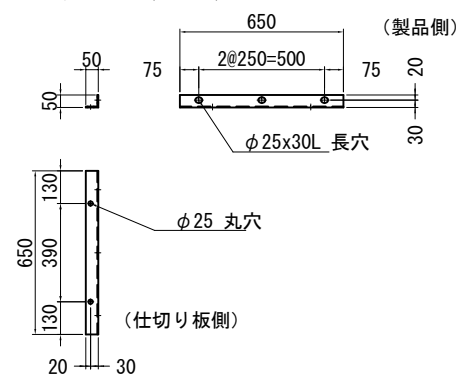
仕切り板取付詳細図



仕切り板固定用Lアングル詳細図

50x50x4 L=650mm
※ステンレス (SUS304)

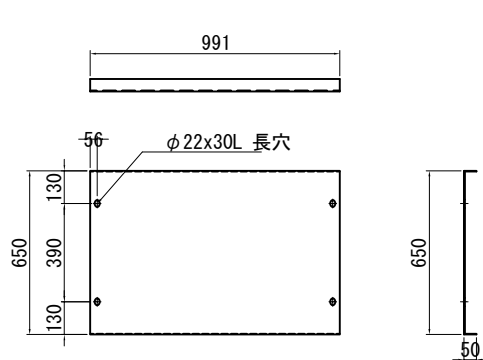
S=1 : 30



仕切り板詳細図

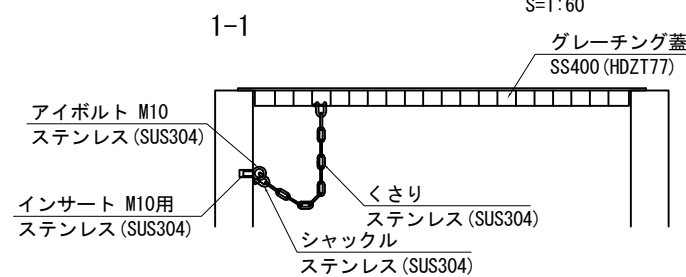
PL-3. 0mm
※ステンレス (SUS304)

S=1:30



グレーチング蓋 詳細図

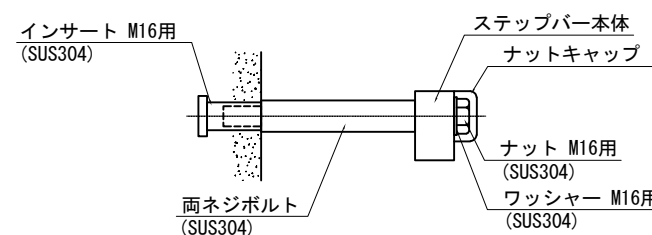
S=1:60



※SUS材とSS材の接触部分は塗装やゴムを用いて接触部分の腐食防止を行うこととする。

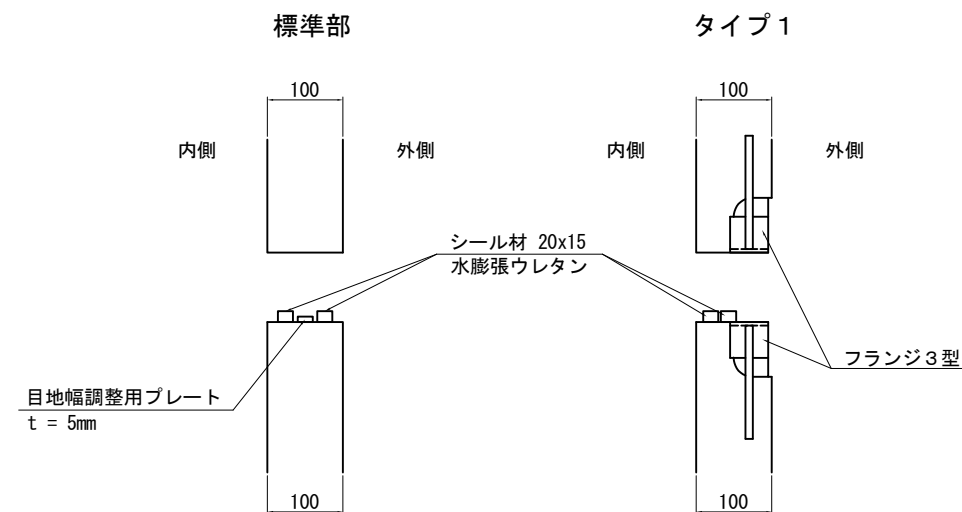
ステップ 取付詳細図

S=1:3



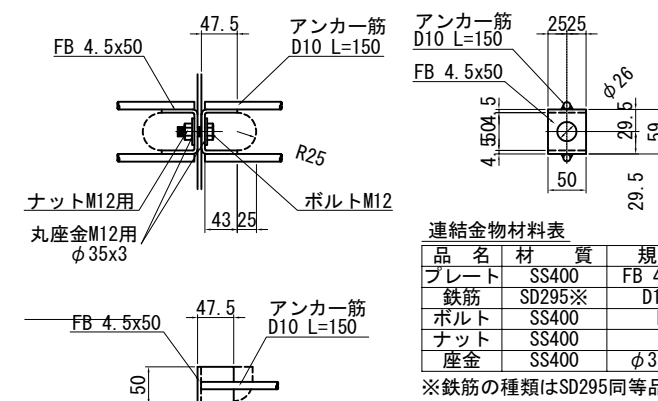
継ぎ手部詳細図

S=1:10



連結用金物詳細図

フランジ3型 (油水分離ます用) S=1:5



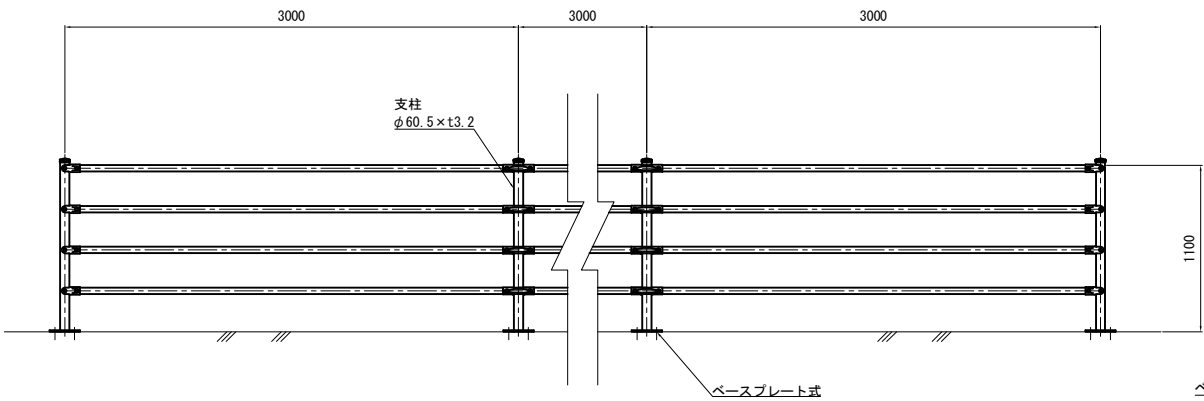
品 名	材 質	規格・寸法	数量
プレート	SS400	FB 4.5x50x145	2
鉄筋	SD295※	D10 L=150	4
ボルト	SS400	M12x35	1
ナット	SS400	M12用	1
座金	SS400	φ35x3 M12用	2

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	油水分離ます詳細図 (11)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンタ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

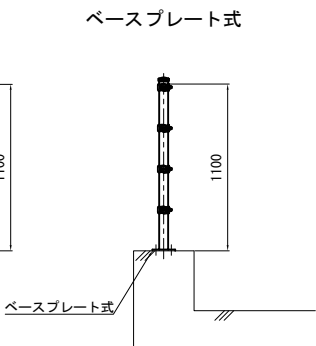
転落防止柵工詳細図(1)
(STA. 462+35. 200)

転落防止柵A
(ウイング天端上)

側面図 S=1:50

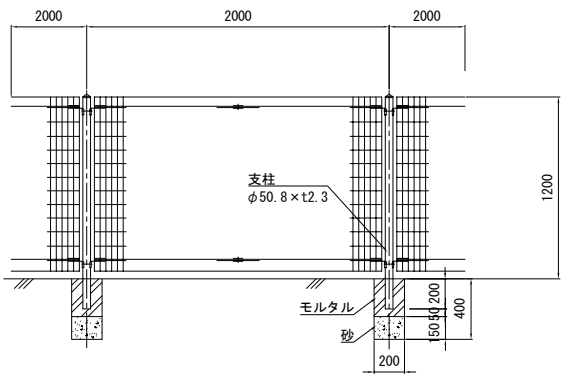


断面図 S=1:50

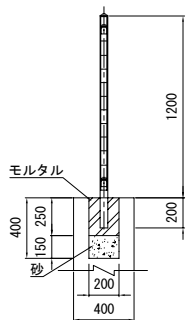


転落防止柵B
(ボックス内水路壁天端上)

側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	6.0	購入材(注1)
転落防止柵A(R)	ガードパイプ	m	12.0	撤去・再設置(注2)

転落防止柵A材料表

項目	細目	単位	数量
支柱	φ60.5×3.2	本	4
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個	4
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個	16
取付ボルト	M12×30	個	16

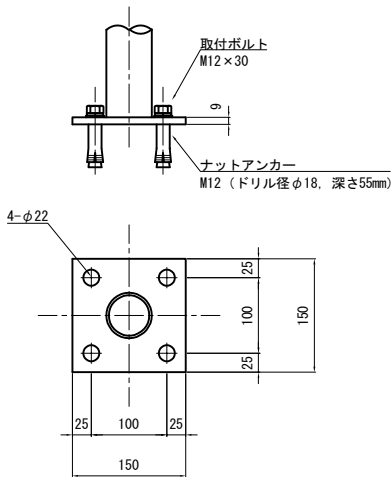
転落防止柵B数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵B(R)	ガードフェンス	m	14.0	撤去・再設置(注2)

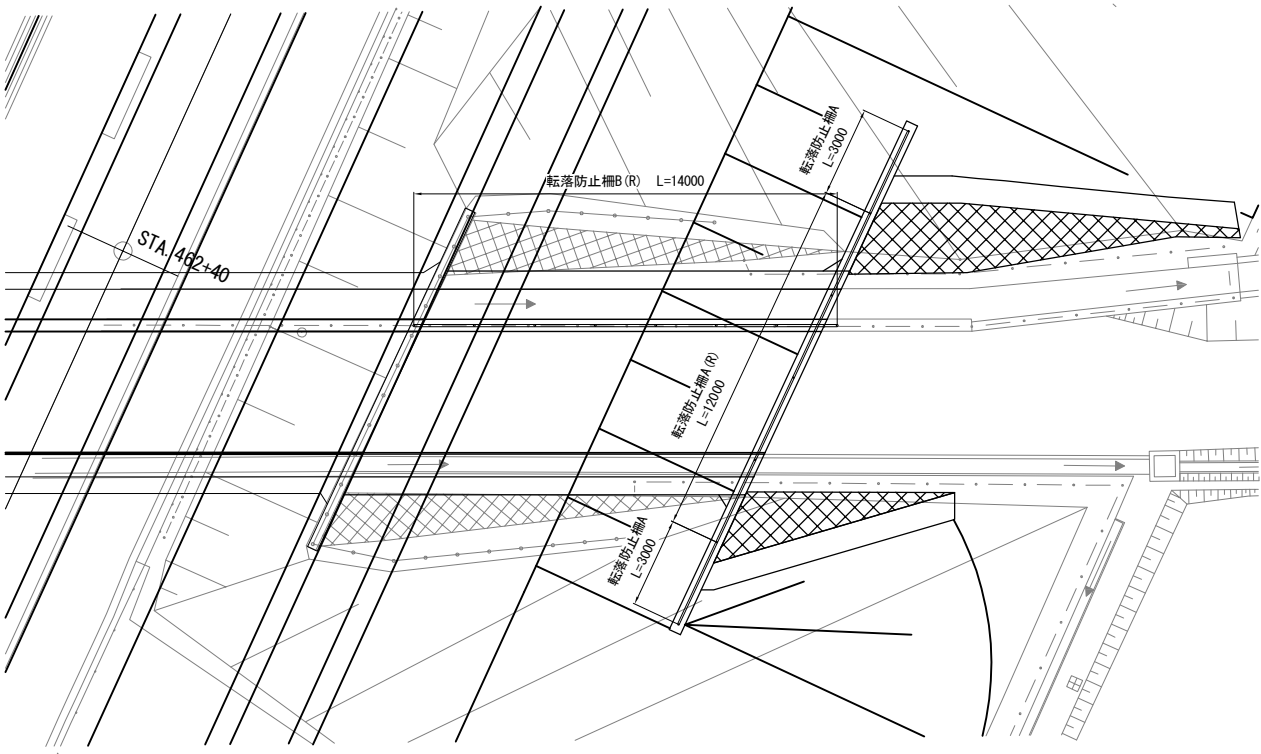
転落防止柵B材料表

項目	細目	単位	数量
モルタル	1:3	m3	0.037
砂		m3	0.024

ベースプレート詳細図 S=1:10



平面位置図



- 注)
1. ビームパイプは既設のものを使用する。
 2. 既設の転落防止柵を撤去し、新設部に再設置するものとする。
なお、(R)は再利用を示す。

常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(1) (STA.462+35.200)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

転落防止柵工詳細図(2)
(STA. 463+55.500)

転落防止柵A

(ウイング天端上)

側面図 S=1:50

断面図 S=1:50

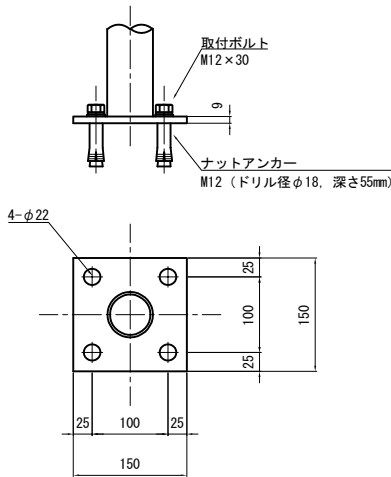
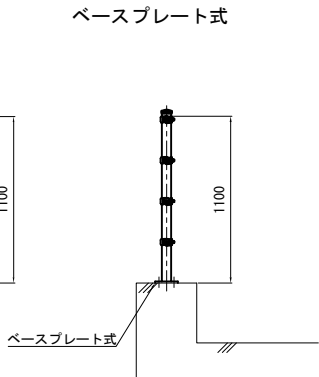
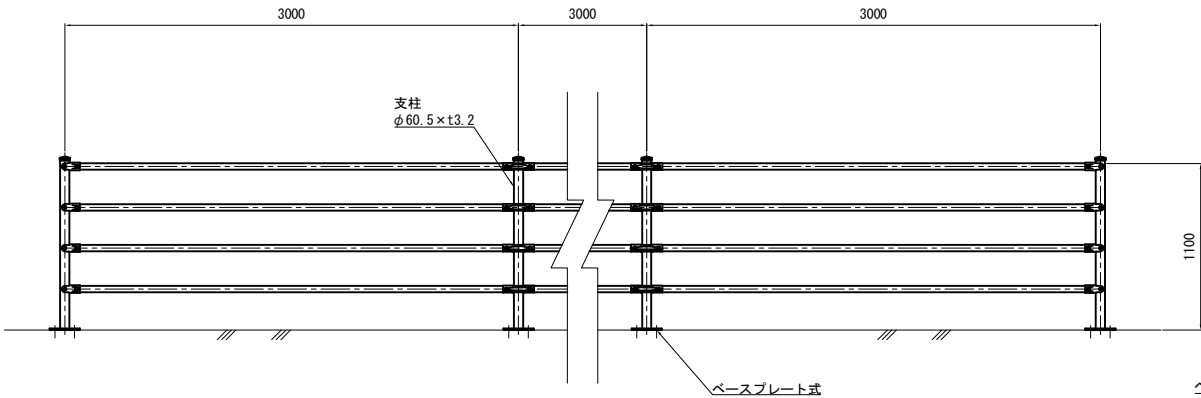
ベースプレート詳細図 S=1:10

転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	9.0	購入材(注1)
転落防止柵A(R)	ガードパイプ	m	9.0	撤去・再設置(注2)

転落防止柵A材料表

項目	細目	単位	数量
支柱	φ60.5×3.2	本	4
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個	4
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個	16
取付ボルト	M12×30	個	16



転落防止柵B
(ボックス内水路壁天端上)

側面図 S=1:50

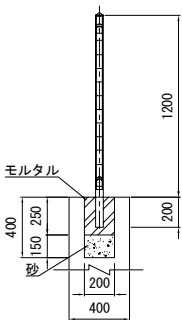
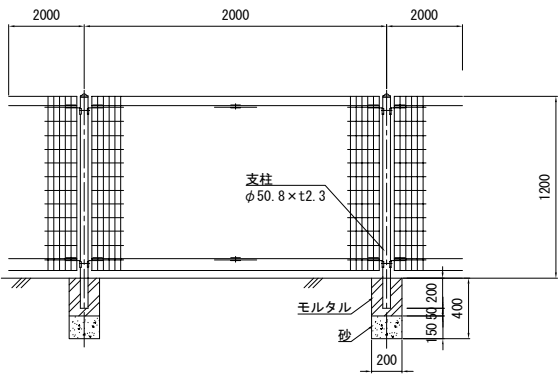
断面図 S=1:50

転落防止柵B数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵B(R)	ガードフェンス	m	14.0	撤去・再設置(注2)

転落防止柵B材料表

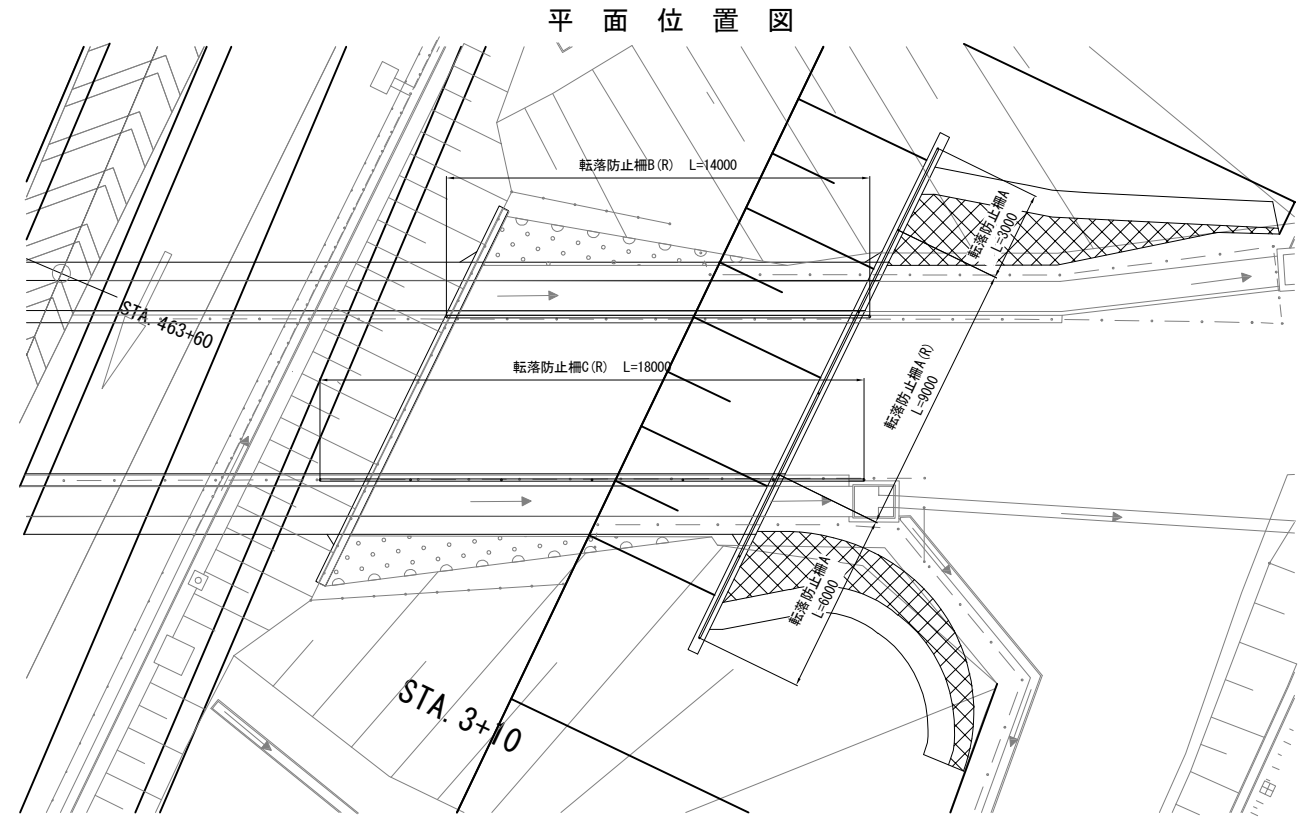
項目	細目	単位	数量
モルタル	1:3	m ³	0.037
砂		m ³	0.024



転落防止柵C
(ボックス内水路壁天端上)

側面図 S=1:50

断面図 S=1:50



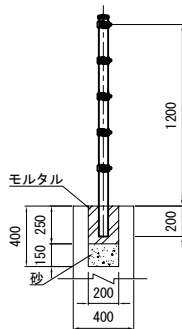
- 注)
1. ビームパイプは既設のものを使用する。
 2. 既設の転落防止柵を撤去し、新設部に再設置するものとする。なお、(R)は再利用を示す。

転落防止柵C数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵C(R)	ガードパイプ	m	18.0	撤去・再設置

転落防止柵C材料表

項目	細目	単位	数量
モルタル	1:3	m ³	0.024
砂		m ³	0.016

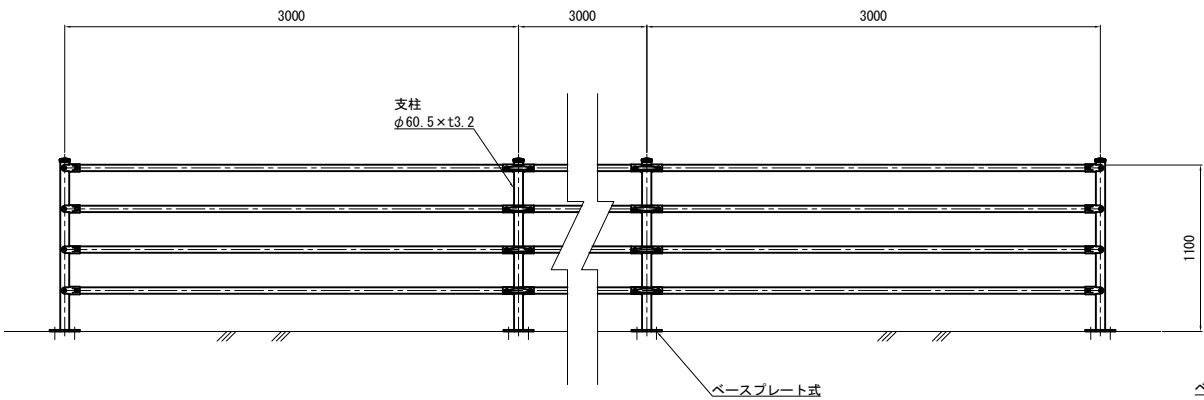


常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(2) (STA.463+55.500)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

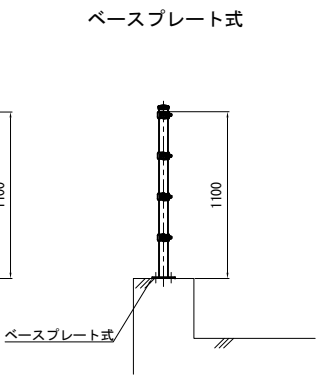
転落防止柵工詳細図(3)
(STA. 490+38.000)

転落防止柵A
(ウイング天端上)

側面図 S=1:50



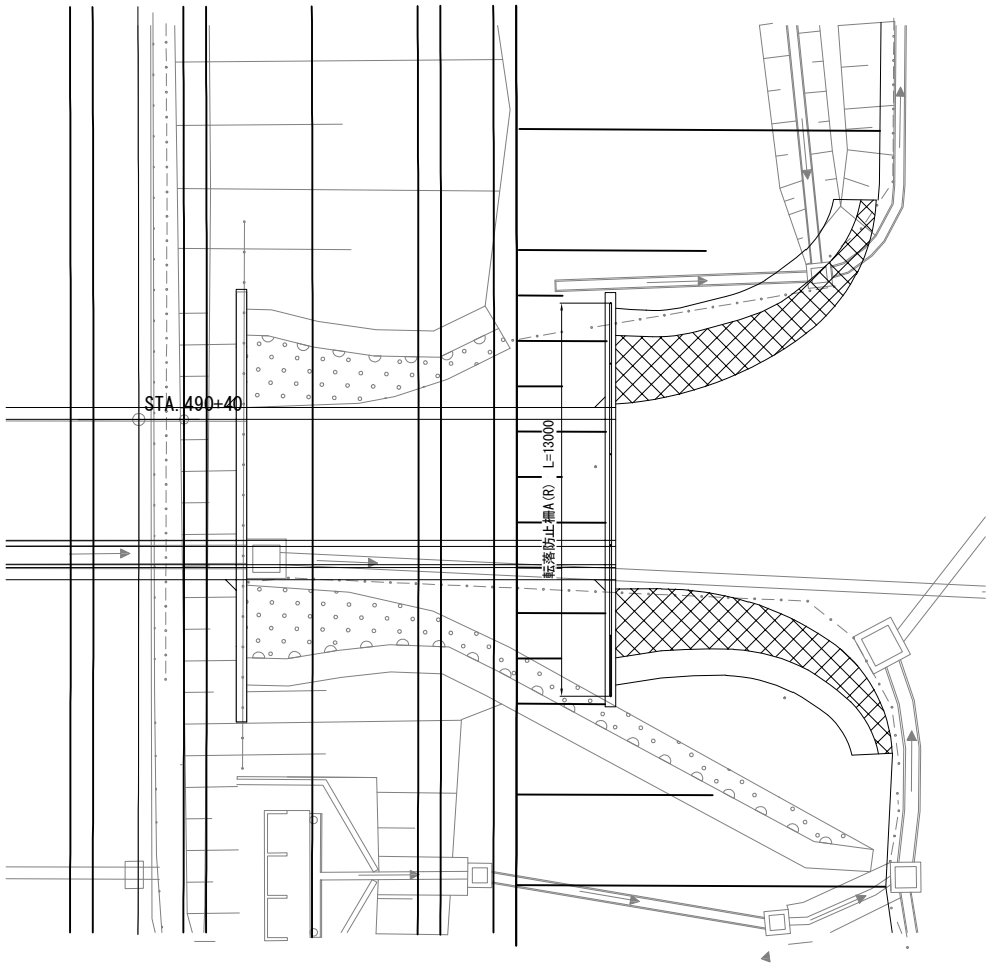
断面図 S=1:50



転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A (R)	ガードパイプ	m	13.0	撤去・再設置(注)

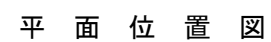
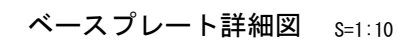
平面位置図



注) 既設の転落防止柵を撤去し、新設部に再設置するものとする。
なお、(R) は再利用を示す。

常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(3) (STA.490+38.000)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

側 面 図 S=1:50



項 目	細 目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	21.2	購入材

轉落防止柵A材料表

転落防止柵A材料表		10m当り
項 目	細 目	単位 数量
支柱	φ60.5×3.2	本
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個
取付ボルト	M12×30	個

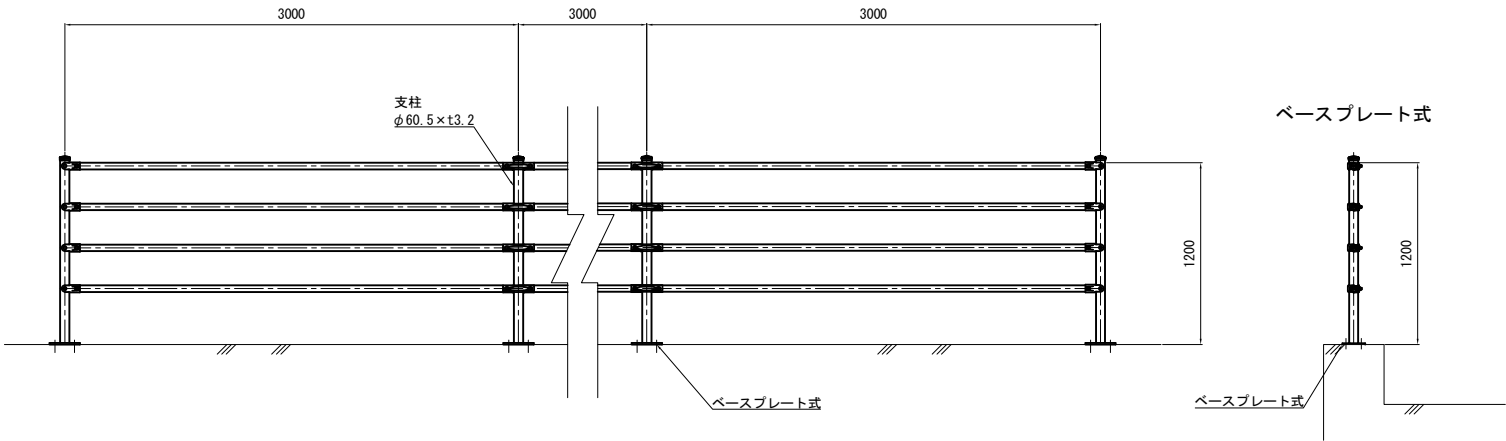
常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図 (4) (STA.485+97.700)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンタ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

転落防止柵工詳細図(5)
(STA. 486+41.700)

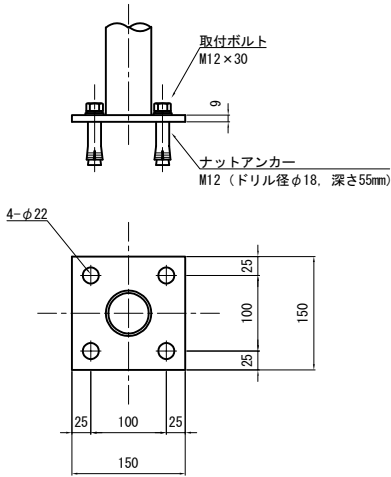
転落防止柵A
(L型擁壁)

側面図 S=1:50

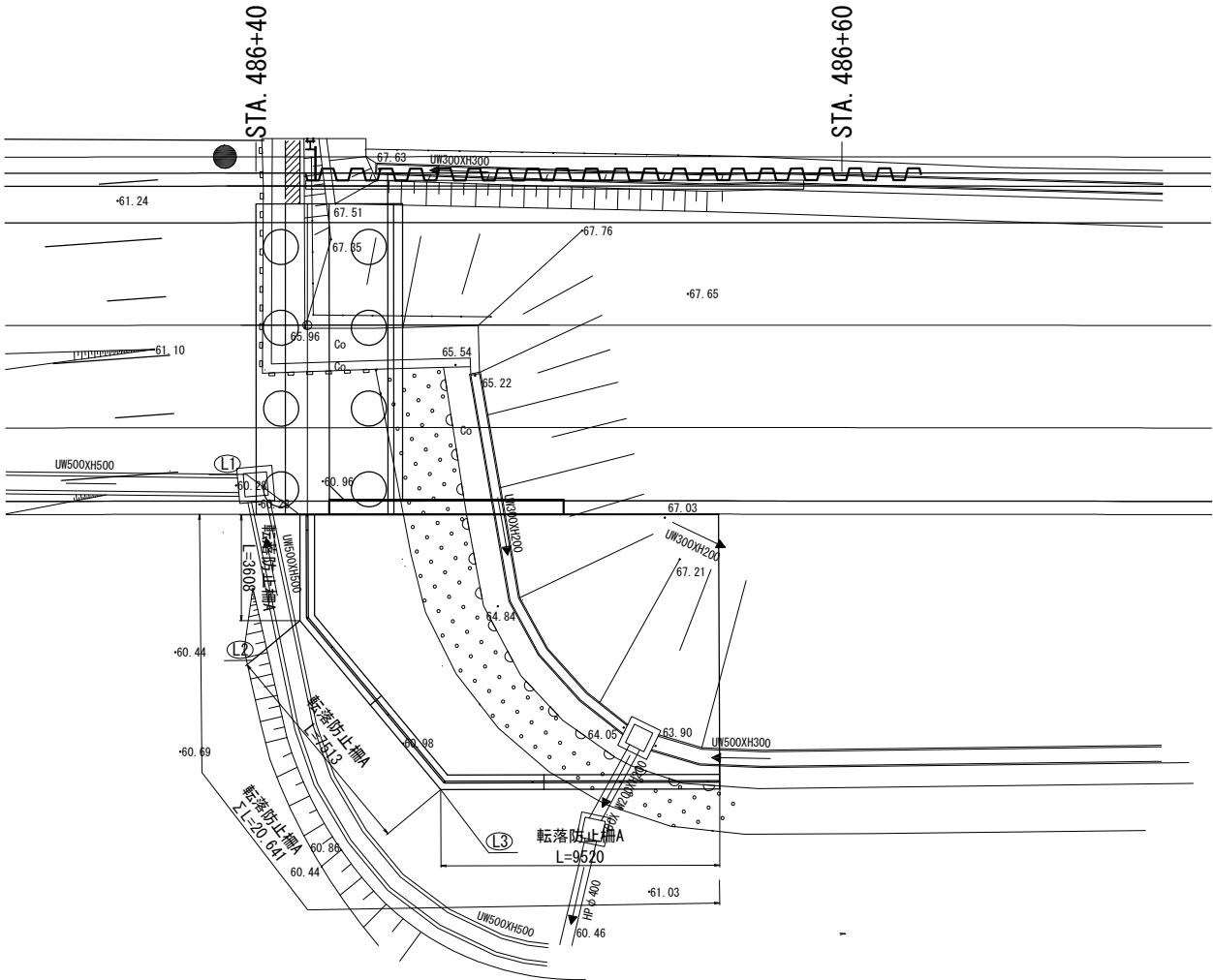
断面図 S=1:50



ベースプレート詳細図 S=1:10



平面位置図



転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	20.6	購入材

転落防止柵A材料表

項目	細目	単位	数量
支柱	φ60.5×3.2	本	4
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個	4
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個	16
取付ボルト	M12×30	個	16

常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(5) (STA.486+41.700)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

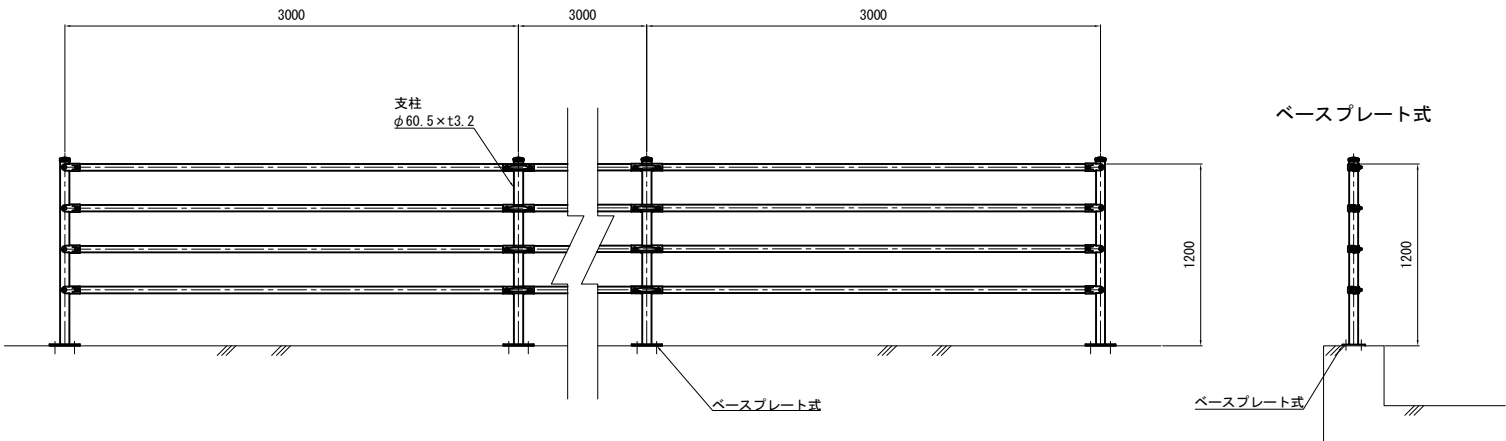
転落防止柵工詳細図(6)
(STA.493+80.000)

転落防止柵A
(L型擁壁)

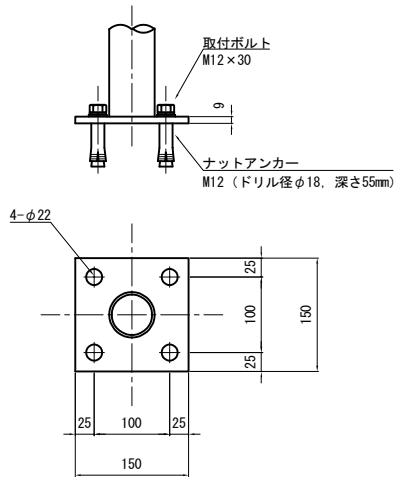
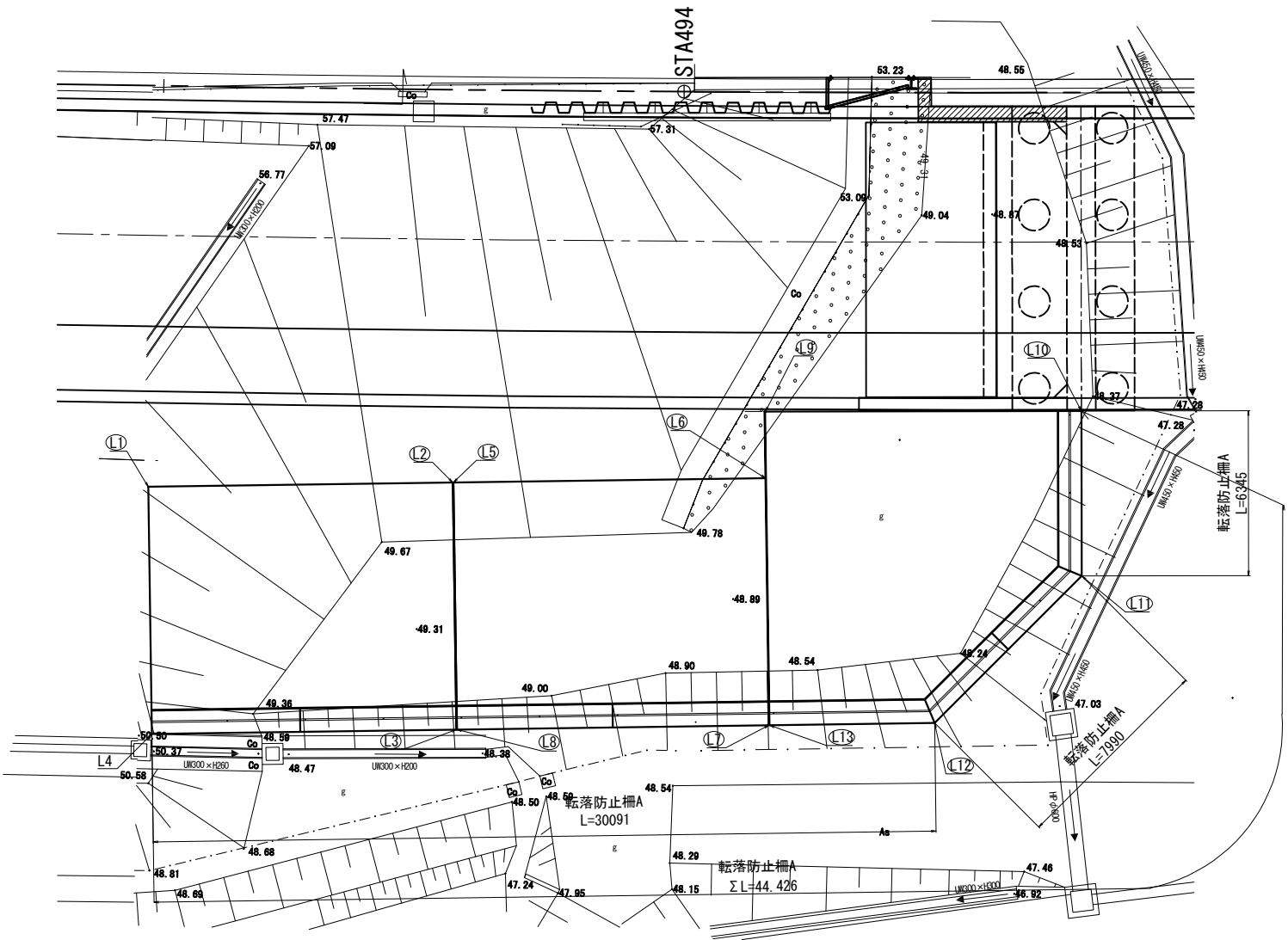
側面図 S=1:50

断面図 S=1:50

ベースプレート詳細図 S=1:10



平面位置図



転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	44.4	購入材

転落防止柵A材料表

項目	細目	単位	数量
支柱	φ60.5×3.2	本	4
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個	4
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個	16
取付ボルト	M12×30	個	16

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(6) (STA.493+80.000)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務所		

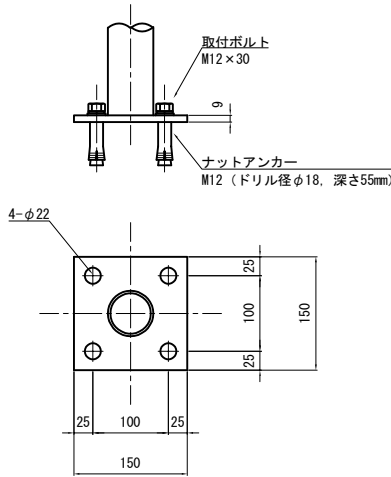
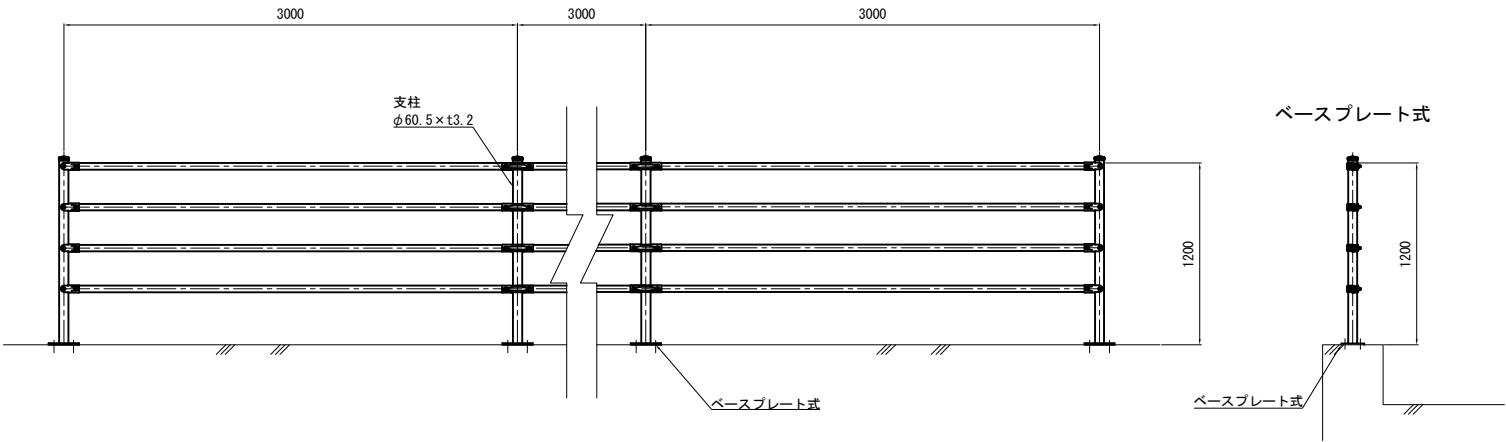
転落防止柵工詳細図(7)
(STA.494+37.000)

転落防止柵A
(L型擁壁)

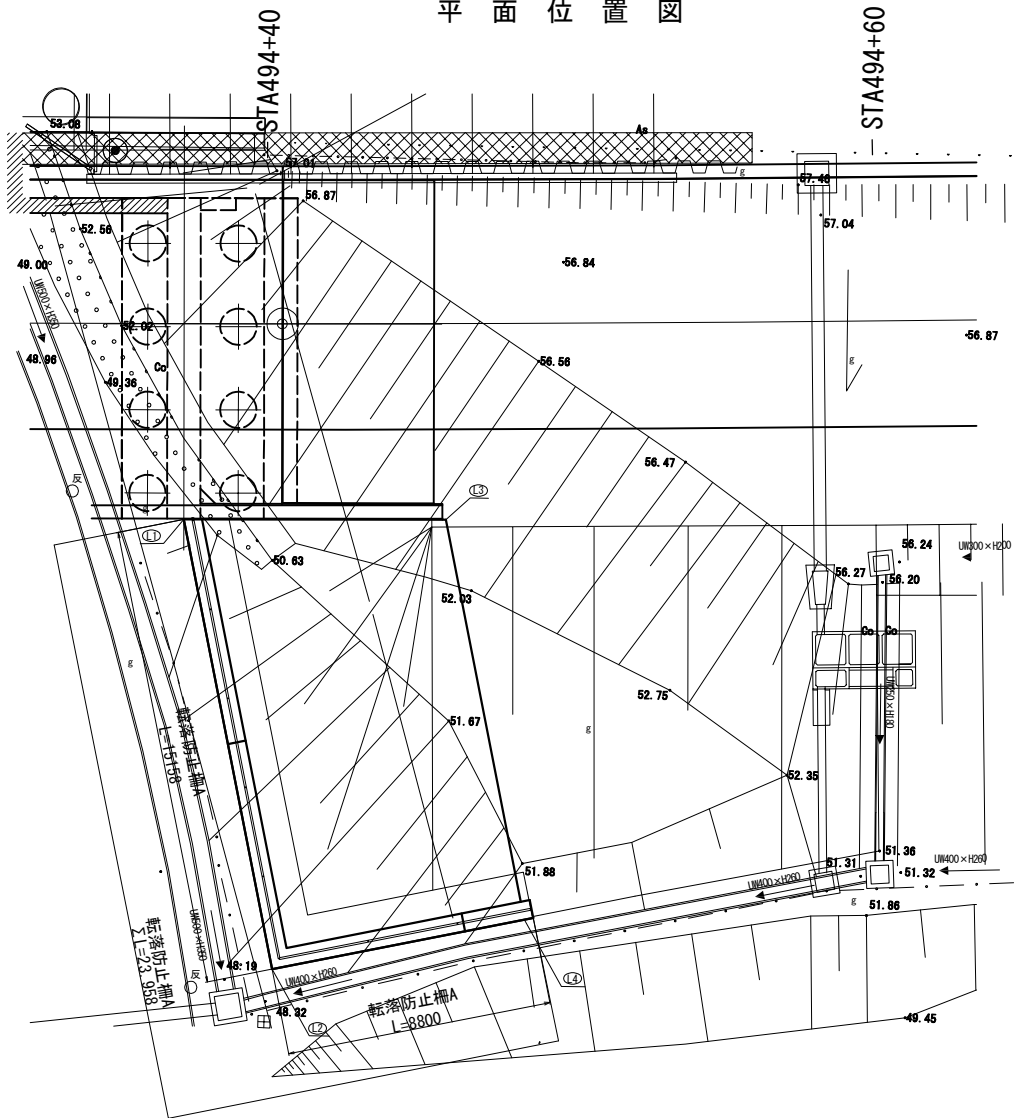
側面図 S=1:50

断面図 S=1:50

ベースプレート詳細図 S=1:10



平面位置図



転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	24.0	購入材

転落防止柵A材料表

項目	細目	単位	数量
支柱	φ60.5×3.2	本	4
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個	4
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個	16
取付ボルト	M12×30	個	16

常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(7) (STA.494+37.000)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

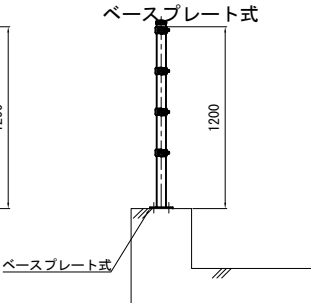
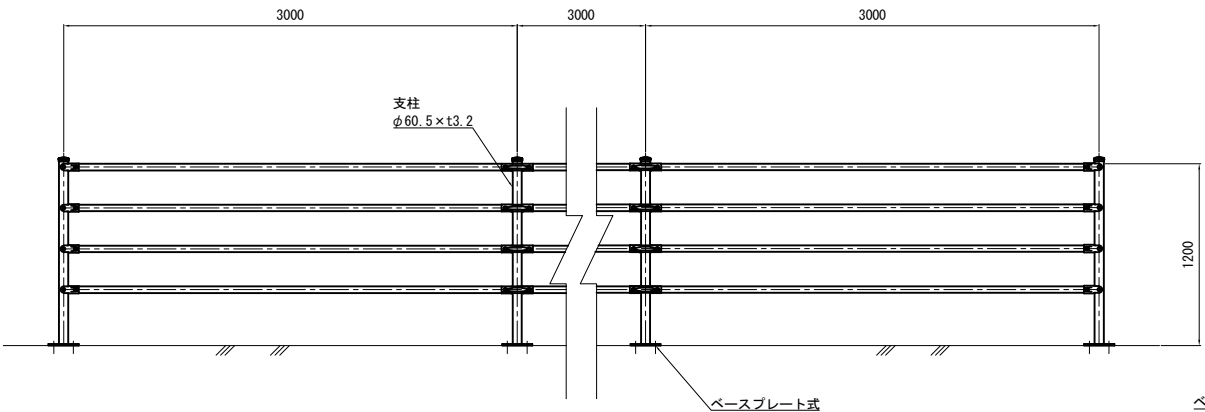
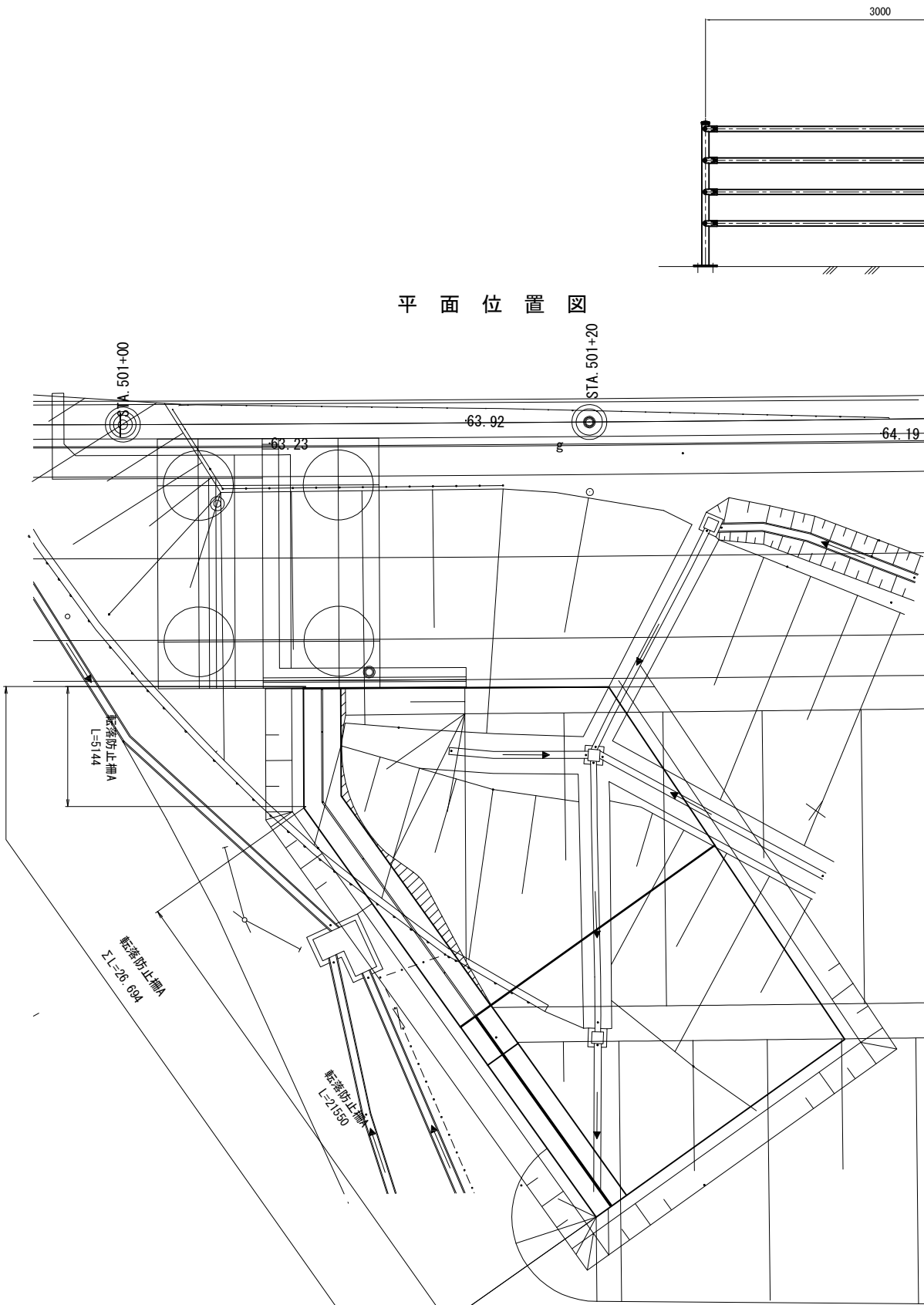
転落防止柵工詳細図(8)
(STA. 501+8.500)

転落防止柵A
(L型擁壁)

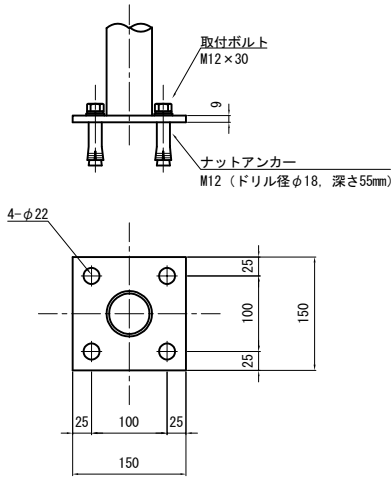
側面図 S=1:50

断面図 S=1:50

平面位置図



ベースプレート詳細図 S=1:10



転落防止柵A数量表

項目	細目	単位	数量	備考
転落防止柵A	ガードパイプ	m	26.7	購入材

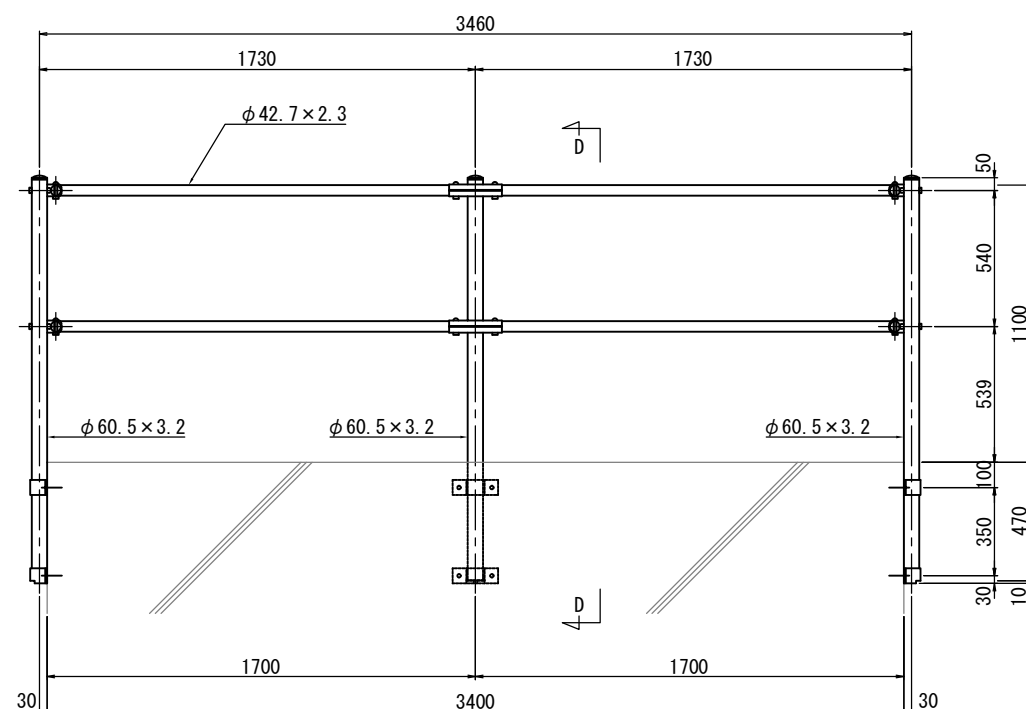
転落防止柵A材料表

項目	細目	単位	数量
支柱	φ60.5×3.2	本	4
ベースプレート本体	PL-150×150×9	個	4
ナットアンカー	溶融亜鉛メッキ	個	16
取付ボルト	M12×30	個	16

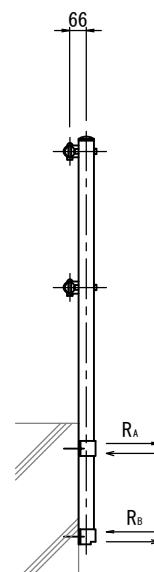
常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	転落防止柵工詳細図(8) (STA.501+8.500)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

転落防止柵工D(油水分離ます手摺) 詳細図(9)

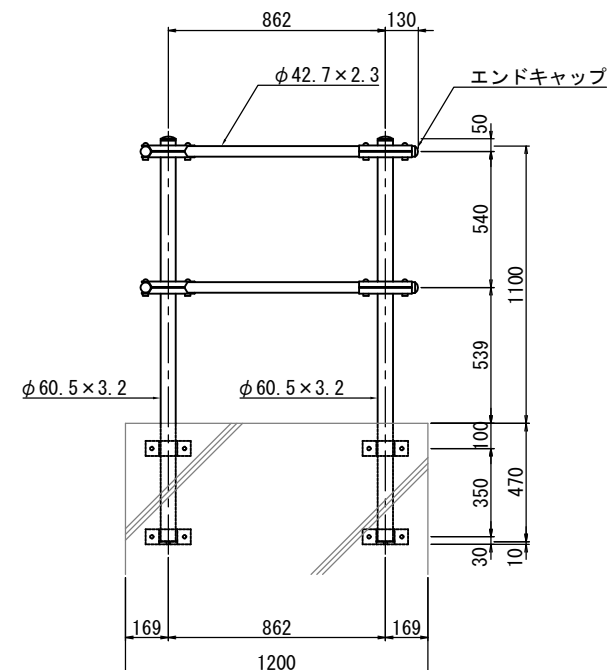
正 面 图 S=1:30
(A-A断面)



D-D断面图 S=1:30



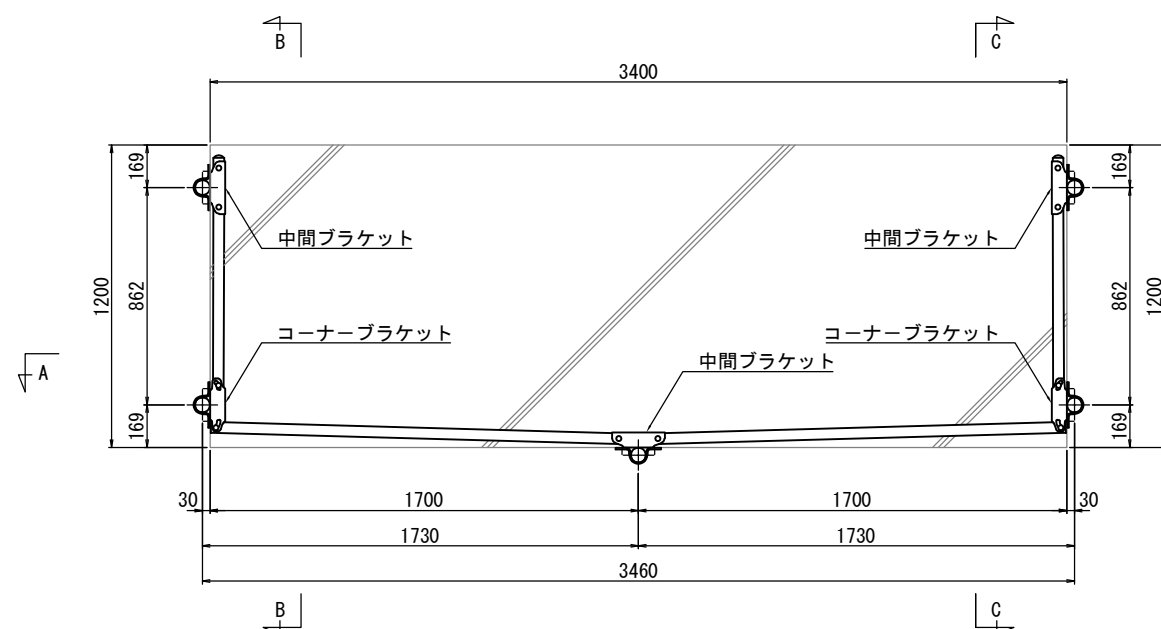
B-B断面図 S=1:30
C-C断面図



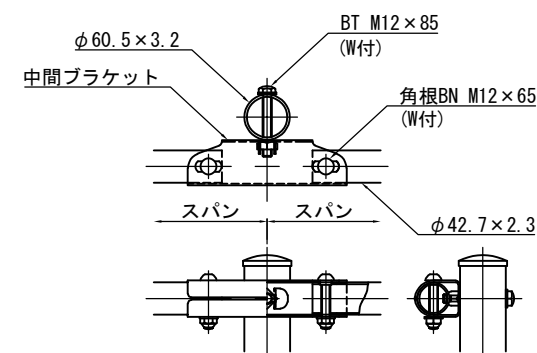
柱取付部に作用する反力
(柱1本当たり)

上部位置	$R_A \doteq 2.99 \text{ kN}$
下部位置	$R_B \doteq 2.32 \text{ kN}$

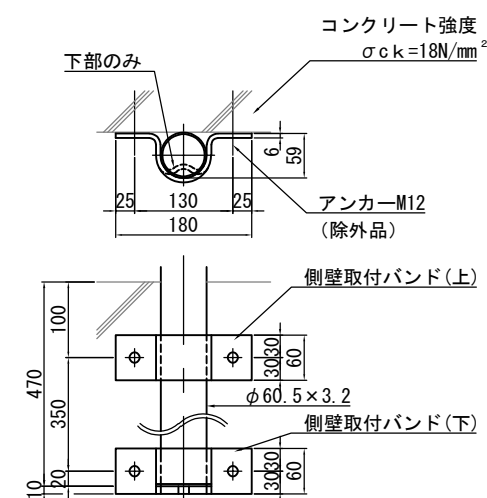
配置平面図 S=1:30



ブラケット取付図 S=1 : 10



側壁取付図 S=1 : 10

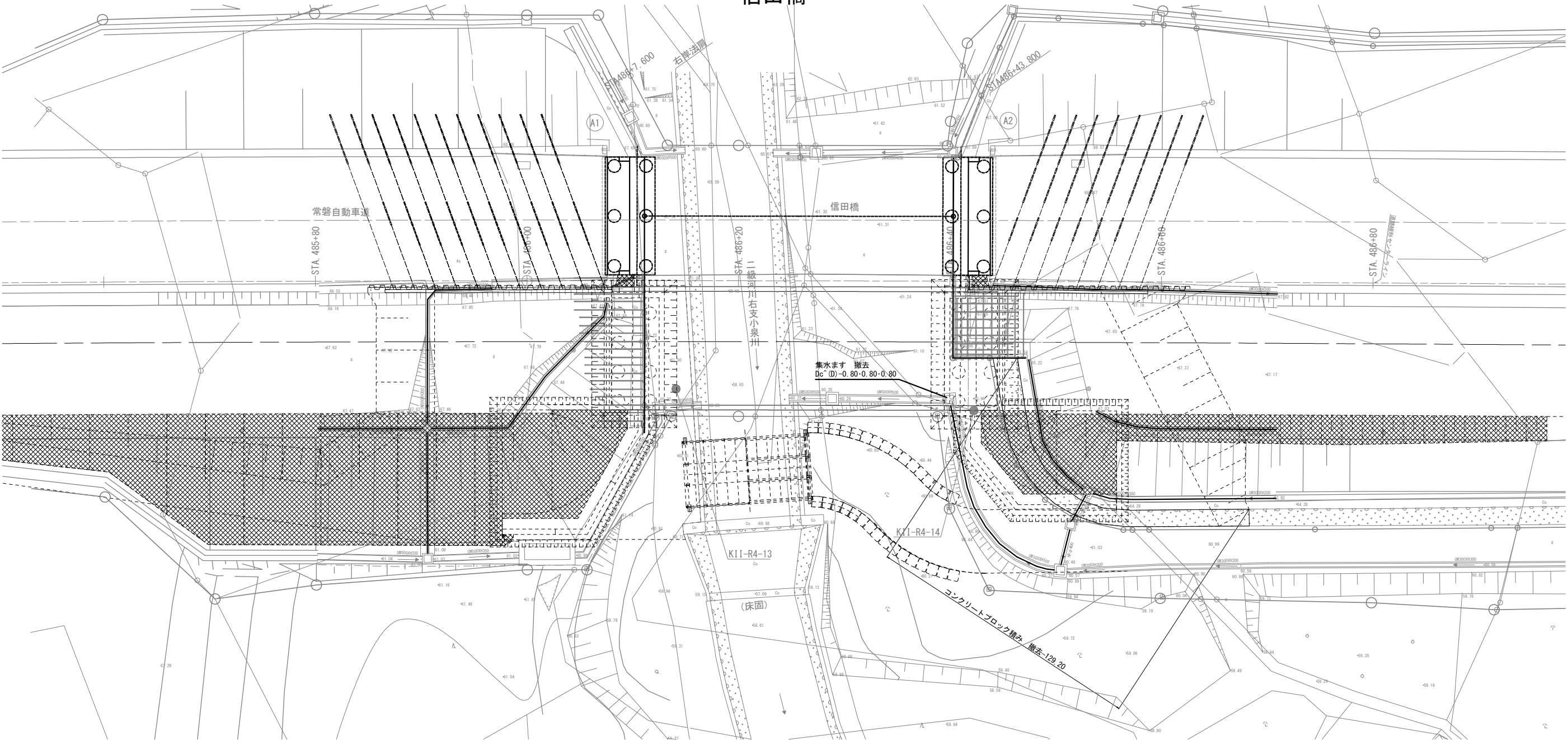


材料・数量表 (1箇所当り)

名 称	規 格	材 質	外 装	数 量	備 考
主 柱	φ 60. 5×3. 2-1599	STK400	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきK27 +高耐候性樹脂粉体塗装	5 本	
ビームパイプ	φ 42. 7×2. 3-742	〃	〃	4 本	片側キャップ付
〃	φ 42. 7×2. 3-1635	〃	〃	4 本	〃
中間ブラケット	t=2. 3	SGMH400	〃	6 個	
コーナーブラケット	〃	〃	〃	4 個	
エンドキャップ	φ 42. 7×2. 3 t=1. 6	STK400 SGMHC	〃	4 個	
角根ボルト・ナット	M12×65 (W付)	ボルト4. 8、ナット5	HDZT49	20 組	
ボ ル ト	M12×85 (W付)	〃	〃	10 組	
側壁取付バンド (上)	t=6	SS400	HDZT56+高耐候性樹脂粉体塗装	5 個	
側壁取付バンド (下)	〃	〃	〃	5 個	

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	転落防止柵工D (油水分離ます手摺)詳細図(9)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンタ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

信田橋



〈構造物等取壊し工数量〉

数量表

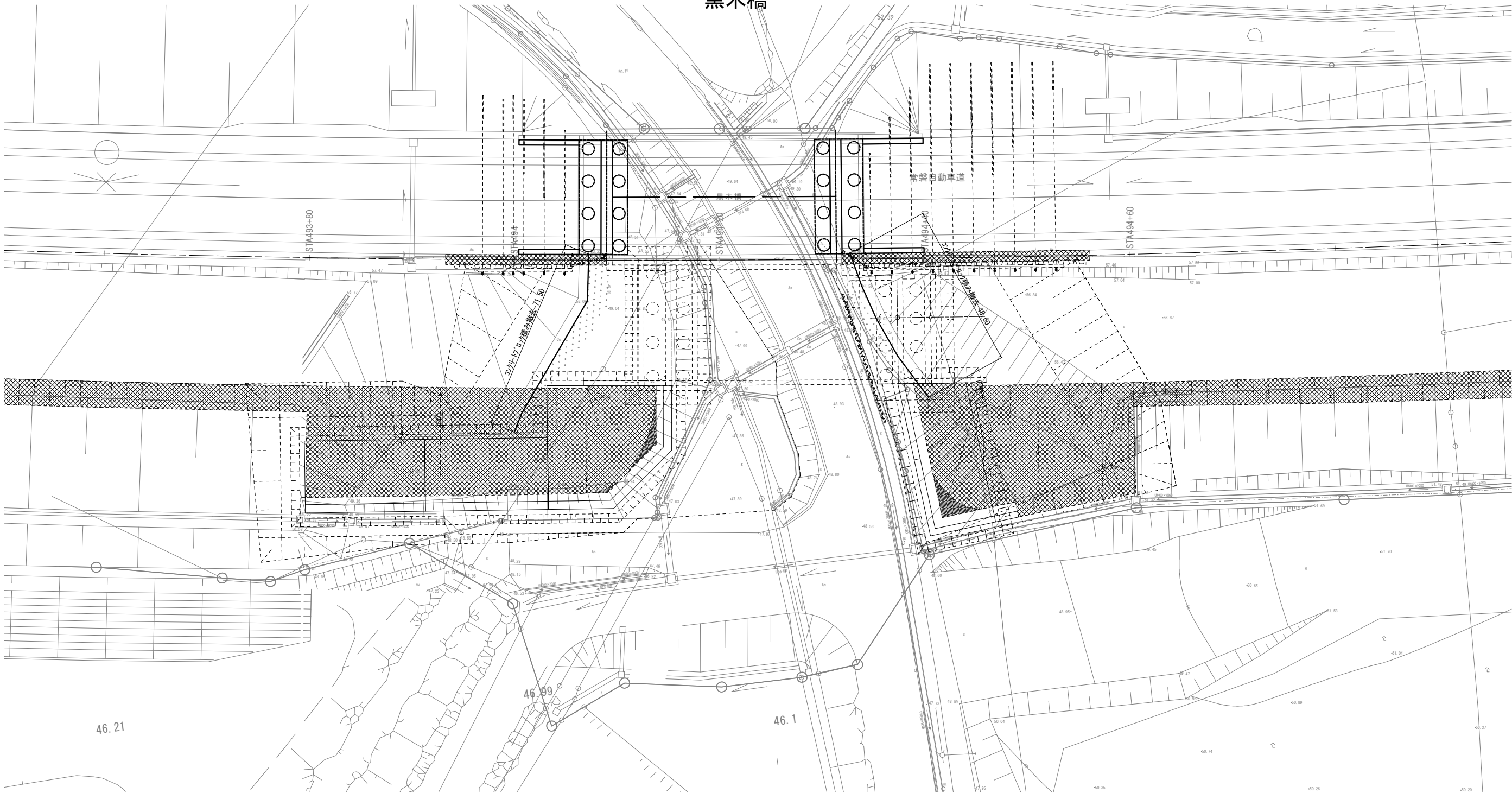
種 別	区 分	数量 (箇所)	数量 (m3)	摘 要
コンクリート構造物取壊し (TypeA)	Dc (D)-0.80-0.80-0.80	1	0.8	本体(A)
コンクリート構造物取壊し (TypeB)			0.1	蓋(B)

数量表 (コンクリートブロック積み撤去)

種 別	区 分	数量 (m2)	数量 (m3)	摘 要
コンクリート構造物取壊し (TypeA)	ブロック積	129.2	67.3	(A)

常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

黒木橋



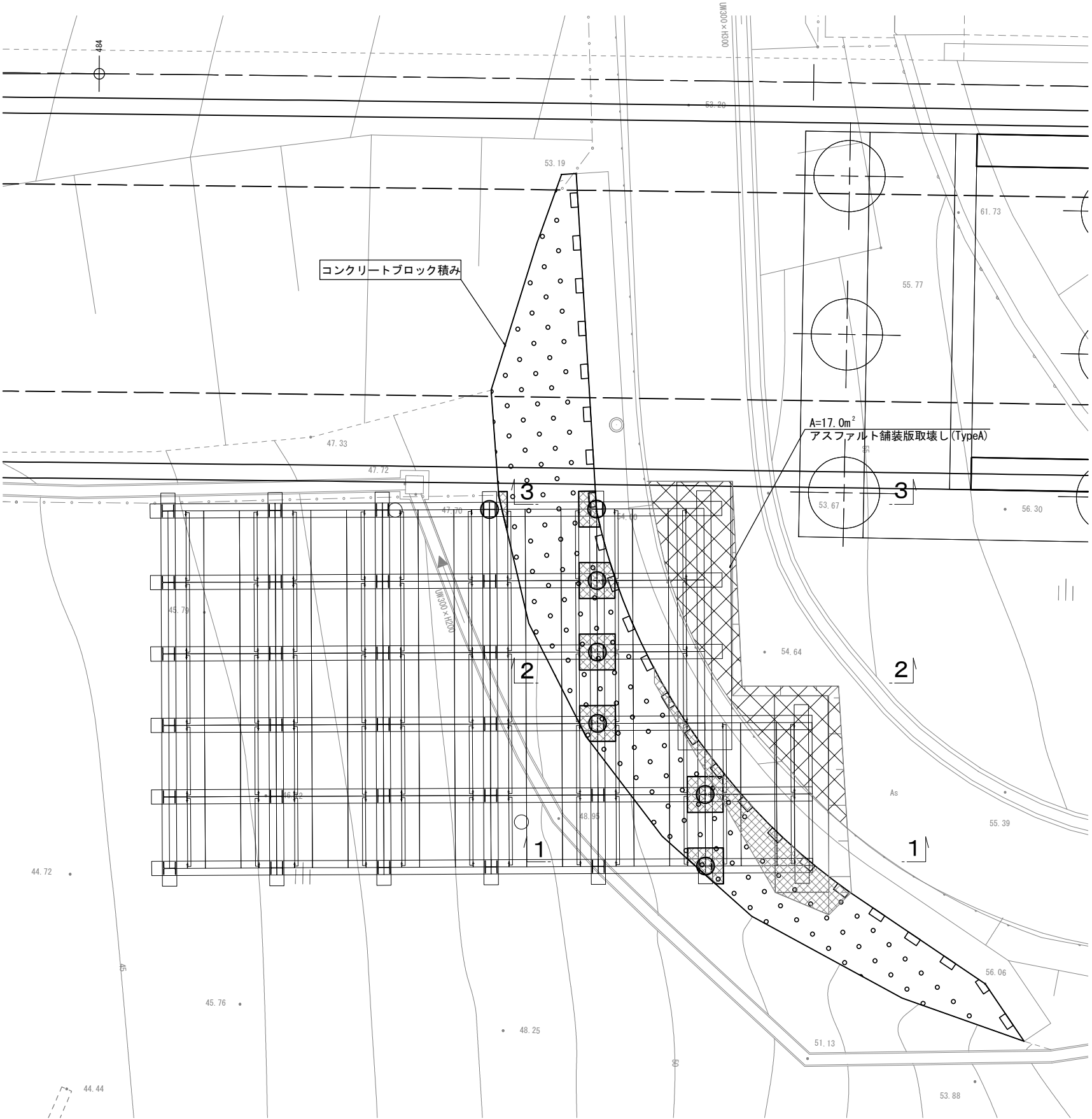
〈構造物等取壊し工数量〉

数量表 (コンクリートブロック積み撤去)				
種 別	区 分	数量 (m2)	数量 (m3)	摘 要
コンクリート構造物取壊し (TypeA)	ブロック積	120.1	65.3	(A)

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

構造物等取壊し工平面図(3)
馬藩沢橋

S=1:125



〈構造物等取壊し工数量〉

数量表（舗装版撤去）

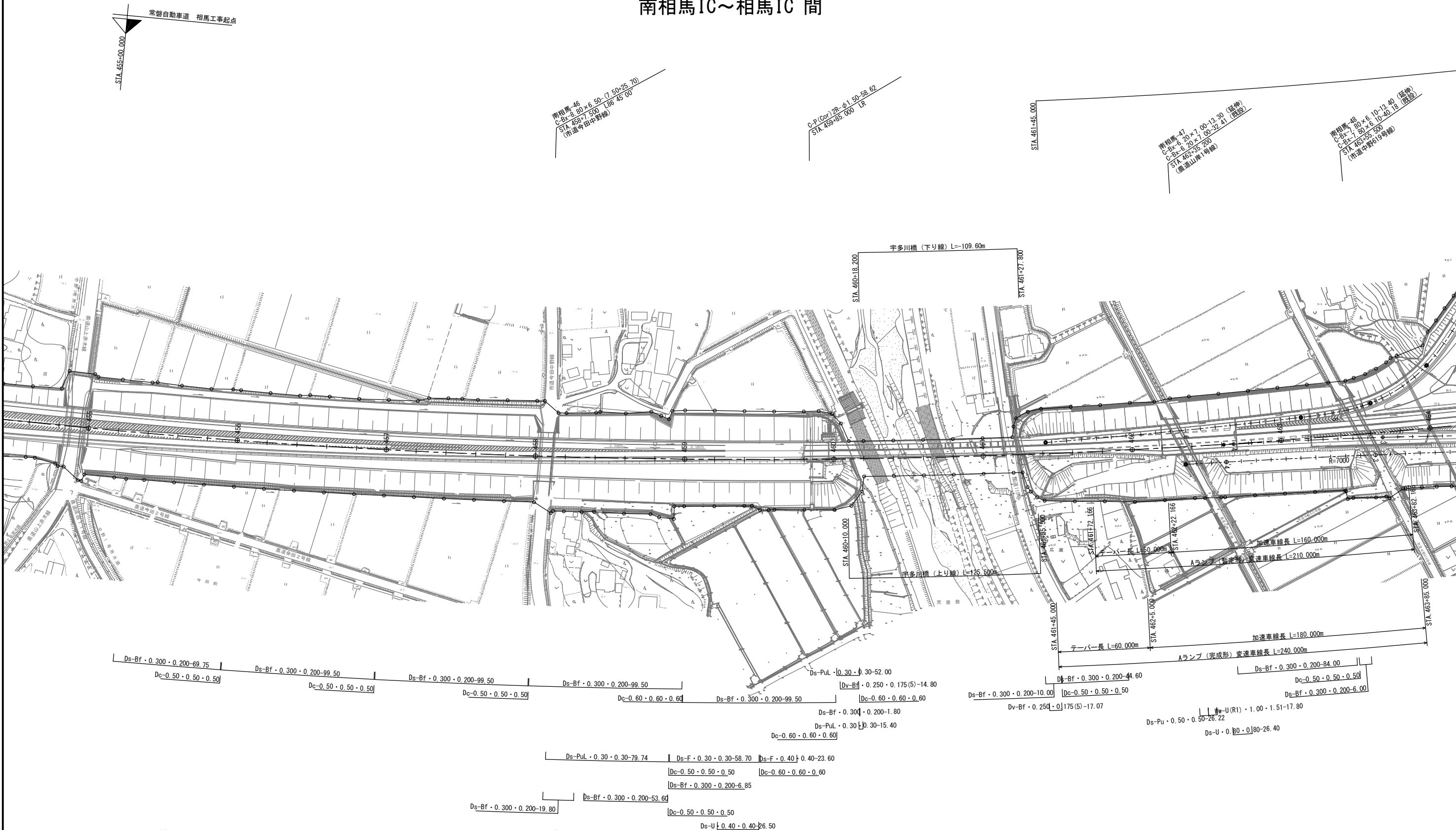
種 別	単 位	数 量	摘 要
アスファルト舗装版取壊し (TypeA)	m ²	17.0	As版 t=5cm

凡 例

：舗装版撤去範囲

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

構造物等取壊し工平面図(4) S=1:2,500
南相馬IC～相馬IC 間



数量表 (用排水溝撤去)

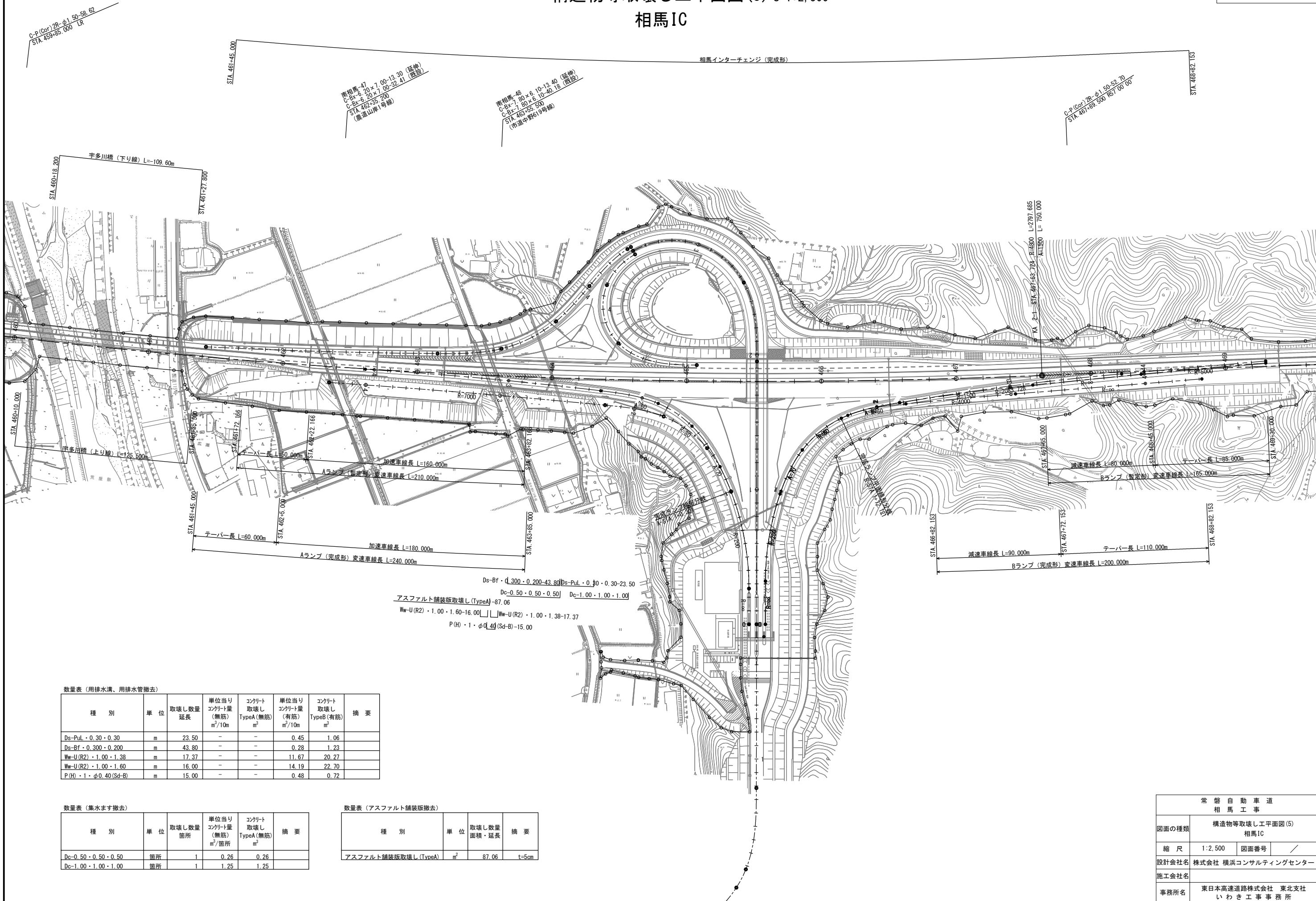
種 別	単 位	取壊し数量 延長	単位当り コンクリート量 (無筋) m3/10m	コンクリート 取壊し TypeA(無筋) m3	単位当り コンクリート量 (有筋) m3/10m	コンクリート 取壊し TypeB(有筋) m3	摘 要
Ds-PuL・0.30・0.30	m	147.14	—	—	0.45	6.62	
Ds-PuL・0.50・0.50	m	26.22	—	—	1.41	3.70	
Ds-Bf・0.300・0.200	m	694.40	—	—	0.28	19.44	
Dv-Bf・0.250・0.175(5)	m	31.87	0.52	1.66	0.21	0.67	
Ww-U(R1)・1.00・1.51	m	17.80	—	—	17.57	31.27	
Ds-F・0.30・0.30	m	58.70	—	—	0.44	2.58	
Ds-F・0.40・0.40	m	23.60	—	—	0.66	1.56	
Ds-U・0.40・0.40	m	26.50	—	—	2.25	5.96	
Ds-U・0.80・0.80	m	26.40	—	—	4.05	10.69	

数量表 (集水ます撤去)

種 別	単 位	取壊し数量 箇所	単位当り コンクリート量 (無筋) m3/箇所	コンクリート 取壊し TypeA(無筋) m3	摘 要
Dc-0.50・0.50・0.50	箇所	7	0.26	1.82	
Dc-0.60・0.60・0.60	箇所	4	0.35	1.40	

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(4) 南相馬IC～相馬IC 間		
縮 尺	1:2,500	図面番号	／
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

構造物等取壊し工平面図(5) S=1:2,500
相馬IC



数量表 (用排水溝、用排水管撤去)

種 別	単 位	取壊し数量 延長	単位当り コンクリト量 (無筋) m ³ /10m	コンクリト 取壊し TypeA(無筋) m ³	単位当り コンクリト量 (有筋) m ³ /10m	コンクリト 取壊し TypeB(有筋) m ³	摘 要
Ds-PuL・0.30・0.30	m	23.50	-	-	0.45	1.06	
Ds-Bf・0.300・0.200	m	43.80	-	-	0.28	1.23	
Ww-U(R2)・1.00・1.38	m	17.37	-	-	11.67	20.27	
Ww-U(R2)・1.00・1.60	m	16.00	-	-	14.19	22.70	
P(H)・1・φ0.40(Sd-B)	m	15.00	-	-	0.48	0.72	

数量表 (集水ます撤去)

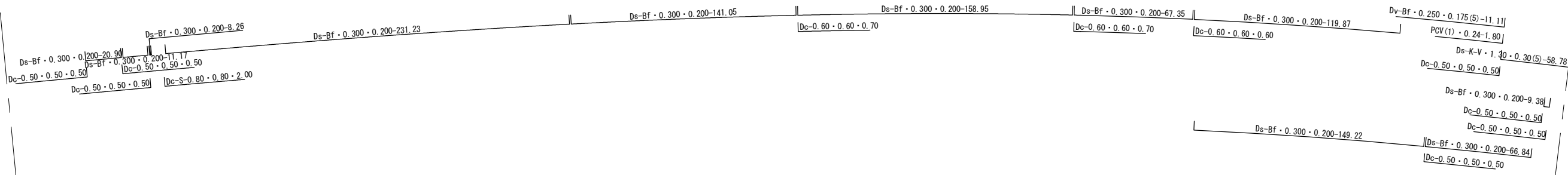
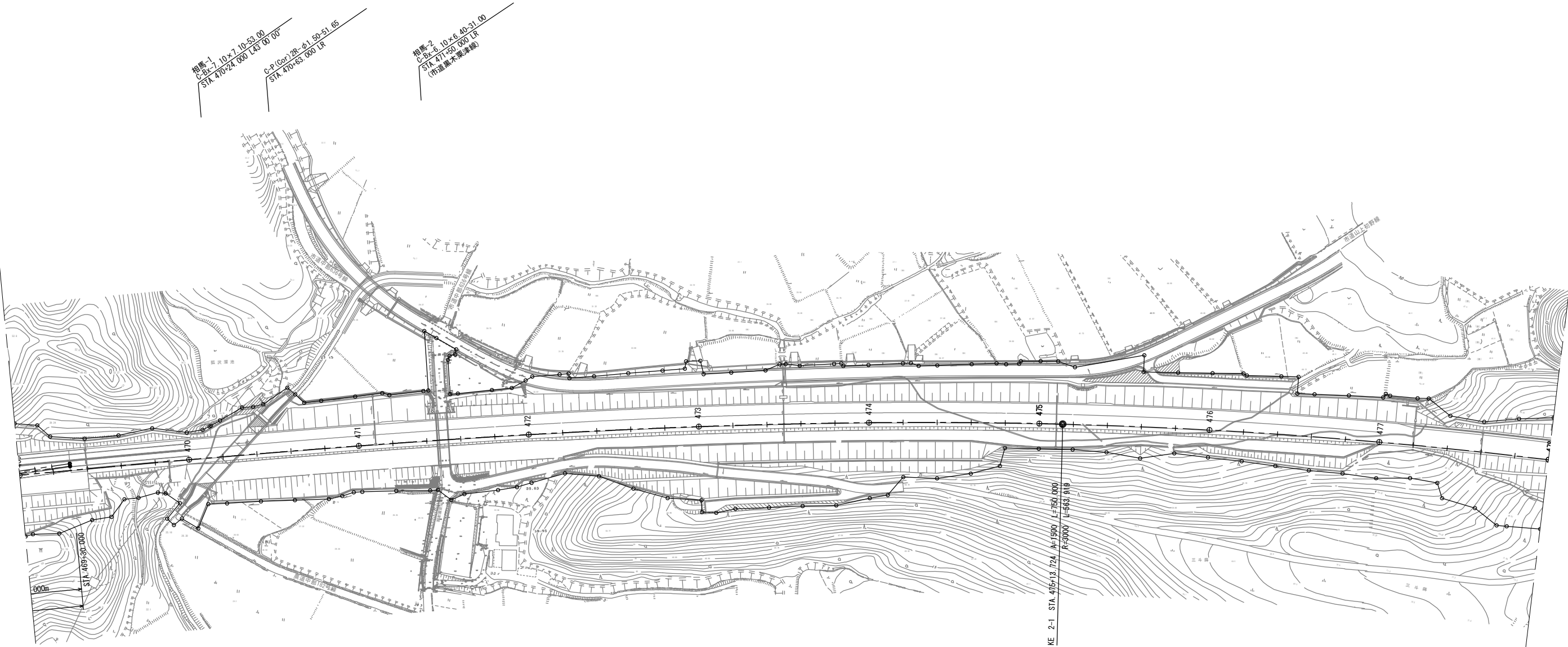
種 別	単 位	取壊し数量 箇所	単位当り コンクリト量 (無筋) m ³ /箇所	コンクリト 取壊し TypeA(無筋) m ³	摘 要
Dc-0.50・0.50・0.50	箇所	1	0.26	0.26	
Dc-1.00・1.00・1.00	箇所	1	1.25	1.25	

数量表 (アスファルト舗装版撤去)

種 別	単 位	取壊し数量 面積・延長	摘 要
アスファルト舗装版取壊し (TypeA)	m ²	87.06	t=5cm

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(5) 相馬IC		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

構造物等取壊し工平面図(6) S=1:2,500
相馬IC～新地IC 間



数量表（用排水溝撤去）

種 別	単 位	取壊し数量 延長	単位当り コンクリート量 (無筋) m ³ /10m	コンクリート 取壊し TypeA(無筋) m ³	単位当り コンクリート量 (有筋) m ³ /10m	コンクリート 取壊し TypeB(有筋) m ³	摘 要
Ds-PuL・0.30・0.30	m	83.49	—	—	0.45	3.76	
Ds-Bf・0.300・0.200	m	3,850.84	—	—	0.28	107.82	
Ds-Bf・0.250・0.175	m	2.92	—	—	0.21	0.06	
Ds-Po・0.45・0.45	m	29.96	—	—	4.72	14.14	
PCV(1)・0.24	m	57.60	—	—	0.15	0.86	
PCV(1)・0.30	m	3.60	—	—	0.23	0.08	
Dv-Bf・0.250・0.175(5)	m	267.00	0.52	13.88	0.21	5.61	
Ds-K-V・1.30・0.30(5)	m	798.06	0.77	61.45	—	—	
Ds-K(1)-Bf・0.300・0.200(5)	m	58.87	0.65	3.83	0.28	1.65	
Ds-F・0.40・0.40	m	94.70	—	—	0.66	6.25	
Ds-Pu・0.50・0.50	m	54.82	—	—	1.41	7.73	

数量表（集水ます撤去）

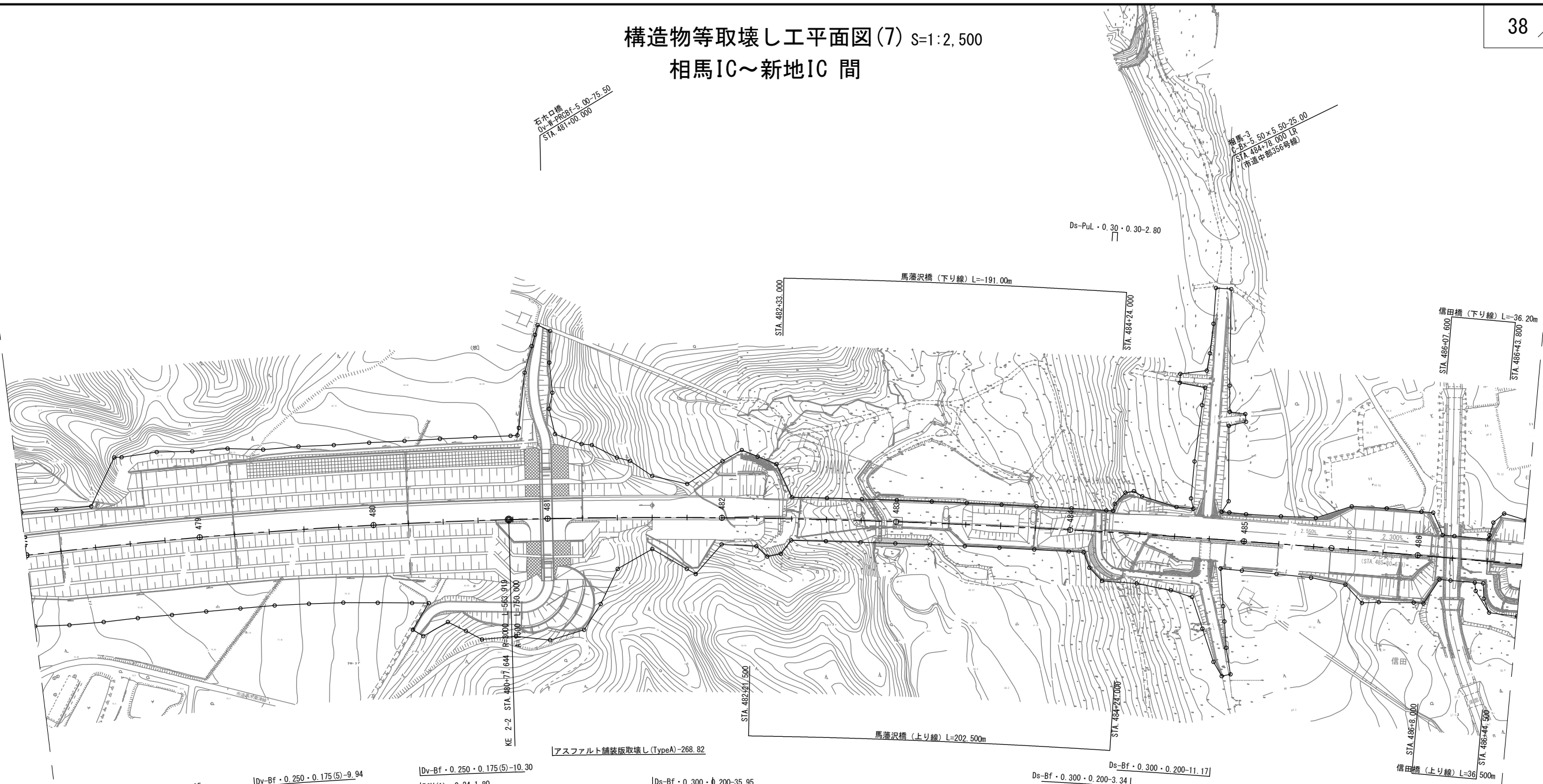
種 別	単 位	取壊し数量 箇所	単位当り コンクリート量 (無筋) m ³ /箇所	コンクリート 取壊し TypeA(無筋) m ³	単位当り コンクリート量 (有筋) m ³ /10m	コンクリート 取壊し TypeB(有筋) m ³	摘 要
Dc-0.50・0.50・0.50	箇所	16	0.26	4.16	—	—	
Dc-0.50・0.50・0.60	箇所	1	0.30	0.30	—	—	
Dc-0.60・0.60・0.60	箇所	1	0.35	0.35	—	—	
Dc-0.60・0.60・0.70	箇所	2	0.40	0.80	—	—	
Dc-0.80・0.80・1.10	箇所	2	1.10	2.20	—	—	
Dc-0.50・0.50・0.50	箇所	32	0.26	8.32	0.07	2.24	
Dc-0.60・0.60・0.60	箇所	2	0.35	0.70	0.09	0.18	
Dc-0.80・0.80・1.10	箇所	1	1.10	1.10	0.16	0.16	
Dc-0.90・0.90・0.90	箇所	1	1.13	1.13	0.10	0.10	
Dc-S-0.80・0.80・2.00	箇所	1	1.76	1.76	—	—	
油水分離ますA	箇所	5	0.44	2.20	1.28	6.40	
油水分離ますB	箇所	1	1.06	1.06	2.54	2.54	
油水分離ますC	箇所	1	0.37	0.37	1.41	1.41	

数量表（アスファルト舗装版撤去）

種 別	単 位	取壊し数量 面積・延長	摘 要
アスファルト舗装版取壊し(TypeA)	m ²	520.49	t=10cm

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(6) 相馬IC～新地IC 間		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

構造物等取壊し工平面図(7) S=1:2,500
相馬IC~新地IC 間



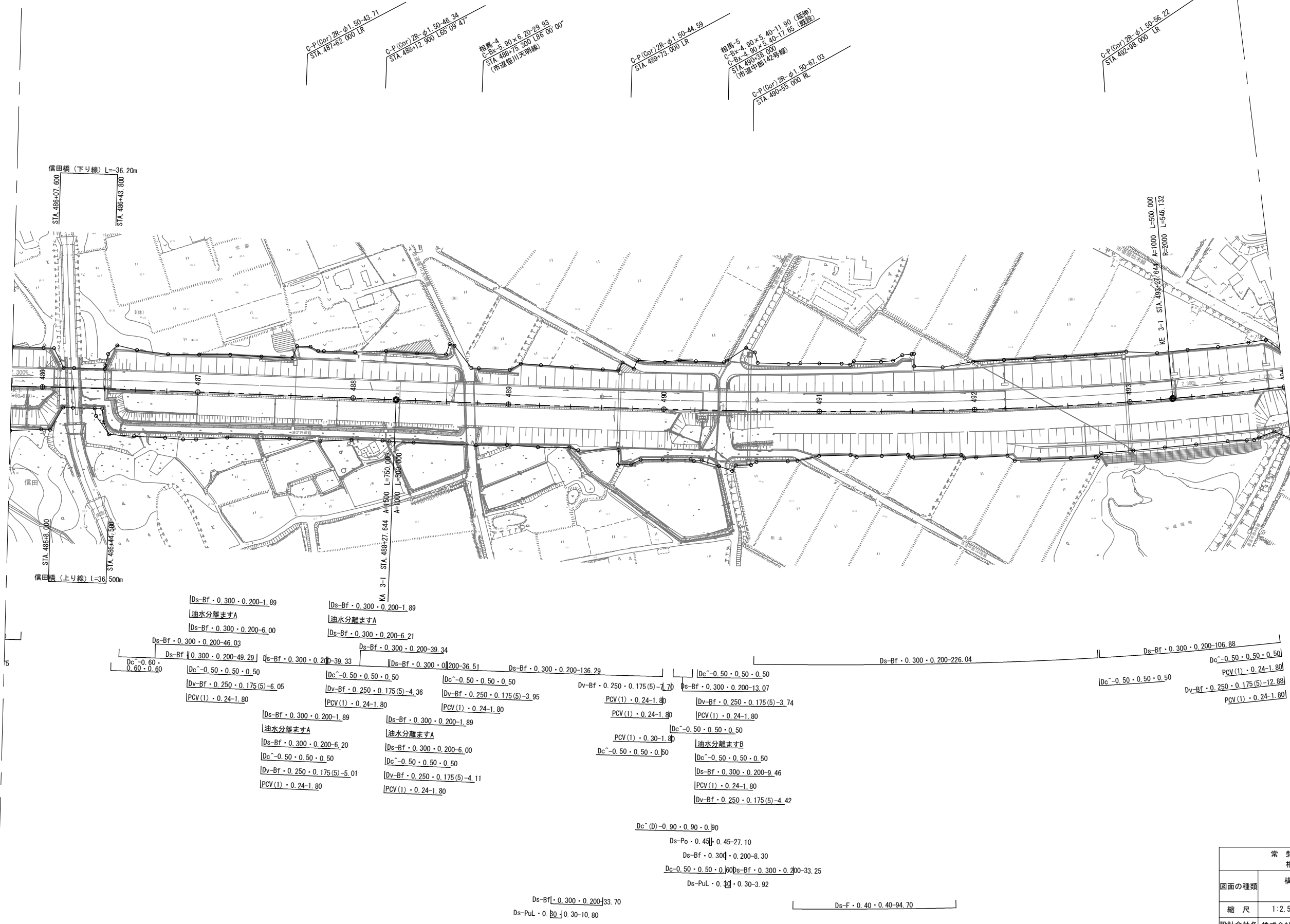
アスファルト舗装板取壊し (TypeA)-268.82

$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 10.05]$	$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 9.94]$	$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 10.30]$	$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 35.95]$
$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$
$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 98.47]$	$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 98.41]$	$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 63.94]$	$[PCV(1) \cdot 0.30 - 1.80]$
$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	
$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 11.60]$	$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 11.60]$	$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 11.60]$	
$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	
$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 98.49]$	$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 98.45]$	$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 63.94]$	
$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	
$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 28.40]$	$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 5.77]$	$[Ds-K-V \cdot 1.30 \cdot 0.30(5) - 55.75]$	
		$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	
		$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 244.10]$	

$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 11.17]$	$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 11.21]$
$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$
$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 14.17]$	$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 34.60]$
$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$	$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 40.00]$
$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$
$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 3.80]$	$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 1.06]$
	$[Ds-Bf \cdot 0.300 \cdot 0.200 - 11.20]$
	$[PCV(1) \cdot 0.24 - 1.80]$
	$[Dc^- - 0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50]$
	$[Dv-Bf \cdot 0.250 \cdot 0.175(5) - 3.69]$

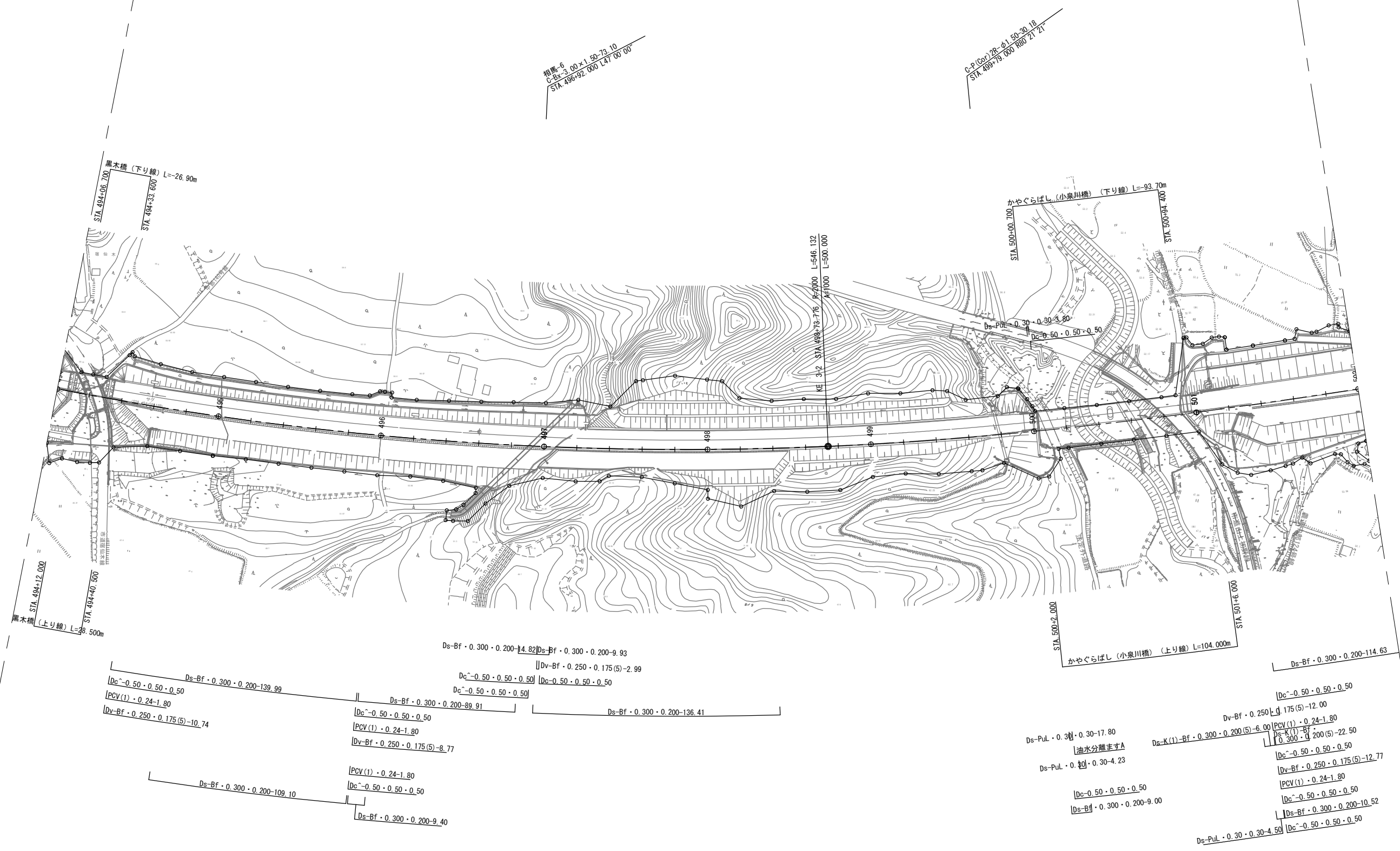
常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(7) 相馬IC~新地IC 間		
縮尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

構造物等取壊し工平面図(8) S=1:2,500
相馬IC～新地IC 間



常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(8) 相馬IC～新地IC 間		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

構造物等取壊し工平面図(9) S=1:2,500
相馬IC~新地IC 間



常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(9) 相馬IC~新地IC 間		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

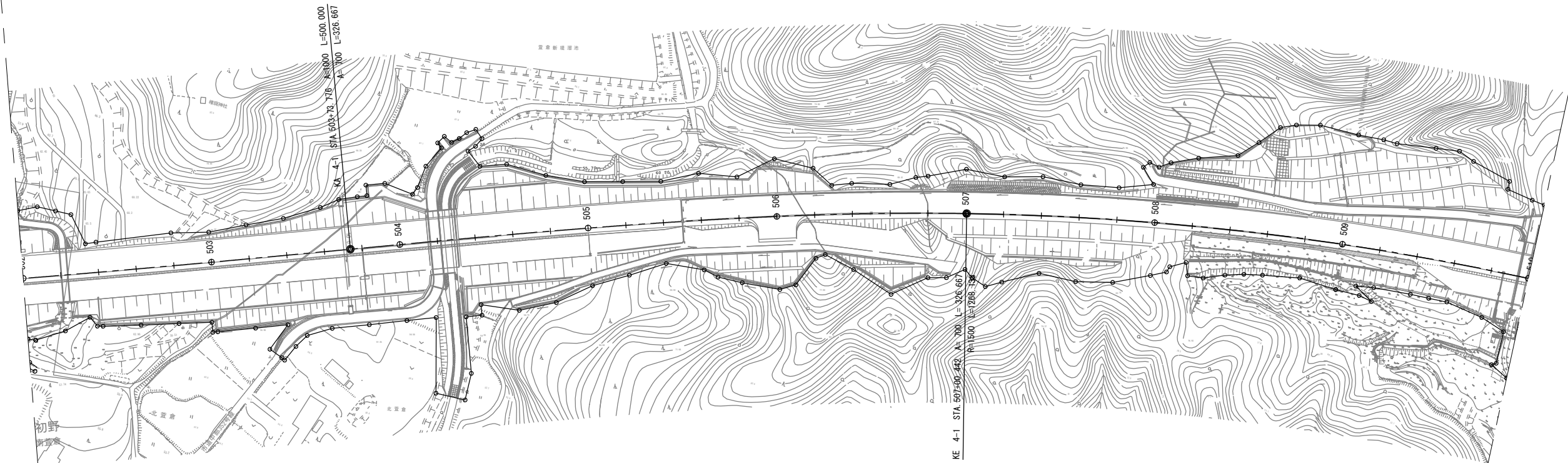
構造物等取壊し工平面図(10) S=1:2,500
相馬IC~新地IC 間

相馬-7
C-Bx-3.00×4.70-28.72
STA. 502+27.000 LR
(農道中部124号線)

C-F (Cp) 2R-81.50-53.80
STA. 503+71.000 LR

相馬-8
C-Bx-8.50×5.60×12.00-33.91
STA. 504+73.188 LR
(市道中部352号線)

相馬-9
C-Bx-4.60×6.70-36.88
STA. 509+97.000 LR
(農道中部119号線)



〔アスファルト舗装版取壊し(TypeA)-251.67

Ds-Bf・0.300・0.200-460.00

Dc-0.60・0.60・0.60
PCV(1)・0.24-1.80
Dv-Bf・0.250・0.175(5)-12.79

Dc-0.80・0.80・1.10
Dv-Bf・0.250・0.175(5)-7.58
PCV(1)・0.24-1.80

油水分離ますC
Ds-Bf・0.250・0.175-2.92
Dc-0.80・0.80・1.10
Dv-Bf・0.250・0.175(5)-4.01
PCV(1)・0.24-1.80

Ds-PuL・0.30・0.30-15.08 Ds-PuL・0.30・0.30-20.56
Dc-0.50・0.50・0.50 Dc-0.50・0.50・0.50
Ds-K-V・1.30・0.30(5)-108.57
Ds-K(1)-Bf・0.300・0.200(5)-20.37

Ds-Bf・0.300・0.200-126.40

常盤自動車道 相馬工事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(10) 相馬IC~新地IC 間		
縮尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

構造物等取壊し工平面図(11) S=1:2,500
相馬IC～新地IC 間

相馬IC
C-Bx 16 70+7.40×12.00-36.19
STA 510+40.00(18.32.00)
(市道中継(33号線))

C-B(Ge) 28-81 50+90.21
STA 513+00.30(885.27.30)

STA 514+44.500

大野台希望の橋(地藏川橋)(下り線)L=421.00m

STA 514+38.500

大野台希望の橋(地藏川橋)(上り線)L=419.500m

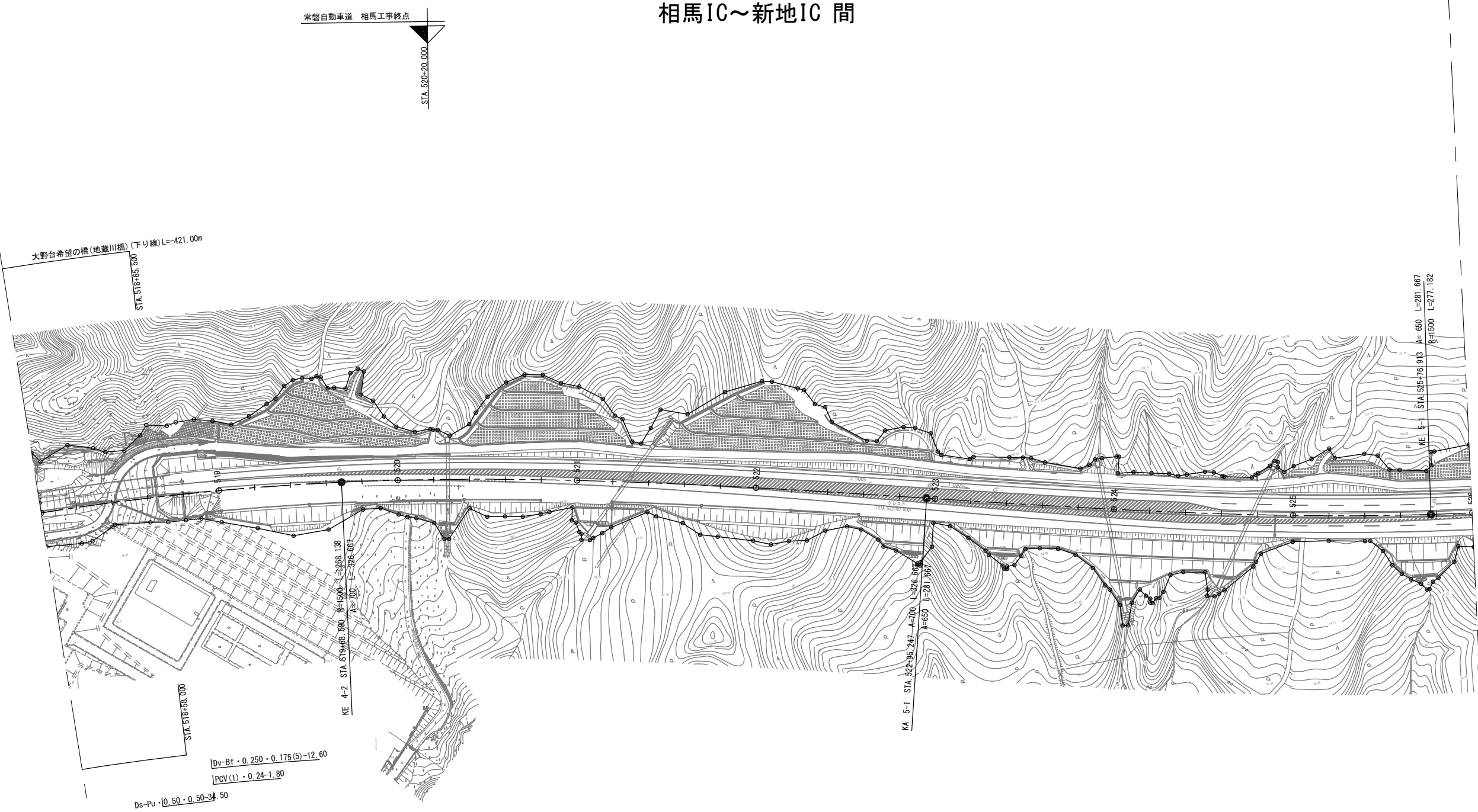
Ds-Bf・0.300・0.200-87.11
Ds-Bf・0.300・0.200-30.80
Dc-0.80・0.080・1.10
Dv-Bf・0.250・0.175(5)-5.92
Ds-Bf・0.300・0.200-130.60
Dc-0.50・0.50・0.50

Ds-Bf・0.300・0.200-59.86

Ds-K(1)-Bf・0.300・0.200(5)-10.00
Ds-Bf・0.300・0.200-37.00
Dc-0.50・0.50・0.50
Ds-Bf・0.300・0.200-12.20

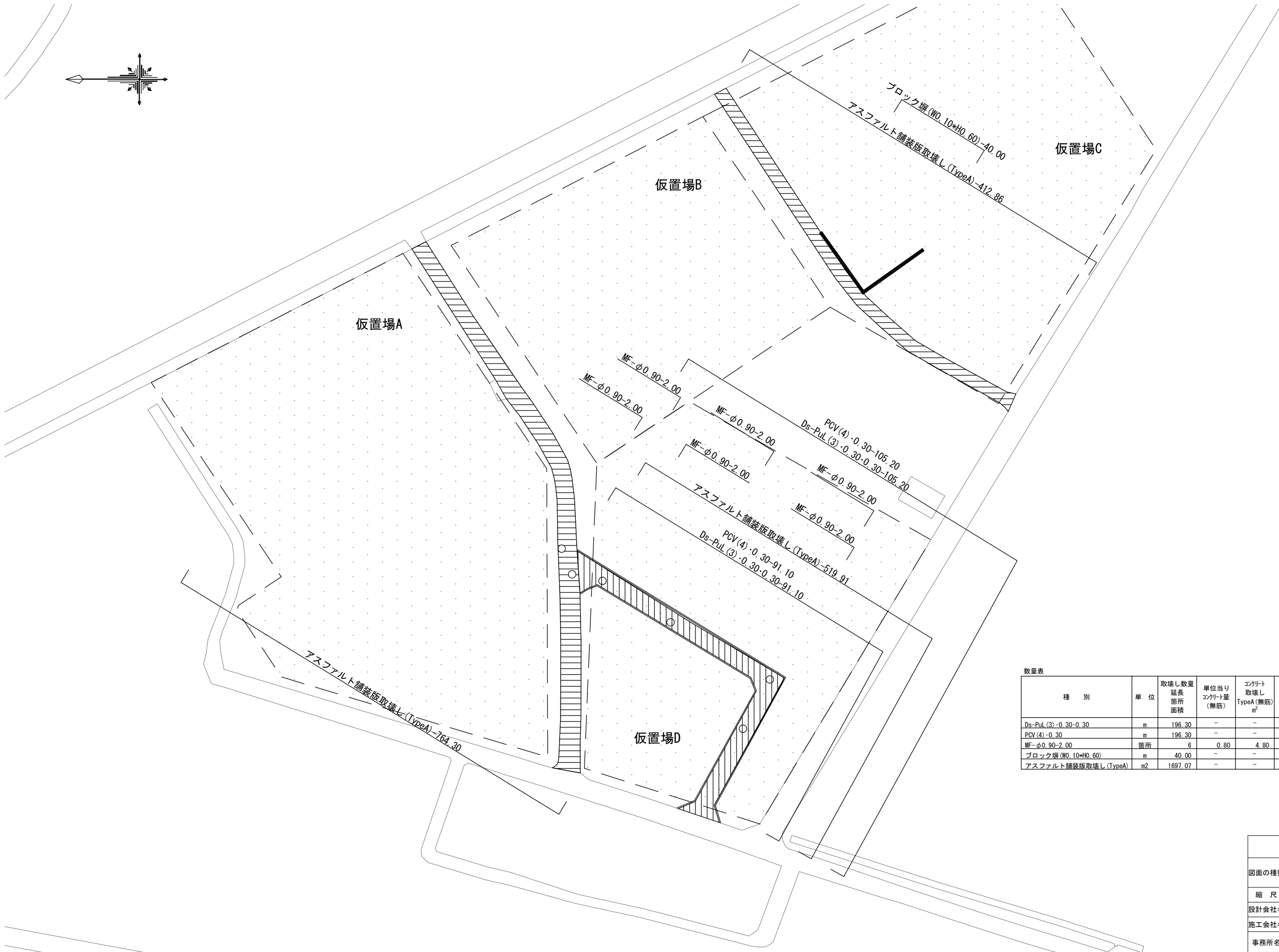
常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(11) 相馬IC～新地IC 間		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

構造物等取壊し工平面図(12) S=1:2,500
相馬IC～新地IC 間



常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(12) 相馬IC～新地IC 間		
縮 尺	1:2,500	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

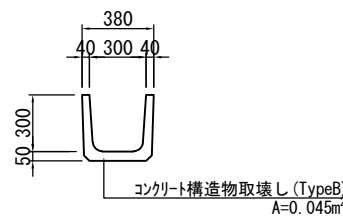
構造物等取壊し工平面図(13) S=1:1,000
相馬仮置場



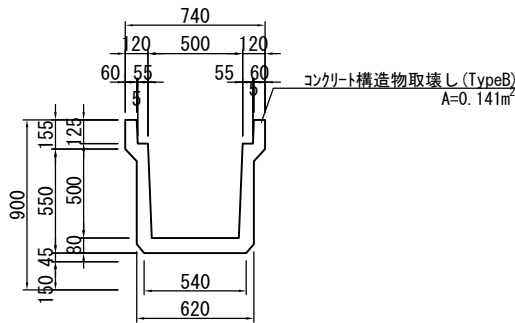
数量表							
種 別	単 位	取壊し数量 延長 箇所 面積	単位当り コンクリート量 (無筋)	コンクリート 取壊し TypeA(無筋) m³	単位当り コンクリート量 (有筋)	コンクリート 取壊し TypeB(有筋) m³	摘 要
Ds-PuL(3)・0.30-0.30	m	196.30	-	-	0.88	17.27	m³/10m
PCV(4)・0.30	m	196.30	-	-	0.38	7.46	m³/10m
MF-φ0.90-2.00	箇所	6	0.80	4.80	-	-	m³/箇所
ブロック塀(W0.10×H0.60)	m	40.00	-	-	0.60	2.40	m³/10m
アスファルト舗装版取壊し(TypeA)	m2	1697.07	-	-	-	-	t=5cm

常 設 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(13) 相馬仮置場		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

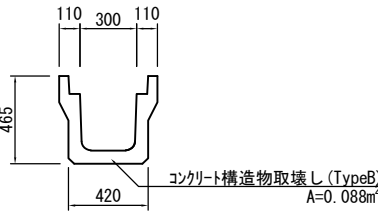
Ds-PuL・0.30・0.30



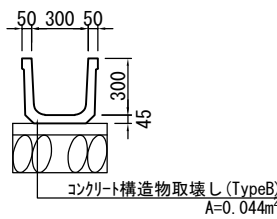
Ds-Pu・0.50・0.50



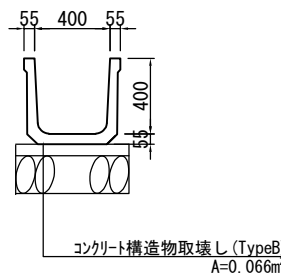
Ds-PuL(3)・0.30・0.30



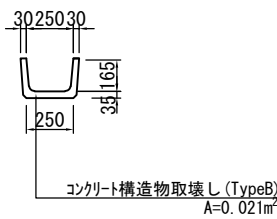
Ds-F・0.30・0.30



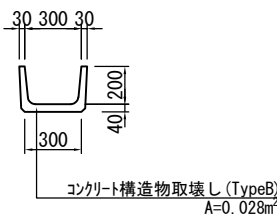
Ds-F・0.40・0.40



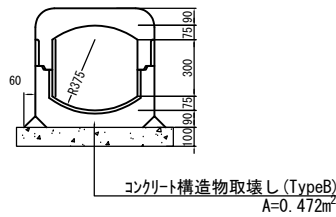
Ds-Bf・0.250・0.175



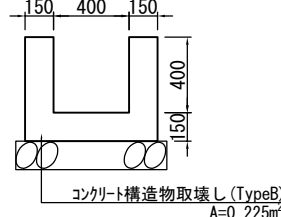
Ds-Bf・0.300・0.200



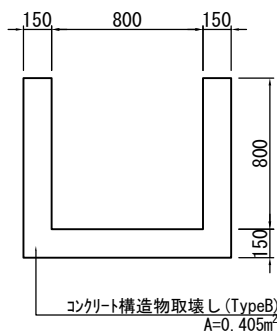
Ds-Po・0.45・0.45



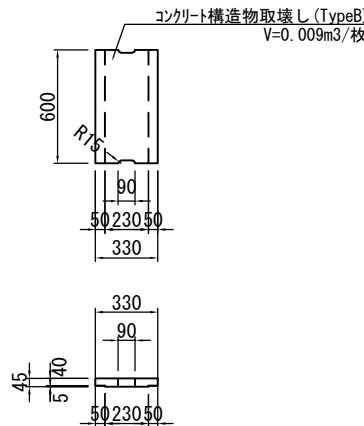
Ds-U・0.40・0.40



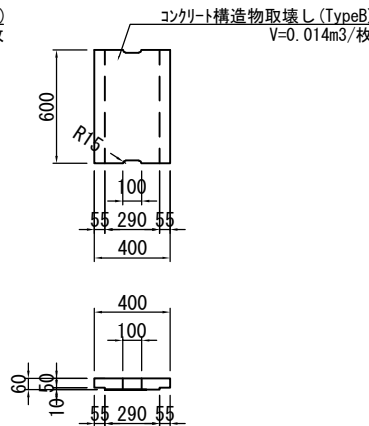
Ds-U・0.80・0.80



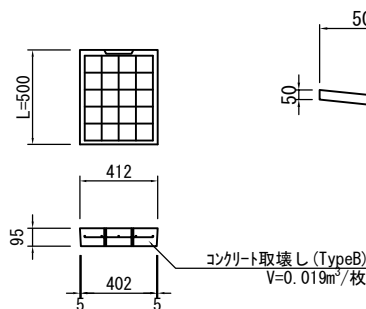
PCV(1)・0.24



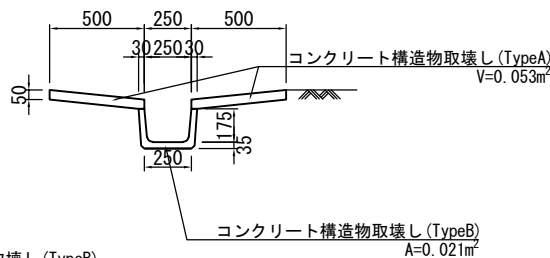
PCV(1)・0.30



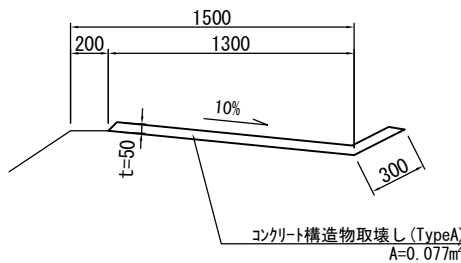
PCV(4)・0.30



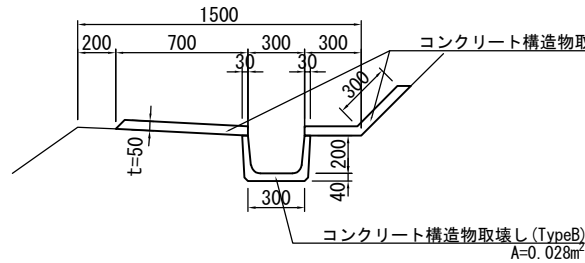
Dv-Bf・0.250・0.175(5)



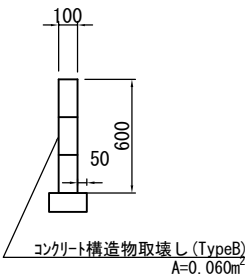
Ds-K-V・1.30・0.30(5)



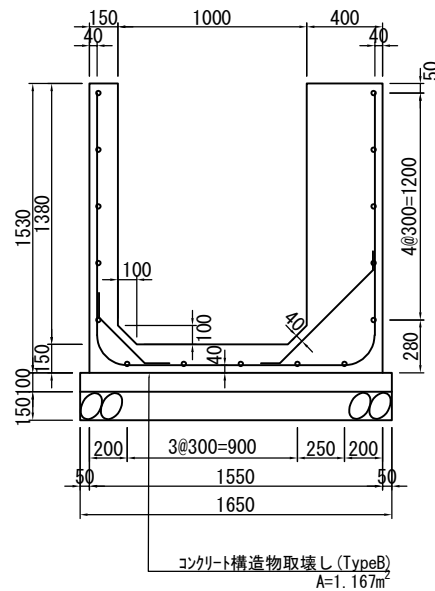
Ds-K(1)-Bf・0.300・0.200(5)



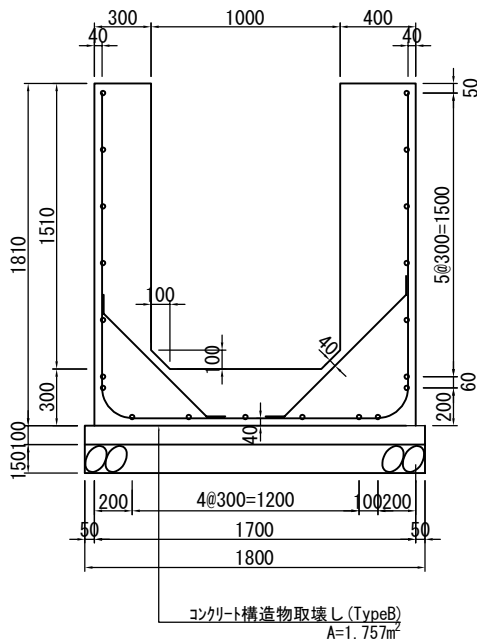
ブロック塀(W0.10*H0.60) 断面図



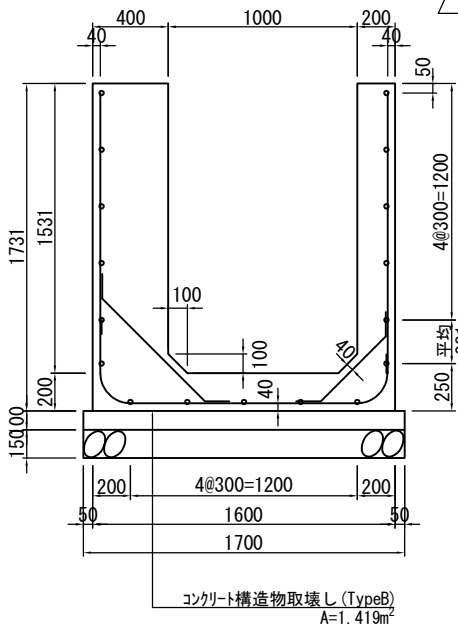
Ww-U(R2)・1.00・1.38



Ww-U(R1)・1.00・1.51



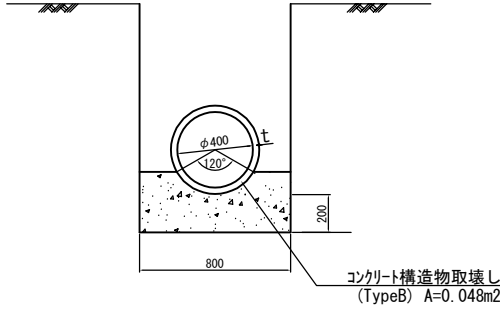
Ww-U(R2)・1.00・1.60



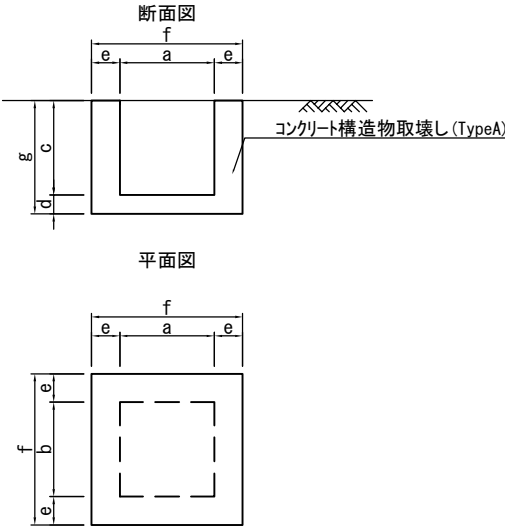
数量表		10m当り		
種 別	区分	コンクリート構造物取壊し		摘要
		TypeA (無筋) m ³	TypeB (有筋) m ³	
Ds-PuL・0.30・0.30	-	-	0.45	
Ds-Pu・0.50・0.50	-	-	1.41	
Ds-PuL(3)・0.30・0.30	-	-	0.88	
Ds-F・0.30・0.30	-	-	0.44	
Ds-F・0.40・0.40	-	-	0.66	
Ds-Bf・0.250・0.175	-	-	0.21	
Ds-Bf・0.300・0.200	-	-	0.28	
Ds-Po・0.45・0.45	-	-	4.72	
Ds-U・0.40・0.40	-	-	2.25	
Ds-U・0.80・0.80	-	-	4.05	
PCV(1)・0.24	-	-	0.15	
PCV(1)・0.30	-	-	0.23	
PCV(4)・0.30	-	-	0.38	
Dv-Bf・0.250・0.175(5)	0.53	0.21		
Ds-K-V・1.30・0.30(5)	0.77	-		
Ds-K(1)-Bf・0.300・0.200(5)	0.65	0.28		
Ww-U(R2)・1.00・1.38	-	-	11.67	
Ww-U(R1)・1.00・1.51	-	-	17.57	
Ww-U(R2)・1.00・1.60	-	-	14.19	
P(H)・1・φ400(Sd-B)	-	-	0.48	
ブロック塀(W0.10・H0.60)	-	-	0.60	

常磐自動車道 相馬工事			
図面の種類	構造物等取壊し工詳細図(1)		
縮尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

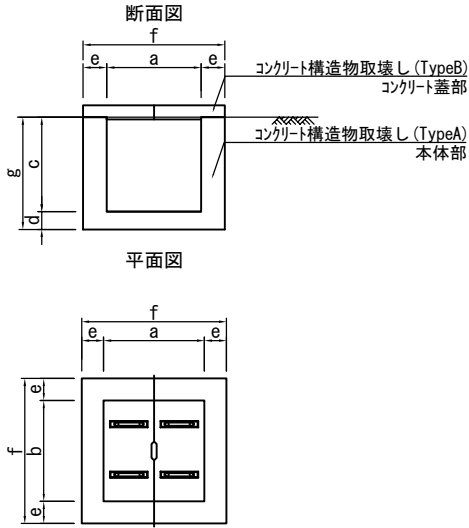
P(H)・1・φ0.40(Sd-B)



Dc-a・b・c



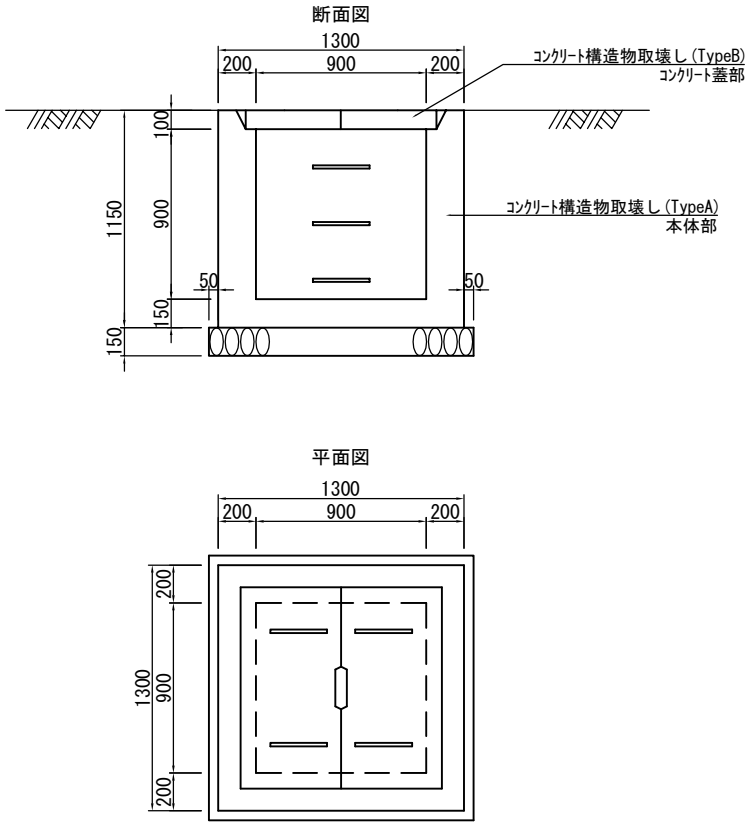
Dc^-a・b・c



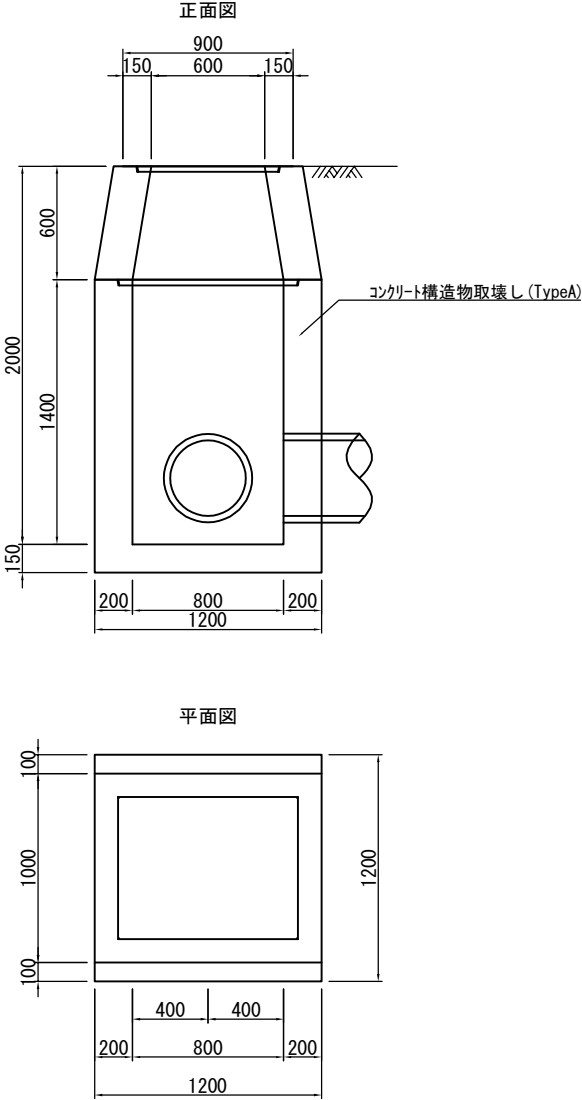
種 別	寸 法 (mm)						
	a	b	c	d	e	f	g
Dc-0.50・0.50・0.50	500	500	500	100	150	800	600
Dc-0.50・0.50・0.60	500	500	600	100	150	800	700
Dc-0.60・0.60・0.60	600	600	600	100	150	900	700
Dc-0.60・0.60・0.70	600	600	700	100	150	900	800
Dc-0.80・0.80・1.10	800	800	1100	150	200	1200	1250
Dc-1.00・1.00・1.00	1000	1000	1000	150	200	1400	1150

種 別	寸 法 (mm)						
	a	b	c	d	e	f	g
Dc^-0.50・0.50・0.50	500	500	500	100	150	800	600
Dc^-0.60・0.60・0.60	600	600	600	100	150	900	700
Dc^-0.80・0.80・1.10	800	800	1100	150	200	1200	1250

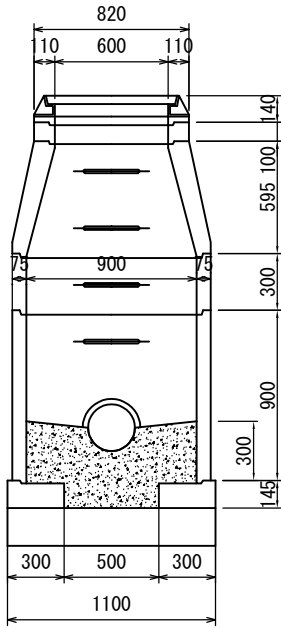
Dc(D)^-0.90・0.90・0.90



Dc-S-0.80・0.80・2.00



MF-φ0.90・2.00

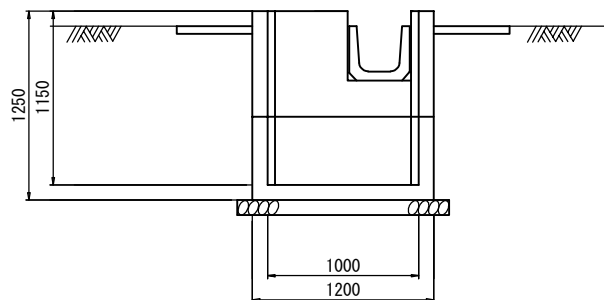


種 別	コンクリート構造物取壊し		1箇所当り 摘要
	TypeA (無筋) m³	TypeB (有筋) m³	
Dc-0.50・0.50・0.50	0.26	-	
Dc-0.50・0.50・0.60	0.30	-	
Dc-0.60・0.60・0.60	0.35	-	
Dc-0.60・0.60・0.70	0.40	-	
Dc-0.80・0.80・1.10	1.10	-	
Dc-1.00・1.00・1.00	1.25	-	
Dc^-0.50・0.50・0.50	0.26	0.07	
Dc^-0.60・0.60・0.60	0.35	0.09	
Dc^-0.80・0.80・1.10	1.10	0.16	
Dc(D)^-0.90・0.90・0.90	1.13	0.10	
Dc-S-0.80・0.80・2.00	1.76	-	
MF-φ0.90・2.00	0.80	-	

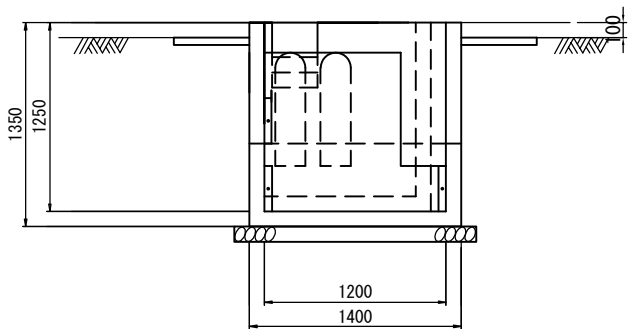
常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工詳細図(2)		
縮 尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工 事 務 所		

油水分離ますA

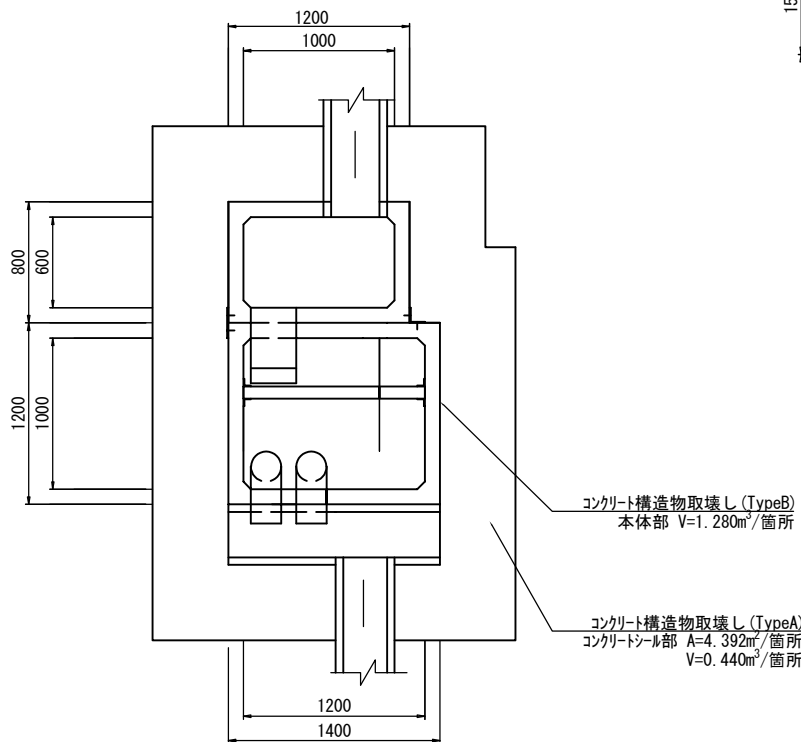
正面図



正面図

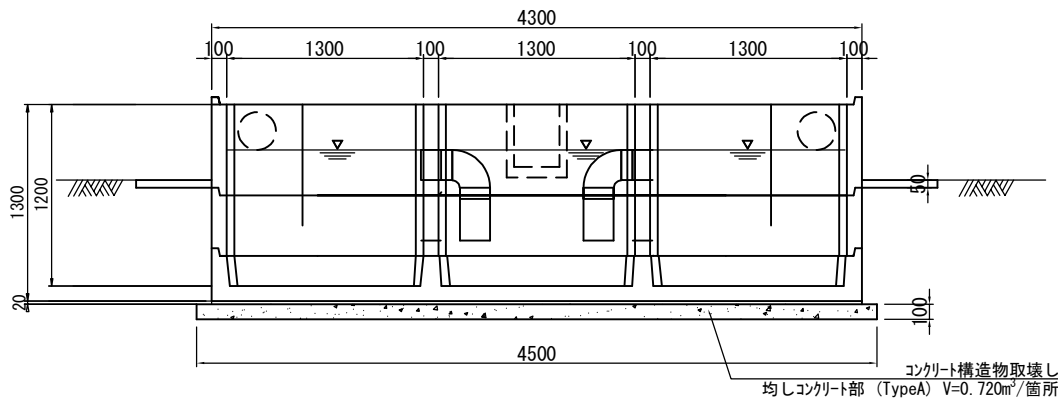


平面図

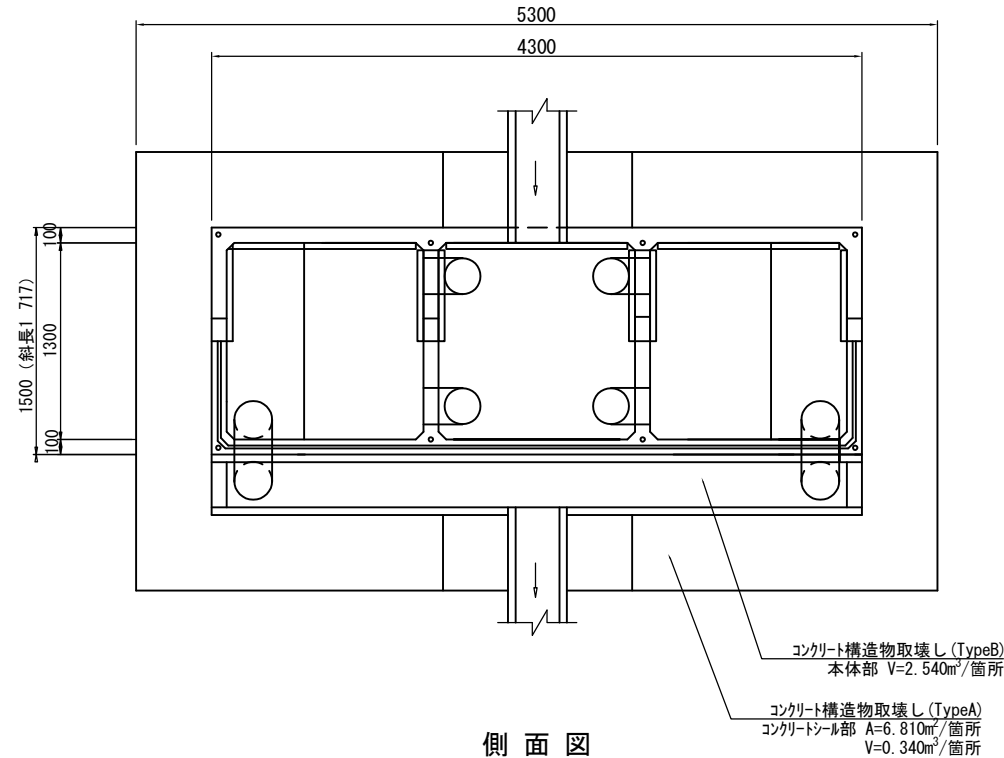


油水分離ますB

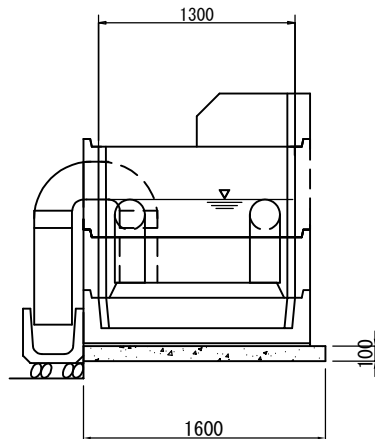
正面図



平面図

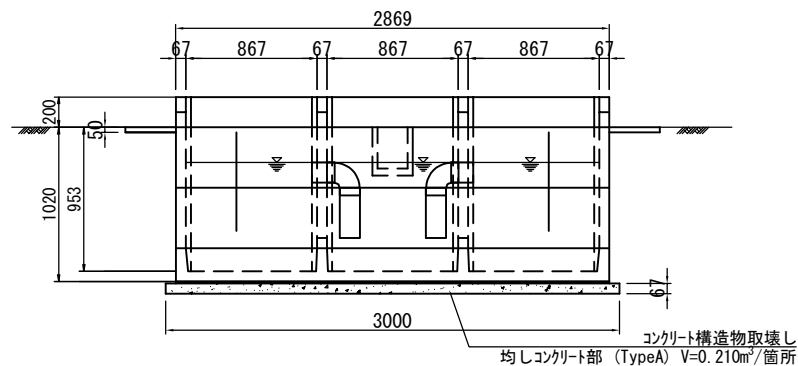


側面図

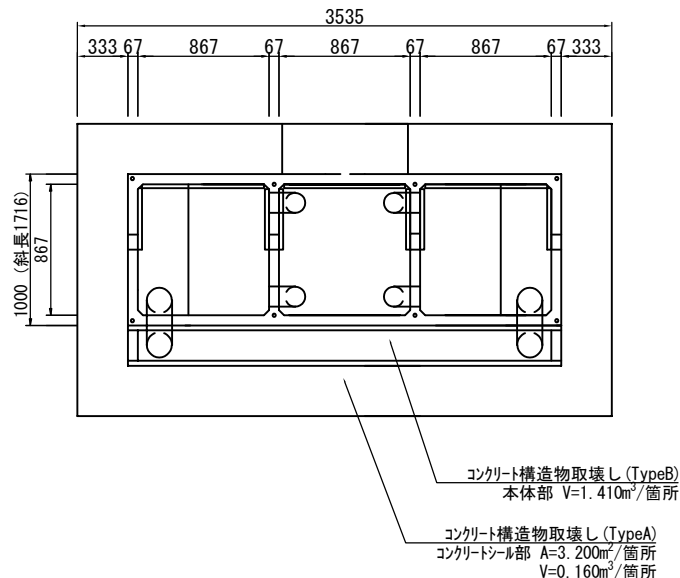


油水分離ますC

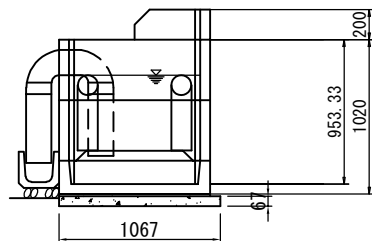
正面図



平面図



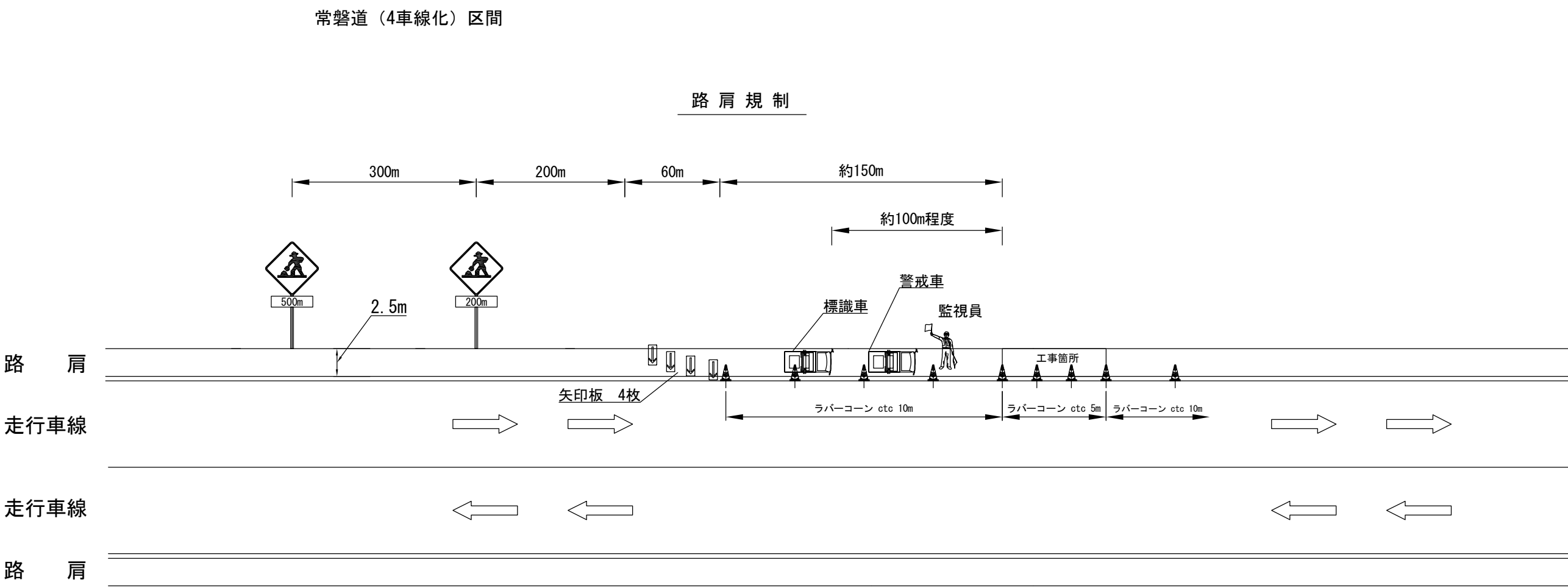
側面図



数 量 表			1箇所当り	
種 別	区分	コンクリート 構造物取壊し		摘要
		Type A (無筋) m ³	Type B (有筋) m ³	
	油水分離ますA	0.44	1.28	
油水分離ますB	1.06	2.54		
油水分離ますC	0.37	1.41		

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	構造物等取壊し工詳細図(3)		
縮 尺	S=1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

交通規制工図(1)
※路肩幅2.5m区間



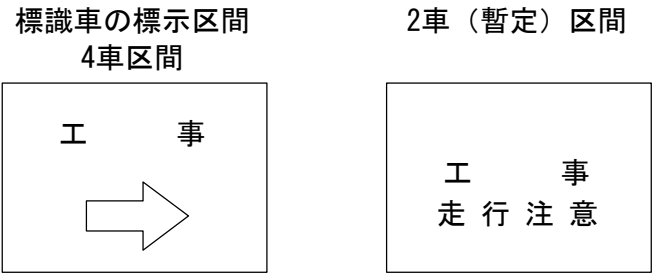
1. ラバーコーンは、工事範囲で5m間隔、それ以外の範囲で10m間隔で設置する。
2. ラバーコーンは、高輝度反射タイプ（赤黄横縞模様）
3. 交通監視員の使用する黄旗は『減速』の文字入りを使用する。
4. 矢印板は、蛍光タイプのリードまたはロープで飛散防止対策を行う。
5. 追加の安全対策(SAIBO)は、現地状況・作業状況に応じて追加設置する。

単 価 表 の 項 目	単 位	数 量	備 考
路肩規制 I × 1 A	回	4.0	

※路肩規制において予告標識版が橋梁上に設置する場合、始点側（手前）土工部へ移動し設置する。
表示においては、予告位置から600mを超える場所については、『この先』に変更する。
※図面内に記載のある交通監視員については交通規制工に含まれるため、別途検測は行わない。

＜規制材等内訳＞

品質(規格・寸法)	単位	数量	摘 要
警戒標識	枚	2	発注者貸与
矢印板（ウエイト含む）	枚	4	発注者貸与
ラバーコーン(コーンペット含む)	式	1	発注者貸与
ラバーコーン用ウエイト	式	1	発注者貸与
標識車(2t)	台	1	発注者貸与
警戒車	台	1	受注者
交通監視員(交代要員 有)	名	1	受注者



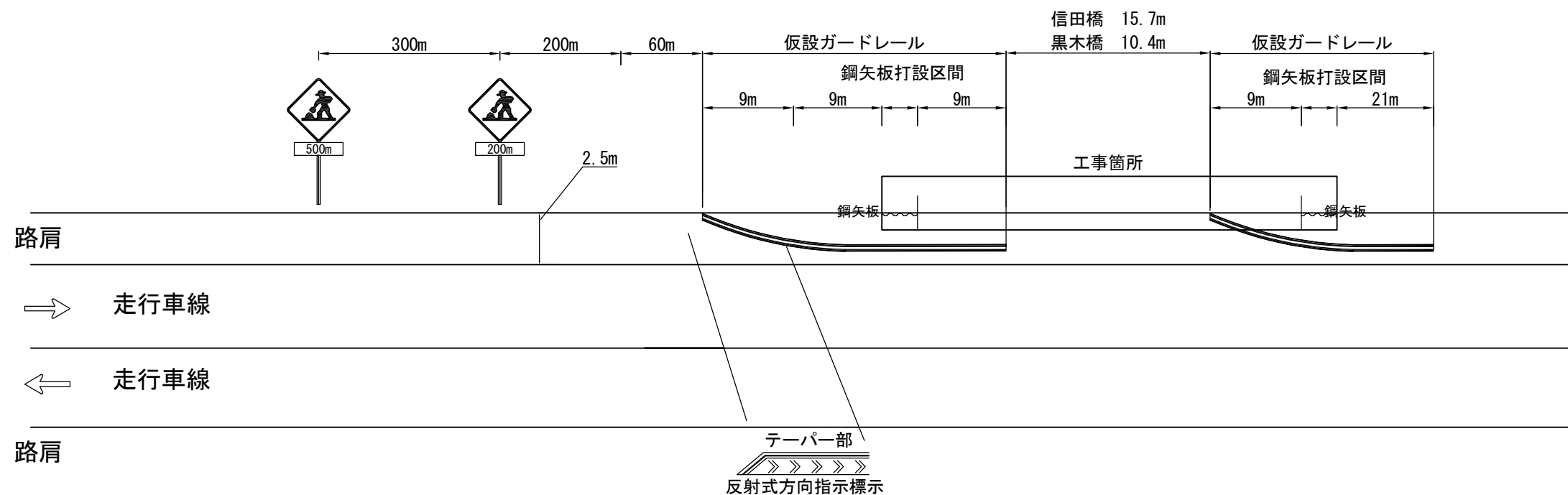
常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	交 通 規 制 工 図(1) ※路肩幅2.5m区間		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

交通規制工図(2)

※路肩幅2.5m区間

常磐道（4車線化）区間

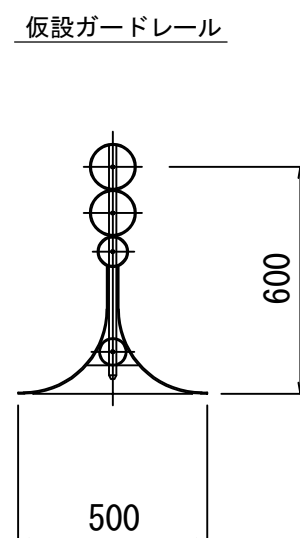
路肩固定規制図



数量表

単 価 表 の 項 目		位 置	単 位	数 量	備 考
仮設防護柵工	設置・撤去	信田橋 A1	m	53.5	
		信田橋 A2	m	49.0	
		黒木橋 A1	m	41.5	
		黒木橋 A2	m	49.0	
		合計	m	193.0	
	賃料B	黒木橋 A1	m・月	460.7	
		黒木橋 A2	m・月	583.1	
	賃料C	信田橋 A1	m・月	668.8	
		信田橋 A2	m・月	592.9	

※固定規制時の警戒標識については発注者貸与とする。



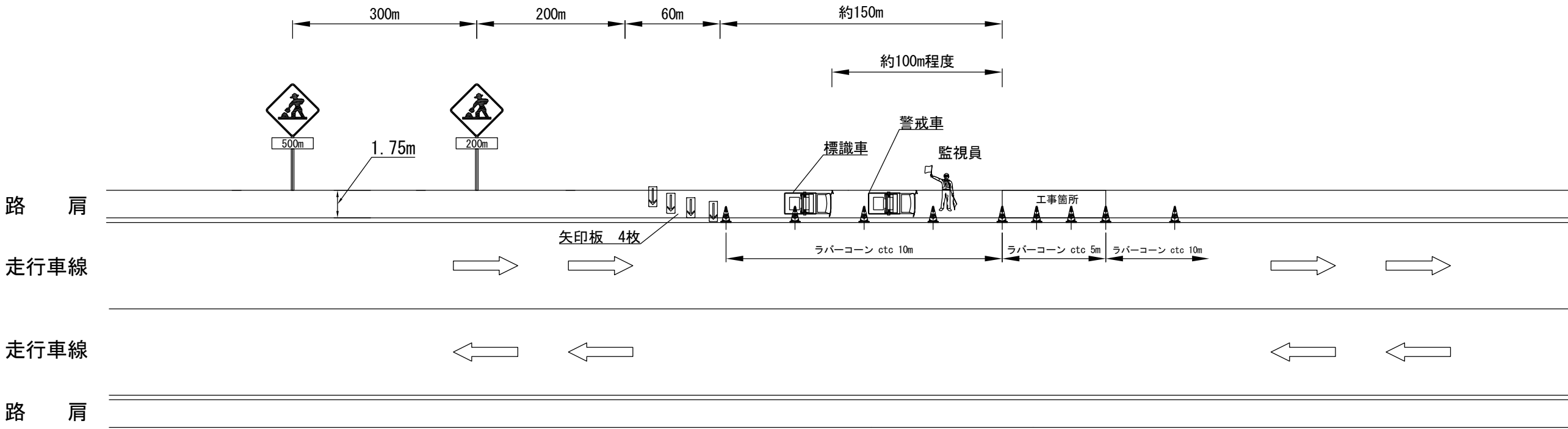
常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	交 通 規 制 工 区 (2) ※路肩幅2.5m区間		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事業務所		

交通規制工図(1)

※路肩幅1.75m区間

常磐道（4車線化）区間

路 肩 規 制



1. ラバーコーンは、工事範囲で5m間隔、それ以外の範囲で10m間隔で設置する。
2. ラバーコーンは、高輝度反射タイプ（赤黄横縞模様）
3. 交通監視員の使用する黄旗は『減速』の文字入りを使用する。
4. 矢印板は、蛍光タイプのリードまたはロープで飛散防止対策を行う。
5. 追加の安全対策(SAIBO)は、現地状況・作業状況に応じて追加設置する。

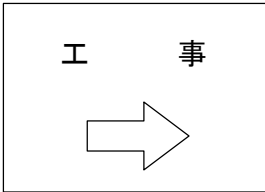
単 価 表 の 項 目	単 位	数 量	備 考
路肩規制 I × 1 A	回	8.0	

※路肩規制において予告標識版が橋梁上に設置する場合、始点側（手前）土工部へ移動し設置する。
表示においては、予告位置から600mを超える場所については、『この先』に変更する。
※図面内に記載のある交通監視員については交通規制工に含まれるため、別途検測は行わない。

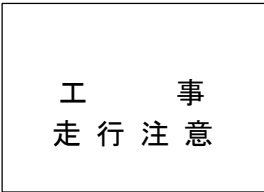
<規制材等内訳>

品質(規格・寸法)	単位	数量	摘 要
警戒標識	枚	2	発注者貸与
矢印板（ウエイト含む）	枚	4	発注者貸与
ラバーコーン(コーンペット含む)	式	1	発注者貸与
ラバーコーン用ウエイト	式	1	発注者貸与
標識車(2t)	台	1	発注者貸与
警戒車	台	1	受注者
交通監視員(交代要員 有)	名	1	受注者

標識車の標示区間
4車区間



2車（暫定）区間



常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	交 通 規 制 工 図(1) ※路肩幅1.75m区間		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

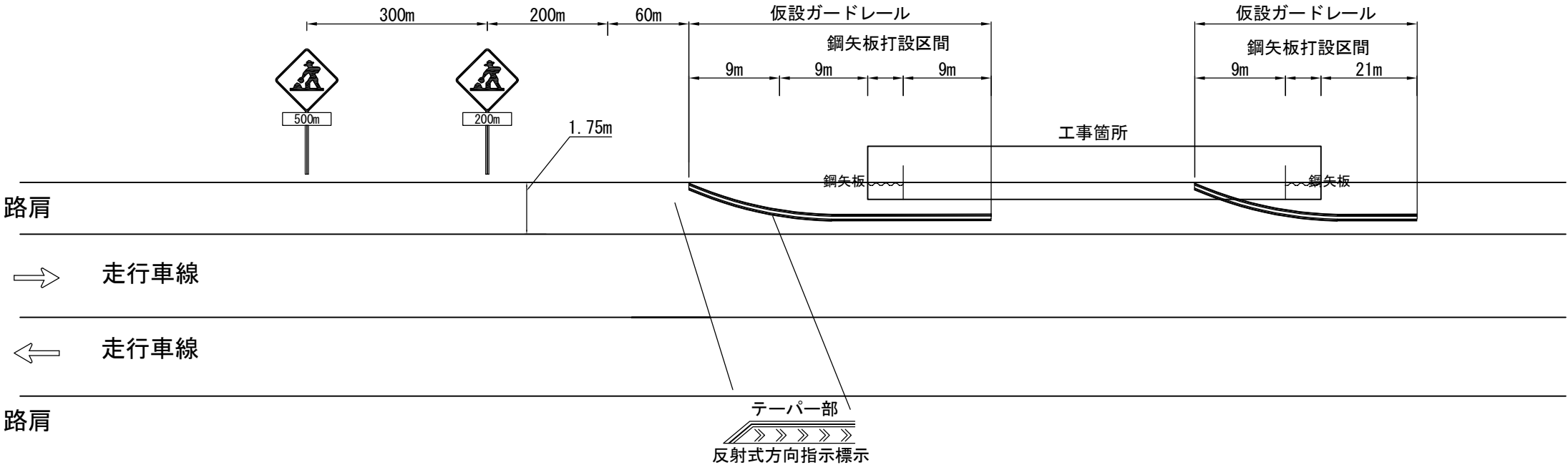
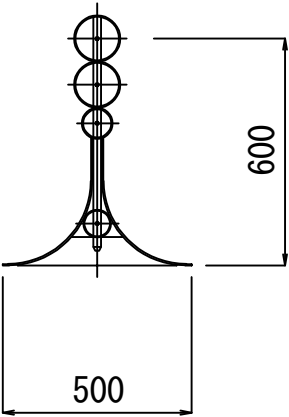
交通規制工図(2)

※路肩幅1.75m区間

常磐道（4車線化）区間

路肩固定規制図

仮設ガードレール



数量表

単価表の項目		位置	単位	数量	備考
仮設防護柵工	設置・撤去	宇多川橋 A1	m	41.5	
		宇多川橋 A2	m	53.5	
		馬藩沢橋 A1	m	47.5	
		馬藩沢橋 A2	m	52.0	
		かやぐらばし A1	m	52.0	
		かやぐらばし A2	m	50.5	
		大野台希望の橋 A1	m	47.5	
		大野台希望の橋 A2	m	44.5	
		合計	m	389.0	

数量表

単価表の項目		位置	単位	数量	備考
仮設防護柵工	賃料A	宇多川橋 A1	m・月	149.4	
		馬藩沢橋 A1	m・月	147.3	
		かやぐらばし A1	m・月	270.4	
		大野台希望の橋 A1	m・月	270.8	
	賃料B	宇多川橋 A2	m・月	326.4	
		馬藩沢橋 A2	m・月	353.6	
		かやぐらばし A2	m・月	409.1	
		大野台希望の橋 A2	m・月	391.6	

※固定規制時の警戒標識については発注者貸与とする。

常 磐 自 動 車 道 相 馬 工 事			
図面の種類	交 通 規 制 工 図(2) ※路肩幅1.75m区間		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		